平成 19 年度　群馬県立館林美術館年報

GMAT

Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

目次

・展覧会　p.3

A 展覧会一覧 ―― p.3
B 企画展示記録 ―― p.4
C 特別展示記録 ―― p.44
D コレクション展示記録 ―― p.52
E 観覧者数一覧表 ―― p.63

・教育普及　p.64

A 講演会 ―― p.64
B 作品解説会・ギャラリートーク ―― p.64
C ワークショップ ―― p.66
D 創作体験コーナー みんなのアトリエ ―― p.67
E 美術講座 ―― p.67
F ミュージアム・オリエンテーリング ―― p.67
G 子どもミュージアム・スクール ―― p.68
H アーティスト・トーク ―― p.69
I 学校連携その他 ―― p.69
J 刊行物 ―― p.70
K ボランティア ―― p.73
L 博物館実習 ―― p.73
M 友の会 ―― p.73
N その他 ―― p.74

・所蔵資料　p.75

A 美術作品 ―― p.75
B 図書資料その他 ―― p.84

・関係者および職員名簿　p.85

展覧会

A 展覧会一覧

(1)企画展示

展示名	会期、会場		内容
「生誕100年　鶴岡政男展－無頼の遊戯－」	4/14～6/17	展示室2～4	群馬県高崎市に生まれた鶴岡政男の生誕100年を記念し、油彩、パステル、素描、彫刻など、157点を紹介。
「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！ 日本で撮られた最初の写真－」	6/30～9/9	展示室2～4	関東地方の美術館、博物館に所蔵・寄託されている幕末・明治の写真、約300点を紹介。
「都市のフランス　自然のイギリス－18・19世紀絵画と挿絵本の世界－」	9/23～12/2	展示室2～4	栃木県立美術館所蔵作品より、18・19世紀の仏英の絵画、版画、挿絵本、約340点を紹介。

(2)特別展示

展示名	会期、会場		内容
夢伝説－倉本麻弓とフジタマ－	12/15～3/30	展示室2、3	夢や無意識をテーマとする若手作家の倉本麻弓とフジタマによるインスタレーション展示。

(3)コレクション展示

展示名	会期、会場		内容
近現代の彫刻I	4/14～6/17	展示室1	イサム・ノグチ、チャーナ・オルロフなど近現代の彫刻21点を展示。
近現代の彫刻Ⅱ	6/30～9/9	展示室1	ヘンリー・ムーア、バーバラ・ヘップワースなど、近現代の彫刻23点を展示。
自然と人のすがた－2005年度以降の新収蔵作品を中心に－	6/30～9/9	展示室2	平成17度以降の新収蔵作品を中心に、自然と人のすがたをテーマとした絵画、写真61点を展示。
近現代の彫刻Ⅲ	9/23～12/2	展示室1	フランソワ・ポンポン、ブルーノ・ロメダなど、近現代の彫刻18点を展示。
近現代の彫刻Ⅳ	12/15～3/30	展示室1	バリー・フラナガン、フェルナンド・ボテロなど、近現代の彫刻17点を展示。
コレクション展示－新収蔵作品を中心に－	12/15～3/30	展示室4	近年収蔵した小室翠雲、小絲源太郎、日高理恵子、J.J.グランヴィルなど、日本画、油彩、挿絵本など、51点を展示。

B　企画展示記録

1．鶴岡政男展－無頼の遊戯－

会期　平成 19 年 4 月 14 日(土)～6 月 17 日(日)
　　前期:4 月 14 日(土)～5 月 13 日(日)
　　後期:5 月 15 日(火)～6 月 17 日(日)
会場　展示室 2、3、4
主催　群馬県立館林美術館、東京新聞
観覧料　一般 800(640)円　大高生 400(320)円
　　(　)内は、20 名以上の団体割引料金

群馬県高崎市に生まれた鶴岡政男(1907～1979)は、彼の生きた時代や社会と深く関わりながら、常に人間とは何かを問い続けた画家である。戦前のNOVA美術協会時代から始まる目まぐるしい画風の変貌と独自の生きざまは、自己に忠実に生きた証であり、その存在は戦後洋画の異才として注目され続けた。なかでも、敗戦直後の日本人の抑圧された心理状況を表した《重い手》や《夜の群像》、原爆投下をモティーフとした《人間気化》といった作品は、戦後美術を語る上で欠かせない象徴的な作品として今日高く評価されている。また、1954(昭和29)年、美術雑誌の座談会で発言した「事ではなく物を描く」という信条は、様々な解釈を生みながら当時の若い作家たちに影響を与えた。ときにユーモラスで甘美なエロティシズムを感じさせる独特の画風の根底には、絶えず人を見つめ、そこに人間性を認めようとし続けた画家の真摯な姿が窺われる。

鶴岡政男が亡くなってから28年が経過した。奇しくも群馬県立近代美術館で開催された回顧展の閉幕3日目に息を引き取った鶴岡の画業については、この間、断片的な紹介はあったものの、その全貌を紹介する展覧会が開かれることはなかった。

本展は、画家の生誕 100 年を記念し、代表作の油絵、パステル画、素描、彫刻など展示替えを含め計157点を紹介した。21世紀に入り 6 年を経過した現在、戦前から戦後にかけて、人間とそれを取り巻く現実の矛盾への追究を続けた鶴岡政男の画業を改めて検証した。会場は、ほぼ編年形式に 5 章に分けて構成した。なお、本展は神奈川県立近代美術館 鎌倉(6 月 30 日～9 月 2 日)に巡回した。

ポスター

図録

ジュニアガイド

出品目録

No.	作品名	制作年		技法・材質	寸法 (縦×横×奥行きcm)	所蔵先	備考・展示期間
1	リズム	1935	(昭和 10)	油彩・カンヴァス	106.0 × 333.0	東京都現代美術館	1954年に再制作
2	母性	1937	(昭和 12)	油彩・板	73.0 × 60.8		1962年に再制作
3	若い男	1947	(昭和 22)	油彩・カンヴァス	53.0 × 45.5	横浜美術館	
4	死の静物(松本竣介の死)	1948	(昭和 23)	油彩・カンヴァス	64.0 × 79.0	神奈川県立近代美術館	
5	森の騎手	1948	(昭和 23)	油彩・カンヴァス	37.9 × 45.5	奥田誠一氏蔵	
6	魚	1948	(昭和 23)	油彩・カンヴァス	53.4 × 45.8	宇都宮美術館	
7	薬を飲む女	1948	(昭和 23)	油彩・カンヴァス	65.6 × 50.0	浅尾空人氏蔵	
8	ふたり	1948	(昭和 23)頃	油彩・板	40.9 × 31.8	高崎市美術館	
9	アクロバット	1949	(昭和 24)	油彩・カンヴァス	90.8 × 60.5		
10	二人	1949	(昭和 24)	油彩・カンヴァス	52.8 × 41.0	広島市現代美術館	
11	夜の群像	1949	(昭和 24)	油彩・板	121.0 × 154.0	群馬県立近代美術館	
12	重い手	1949	(昭和 24)	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.0	東京都現代美術館	
13	無題	1949	(昭和 24)頃	油彩・カンヴァス	31.9 × 41.0	個人蔵	
14	物乞う人(辻楽師)	1950	(昭和 25)	油彩・カンヴァス	91.2 × 72.8	練馬区立美術館	
15	いちづく	1950	(昭和 25)	油彩・カンヴァス	41.6 × 32.4	浅尾空人氏蔵	
16	天使	1951	(昭和 26)	油彩・カンヴァス	65.6 × 53.3	横須賀美術館	
17	凶兆	1951	(昭和 26)	油彩・カンヴァス	73.0 × 91.1	広島市現代美術館	
18	ドン・キホーテ	1951	(昭和 26)	油彩・カンヴァス	112.1 × 145.5	群馬県立近代美術館	
19	黒い行列	1952	(昭和 27)	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.0	三重県立美術館	
20	はじまり	1952	(昭和 27)	油彩・カンヴァス	90.9 × 72.7	広島市現代美術館	
21	馬	1953	(昭和 28)	油彩・カンヴァス	80.2 × 65.1		
22	人間気化	1953	(昭和 28)	油彩・カンヴァス	350.4 × 272.8	宮城県美術館	
23	落下する人体	1954	(昭和 29)	油彩・カンヴァス	91.0 × 72.5	群馬県立近代美術館	
24	喰う	1954	(昭和 29)	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.0	横浜美術館	
25	雨	1954	(昭和 29)	油彩・カンヴァス	130.0 × 97.0	横浜美術館	
26	静かなる夜 (山と月と湖)	1955	(昭和 30)	油彩・カンヴァス	53.0 × 65.2	群馬県立館林美術館	
27	形態B	1955	(昭和 30)	油彩・カンヴァス	113.5 × 97.0	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館	
28	たたかい	1955	(昭和 30)	油彩・カンヴァス	50.0 × 65.5	横須賀美術館	
29	化石	1955	(昭和 30)	油彩・カンヴァス	72.7 × 60.6	練馬区立美術館	
30	人々	1956	(昭和 31)	油彩・カンヴァス	97.0 × 130.3	財団法人 池田20世紀美術館	
31	射的	1957	(昭和 32)	油彩・カンヴァス	97.0 × 130.0	神奈川県立近代美術館	
32	海のあやかし	1958	(昭和 33)	油彩・カンヴァス	130.3 × 194.0	広島県立美術館	
33	雨の夜	1959	(昭和 34)	油彩・カンヴァス	260.6 × 162.1	群馬県立近代美術館	
34	物体	1960	(昭和 35)	油彩・板(合板)	182.5 × 275.5	東京国立近代美術館	
35	ひと(1)	1960	(昭和 35)	油彩・カンヴァス	89.0 × 115.0	国立国際美術館	
36	ひとNo.3	1960	(昭和 35)頃	油彩・カンヴァス	89.0 × 115.0	国立国際美術館	
37	[無題]	1960	(昭和 35)頃	油彩・カンヴァス	89.0 × 115.0	国立国際美術館	
38	突(つく)	1961	(昭和 36)	油彩・カンヴァス	97.0 × 130.5	群馬県立近代美術館	
39	無題	1961	(昭和 36)頃	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0	東京都現代美術館	
40	妖精の棲むポコの巣	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	91.0 × 116.8	宮城県美術館	
41	コロコロ・ポコ	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	72.8 × 90.8	世田谷美術館	
42	踊るポコ	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	91.0 × 72.9	世田谷美術館	
43	ジュネるポコ	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	72.7 × 60.6	群馬県立近代美術館	
44	ポコと友だち	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	59.4 × 71.5	府中市美術館	
45	みどりの女	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	72.8 × 91.0	個人蔵(群馬県立近代美術館寄託)	
46	夜の祭典	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス (板貼り)	72.2 × 98.6	福岡市美術館	
47	夜の騎士	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	40.8 × 31.7		
48	妄執	1963	(昭和 38)	油彩・カンヴァス	90.9 × 116.7	個人蔵	
49	香り	1963	(昭和 38)頃	油彩・カンヴァス	60.6 × 45.5	高崎市美術館	
50	仮面の踊り	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0		
51	水泳ターン	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	112.4 × 162.0		
52	深い眠り	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	52.0 × 45.0		
53	光る湖	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	60.6 × 49.8		
54	祭の夜	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	60.7 × 72.6		
55	ねぶたの行列	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	53.0 × 62.5	高崎市美術館	

No.	作品名	制作年		技法・材質	寸法 (縦×横×奥行きcm)	所蔵先	備考・展示期間
56	祭	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	65.2 × 53.0	練馬区立美術館	
57	赤い家の風景	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	31.7 × 40.7	府中市美術館	
58	夢魔	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	41.0 × 32.0	財団法人 大川美術館	
59	青いカーテン	1964	(昭和 39)	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0	東京国立近代美術館	
60	出口はどこ	1965	(昭和 40)	油彩・カンヴァス	130.5 × 162.2	個人蔵	
61	無題	1965	(昭和 40)	油彩・カンヴァス	162.0 × 113.0	三重県立美術館	
62	窓	1965	(昭和 40)	油彩・カンヴァス	113.0 × 162.0	三重県立美術館	
63	三匹の蠢	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	162.6 × 112.5		
64	船をなめる幽霊	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.6 × 194.3		
65	眼鏡	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.0 × 161.5	東京都現代美術館	
66	夜の運び屋	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.3 × 162.6		
67	愛	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.6 × 162.5		
68	黒いベッド	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	162.1 × 112.1	群馬県立近代美術館	
69	上戸と下戸と男と女	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	127.0 × 158.5		
70	柄的人間	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.8 × 194.2		
71	視点B	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	194.2 × 130.9	神奈川県立近代美術館	
72	ゴルフ	1966	(昭和 41)	油彩・カンヴァス	130.7 × 162.3		
73	ねじ	1967	(昭和 42)	油彩・カンヴァス	161.5 × 112.2	北九州市立美術館	
74	しめる	1967	(昭和 42)	油彩・カンヴァス	162.0 × 113.0	三重県立美術館	
75	MEDO	1967	(昭和 42)	油彩・カンヴァス	130.2 × 162.3	群馬県立近代美術館	
76	涙	1968	(昭和 43)	油彩・カンヴァス	193.9 × 130.3	群馬県立近代美術館	
77	ライフルマン	1968	(昭和 43)	油彩・カンヴァス	193.9 × 390.9	広島県立美術館	
78	涙する人	1968	(昭和 43)	油彩・カンヴァス	162.0 × 130.5 (右)	群馬県立館林美術館	
79	えじき	1969	(昭和 44)	油彩・カンヴァス	116.4 × 80.7	世田谷美術館	
80	地表	1971	(昭和 46)	油彩・カンヴァス	130.6 × 193.7	群馬県立館林美術館	
81	眠る人	1976	(昭和 51)	油彩・カンヴァス	33.0 × 45.5	群馬県立館林美術館	
82	かえり道	1976	(昭和 51)	油彩・カンヴァス	80.3 × 100.0	広島県立美術館	
83	夜明け	1976	(昭和 51)	油彩・カンヴァス	80.4 × 100.0	広島県立美術館	
84	夜の樹	1961	(昭和 36)	パステル・紙	25.7 × 37.0	群馬県立近代美術館	後期
85	道化	1962	(昭和 37)	パステル・紙	36.3 × 25.2	群馬県立近代美術館	前期
86	オレンヂの騎手	1962	(昭和 37)	パステル・紙	37.3 × 26.5	群馬県立近代美術館	後期
87	ボンゴの踊り	1962	(昭和 37)	パステル・紙	25.5 × 36.4	群馬県立近代美術館	前期
88	原始(赤)	1962	(昭和 37)	パステル・紙	27.0 × 38.0	高崎市美術館	前期
89	パイロット	1962	(昭和 37)	パステル・紙	37.0 × 26.1	群馬県立近代美術館	前期
90	食卓の人	1962	(昭和 37)	パステル・紙	25.8 × 36.6	群馬県立近代美術館	後期
91	浮遊	1962	(昭和 37)	パステル・紙	35.8 × 24.8	財団法人 大川美術館	後期
92	ブラックボード	1962	(昭和 37)	パステル、 コラージュ・紙	38.0 × 53.8	個人蔵	後期
93	紫の光線	1962	(昭和 37)	パステル・紙	53.3 × 37.3	個人蔵	前期
94	魚を突く人	1962	(昭和 37)	パステル・紙	53.8 × 37.8	府中市美術館	前期
95	微笑	1962	(昭和 37)	パステル・紙	52.3 × 36.5	群馬県立近代美術館	後期
96	餌を喰べる魚	1962	(昭和 37)	パステル・紙	38.2 × 53.0	東京国立近代美術館	前期
97	犬を連れた人	1962	(昭和 37)頃	パステル・紙	27.0 × 38.3	個人蔵	前期
98	南方の櫛	1964	(昭和 39)	パステル・紙	38.2 × 27.0		後期
99	こだま	1964	(昭和 39)	パステル・紙	27.0 × 37.5	群馬県立近代美術館	後期
100	花の表情	1964	(昭和 39)	パステル・紙	27.0 × 37.4	群馬県立近代美術館	前期
101	おばけ	1964	(昭和 39)	パステル・紙	38.0 × 27.0	個人蔵	前期
102	黒い子供	1964	(昭和 39)	パステル・紙	37.5 × 27.0	群馬県立近代美術館	後期
103	仮面の夜	1964	(昭和 39)	パステル・紙	37.6 × 27.0	群馬県立近代美術館	後期
104	夜の花	1964	(昭和 39)	パステル・紙	27.1 × 38.2	府中市美術館	前期
105	ゆあみする人	1964	(昭和 39)	パステル・紙	27.0 × 37.6	群馬県立近代美術館	後期
106	男の顔	1965	(昭和 40)	パステル・紙	38.2 × 27.0		後期
107	かたつむり	1965	(昭和 40)	パステル・紙	27.0 × 38.2		前期
108	小鳥達	1965	(昭和 40)	パステル・紙	38.2 × 26.9		後期
109	謂れなき涙	1966	(昭和 41)	パステル・紙	26.8 × 37.8	東京国立近代美術館	後期
110	ベル	1967	(昭和 42)	パステル・紙	38.0 × 27.0		前期
111	赤ちゃん	1967	(昭和 42)	パステル・紙	26.0 × 37.0	財団法人 大川美術館	前期
112	炎	1968	(昭和 43)	パステル・紙	37.7 × 26.7	群馬県立近代美術館	前期

No.	作品名	制作年	技法・材質	寸法（縦×横×奥行きcm）	所蔵先	備考・展示期間
113	幼虫	1968 （昭和 43 ）	パステル・紙	26.0 × 36.5	群馬県立館林美術館	前期
114	太陽	1968 （昭和 43 ）頃	パステル・紙	26.7 × 37.7	群馬県立館林美術館	後期
115	赤い蛇	1968 （昭和 43 ）頃	パステル・紙	34.0 × 23.0	群馬県立館林美術館	後期
116	ためらう	1969 （昭和 44 ）	パステル・紙	26.7 × 37.7	群馬県立近代美術館	前期
117	手をつなぐ人	1969 （昭和 44 ）	パステル・紙	27.0 × 37.4	群馬県立近代美術館	後期
118	魚	1969 （昭和 44 ）	パステル・紙	38.0 × 27.0	個人蔵	前期
119	唄	1969 （昭和 44 ）	パステル・紙	26.7 × 37.6	群馬県立近代美術館	後期
120	ハートの顔	1969 （昭和 44 ）	パステル・紙	37.5 × 26.9	野中玲子氏蔵	前期
121	石川淳『マルスの歌』さし絵原画	1970 （昭和 45 ）	パステル・紙	27.0 × 18.0	群馬県立近代美術館	前期
122	石川淳『八幡縁起』さし絵原画	1970 （昭和 45 ）	パステル・紙	26.2 × 18.1	群馬県立近代美術館	後期
123	石川淳『かよい小町』さし絵原画	1970 （昭和 45 ）	パステル・紙	26.3 × 18.1	群馬県立近代美術館	後期
124	石川淳『鳴神』さし絵原画	1970 （昭和 45 ）	パステル・紙	26.3 × 18.0	群馬県立近代美術館	前期
125	石川淳『処女懐胎』さし絵原画	1970 （昭和 45 ）	パステル・紙	26.3 × 18.0	群馬県立近代美術館	後期
126	髯	1935 （昭和 10 ）	墨・紙	21.0 × 17.3		前期
127	西方の聖	1935 （昭和 10 ）	墨・紙	28.0 × 22.5	群馬県立館林美術館	後期
128	自画像（1）	1947 （昭和 22 ）	インク・紙	29.1 × 29.3	群馬県立近代美術館	前期
129	人（3）	1947 （昭和 22 ）頃	インク・紙	42.0 × 28.9	群馬県立近代美術館	後期
130	動物（2）－森の騎手－	1947 （昭和 22 ）頃	インク・紙	28.4 × 24.5	群馬県立近代美術館	後期
131	人々（1）－男と女－	1948 （昭和 23 ）	グワッシュ、色鉛筆・紙	25.0 × 37.0	群馬県立近代美術館	前期
132	抽象（3）－おかしな生理－	1948 （昭和 23 ）	クレパス、鉛筆・紙	25.3 × 19.0	群馬県立近代美術館	前期
133	抽象（4）－二人－	1948 （昭和 23 ）	クレパス・紙	37.8 × 24.3	群馬県立近代美術館	後期
134	人（11）－独奏－	1948 （昭和 23 ）	墨・紙	37.0 × 25.5	群馬県立近代美術館	後期
135	夜の街	1948 （昭和 23 ）頃	鉛筆・紙	25.6 × 19.0	宮城県美術館	前期
136	裸婦（C）	1948 （昭和 23 ）頃	グワッシュ・紙	35.0 × 24.6	群馬県立近代美術館	後期
137	顔（8）	1948 （昭和 23 ）頃	鉛筆・紙	29.2 × 20.7	群馬県立近代美術館	前期
138	人（13）	1948 （昭和 23 ）頃	鉛筆、色鉛筆・紙	35.8 × 24.8	群馬県立近代美術館	前期
139	人（14）	1948 （昭和 23 ）頃	鉛筆、クレパス・紙	24.2 × 37.5	群馬県立近代美術館	後期
140	抽象（8）	1948 （昭和 23 ）頃	鉛筆、色鉛筆・紙	25.3 × 18.8	群馬県立近代美術館	後期
141	人々（10）	1953 （昭和 28 ）	インク・紙	35.7 × 24.7	群馬県立近代美術館	後期
142	人（21）	1953 （昭和 28 ）	インク・紙	35.7 × 24.5	群馬県立近代美術館	前期
143	裸婦（1）	1960 （昭和 35 ）年代	コンテ・紙	43.7 × 30.0	群馬県立近代美術館	後期
144	裸婦（7）	1960 （昭和 35 ）年代	コンテ・紙	43.7 × 30.0	群馬県立近代美術館	前期
145	裸婦（19）	1960 （昭和 35 ）年代	コンテ・紙	43.7 × 30.0	群馬県立近代美術館	後期
146	裸婦（23）	1960 （昭和 35 ）年代	コンテ・紙	43.7 × 30.0	群馬県立近代美術館	前期
147	管男となりてがんばる	1976 （昭和 51 ）	鉛筆・紙	24.0 × 22.6	東京都現代美術館	前期
148	港街	1951 （昭和 26 ）	油彩・ガラス	14.0 × 18.0	鈴木唯義氏蔵	
149	小鳥と少女	1952 （昭和 27 ）頃	油彩・ガラス	14.3 × 11.0	浅尾空人氏蔵	
150	幼児（B）	1952 （昭和 27 ）頃	油彩・ガラス	11.1 × 14.1	浅尾空人氏蔵	
151	小鳥と子ども（A）	1952 （昭和 27 ）頃	油彩・ガラス	14.3 × 11.1	浅尾空人氏蔵	
152	顔	不明	油彩・ガラス	12.0 × 17.0	富山県立近代美術館（瀧口修造コレクション）	
153	死	1950 （昭和 25 ）	ブロンズ	21.0 × 12.5 × 19.2	個人蔵	
154	転がっている首	1950 （昭和 25 ）	ブロンズ	16.8 × 21.0 × 17.5	群馬県立館林美術館	
155	女の顔	1950 （昭和 25 ）	テラコッタ（陶）	30.5 × 9.5 × 8.7	富山県立近代美術館（瀧口修造コレクション）	
156	人体	1951 （昭和 26 ）	ブロンズ	16.6 × 15.0 × 6.6	群馬県立近代美術館	
157	男と女	1959 （昭和 34 ）	鉄	110.5 × 68.5 × 20.5	徳島県立近代美術館	

*展示期間：前期=4/14～5/13　後期=5/15～6/17　空欄=全期間

◎印刷物・会場作成物

・図録　A4 変形（29.6×22.4cm）188 頁
内容：
ごあいさつ
謝辞
目次
鶴岡政男という画家ー生の現実と絵画の重奏（神奈川県立近代美術館館長 山梨俊夫）
鶴岡政男の足跡（徳江庸行）
図版
第Ⅰ章　生成 1945 年まで
第Ⅱ章　確立 1946－1959 年
第Ⅲ章　展開 1960－1976 年
第Ⅳ章　パステル画
第Ⅴ章　素描・ガラス絵・彫刻
章解説（I, II, V 章：徳江庸行、III, IV 章：伊藤佳之）
作品解説（徳江庸行、伊藤佳之）
年譜（伊藤佳之編）
参考文献目録（伊藤佳之編）
作品リスト
編集：徳江庸行、松下由里、伊藤佳之（群馬県立館林美術館）、山梨俊夫（神奈川県立近代美術館）
デザイン：馬面俊之
制作：リーヴル
発行：東京新聞
・ジュニアガイド　A3、四つ折り
・ポスター　B2
・ちらし A4

・パネル
挨拶パネル 2 枚（和文、英文）
章解説パネル 5 枚
作品解説キャプション 50 枚
年譜パネル 1 枚
作家ポートレートパネル 1 枚
・会場配布用出品作品リスト　A3、二つ折り

◎主要関連記事（長文掲示は末尾に＊）

[新聞等]
・朝日新聞
4.25、5.8、5.9、5.16、5.30（夕刊）
「群馬県立館林美術館 鶴岡政男展」＜群馬マリオン＞
5.2、5.16、5.30
「群馬県立館林美術館 鶴岡政男展」＜群馬マリオン沿線美術館情報＞
5.9（夕刊）
「鶴岡政男展 戦後精神映す「重い手」」（編集委員・田中三蔵）＊
・朝日ぐんま
4.6　「座談会　父、鶴岡政男を語る」＜イベント＞
4.13　「生誕 100 年 鶴岡政男展～無頼の遊戯」
4.20　「生誕 100 年 鶴岡政男展～無頼の遊戯」＜美術探訪＞＊
5.25　「ツルオカさんの絵から音楽をつくろう」
・茨城新聞
4.19　「生誕 100 年祝い 鶴岡政男展」＜近県瓦版＞＊
・太田タイムス
4.7　「生誕 100 年 鶴岡政男展　4 月 14 日から」＊
4.28　「読者プレゼント アートにふれて 館林美術館」
5.12　「ツルオカさんの絵から音楽をつくろう」＊
・産経新聞
4.12　「生誕 100 年 鶴岡政男展「無頼の遊戯」」＜ミュージアム ギャラリー＞
6.1　「鶴岡政男展 無頼の遊戯」＜アートカレンダー＞
・上毛新聞
4.3　「県立つつじが岡公園　つつじまつり　見どころ　県立館林美術館「生誕 100 年鶴岡政男ー無頼の遊戯ー」」＜県立つつじが岡公園つつじまつり＞
4.11　「館林美術館企画展示座談会「父 鶴岡政男を語る」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
4.13　「生誕 100 年記念し鶴岡政男展 あすから館林美術館」＊
4.15、5.13、5.15
「館林美術館企画展示「生誕 100 年 鶴岡政男展ー無頼の遊戯ー」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
4.15、5.4
「館林美術館子どもギャラリートーク」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
4.16　「画家の怒りと優しさ 館林美術館「鶴岡政男展」 座談会で 2 人の娘が紹介」＊
4.22　「館林美術館企画展示記念講演会「鶴岡政男ー生活と芸術」」＜ゆうまちゃんの掲示
板＞
4.24　「鶴岡政男展で 29 日に講演会」
4.26　「「病床でも創作に意欲」県立館林美術館「鶴岡政男展」長女、二女が素顔語る」＊
4.28、6.2
「館林美術館「野村誠氏によるワークショップ『ツルオカさんの絵から音楽をつくろう』」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
4.30　「生誕 100 年 鶴岡政男展ー無頼の遊戯　6 月 17 日まで県立館林美術館「人間とは」問い続け 貪欲な行動力で創作」（小沢宜信）＊
4.30　「異才の美術家 1　鶴岡政男生誕 100 年展から 戦争体験とわだかまり《重い手》」（県立館林美術館学芸員・徳江庸行）
5.2　「『重い手』に強い衝撃 館林美術館で針生さん 画家・鶴岡政男を熱く語る」＊
5.4、5.18、6.8
「県立館林美術館「生誕 100 年鶴岡政男展ー無頼の遊戯」」＜気になる情報　ぱれっと＞

5.14「異才の美術家2　鶴岡政男生誕100年展から 純粋な抽象から迫る《人間気化》」（県立館林美術館学芸員・徳江庸行）

5.21「異才の美術家3　鶴岡政男生誕100年展から 事象を極限まで解体《射的》」（県立館林美術館学芸員・徳江庸行）

5.28 「異才の美術家 4　鶴岡政男生誕 100 年展から 矛盾にもがく人間追求《柄的人間》」（県立館林美術館学芸員・伊藤佳之）

6.14 「館林美術館企画展示「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」作品解説会」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

・上毛新聞シャトル（館林ニュース）

4.6、4.9、4.13、4.16、4.20、4.23、4.27、 4.30、 5.4、5.11、5.14、5.18、5.21、5.25、5.28、 6.1、6.4、6.8、 6.15

「企画展示　生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜出かけてみませんか 情報 BOX＞

4.14「戦後洋画壇の異才－鶴岡政男の画業回顧 きょうから館林美術館」＊

4.15、4.29、5.13、5.27、6.10

「県立館林美術館「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯」＜MUSEUM＞

4.23、4.27

「記念講演会「鶴岡政男－生活と芸術」＜出かけてみませんか　情報 BOX＞

4.30「美のエネルギー発信　県立館林美術館学芸グループリーダー徳江庸行さん」＜郷土に生きる＞＊

5.14「企画展示「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯」学芸員による作品解説会＜出かけてみませんか 情報 BOX＞

5.21「児童 18 人が体験学習 ミュージアム・スクール開校 等身大の自画像描く 館内見学、作品鑑賞も」＊

・下野新聞

4.5 「群馬県立館林美術館　生誕 100 年 鶴岡政男展」＜展示館だより＞

4.12「群馬県立館林美術館　生誕 100 年 鶴岡政男展」＜展示館だより＞

・新美術新聞

4 月 1 日 No.1116

「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」（広告）

5 月 1、11 日合併号 No.119

「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－ 人間を取り巻く矛盾への追究」（徳江庸行・群馬県立館林美術館学芸員）＊

「群馬県立館林美術館～生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯～」＜美術館ギャラリーガイド＞

・東京新聞

1.8 「鶴岡政男回顧展」＜今年の主な美術展＞

4.2 「鶴岡政男展」

4.12、4.19、4.26、5.3、5.10、5.17、5.24、5.31、6.7、6.14

「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜美術・博物館ガイド＞

4.15「「鶴岡政男展」始まる

5.8 「鶴岡政男展」

5.18「無頼の遊戯 鶴岡政男展から 上 《物乞う人（辻楽士）》」（県立館林美術館学芸員・徳江庸行）＊

5.19「無頼の遊戯 鶴岡政男展から 中 《落下する人体》」（県立館林美術館学芸員・徳江庸行）＊

5.20「無頼の遊戯 鶴岡政男展から 下 《青いカーテン》」（県立館林美術館学芸員・伊藤佳之）＊

5.23「鶴岡政男「夜の群像」人間の本性、社会の現実暴く」（県立近代美術館　田中龍也）＜群馬の美＞＊

6.4 「戦後洋画の異才・鶴岡政男 二畳間から生まれた作品群 生誕 100 年の記念展」＊

6.8 「美の巨人たち」

8.1 「人間を愛し、人間を笑う　鶴岡政男展から 1《重い手》」（神奈川県立近代美術館館長・山梨俊夫）＜神奈川県版朝刊＞＊

8.2 「人間を愛し、人間を笑う　鶴岡政男展から 2《夜の祭典》」（神奈川県立近代美術館館長・山梨俊夫）＜神奈川県版朝刊＞＊

8.2 「人間を愛し、人間を笑う　鶴岡政男展から 3《視点 B》」（神奈川県立近代美術館館長・山梨俊夫）＜神奈川県版朝刊＞＊

・日本経済新聞

5.9（夕刊）

「生誕 100 年 鶴岡政男展」

6.5 「人間を直視した鶴岡政男の回顧展」＜文化往来＞

・毎日新聞

4.11、4.18、4.29、5.9、5.23、5.30、6.6、6.13

「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜群馬のミュージアム＞

4.13「館林市＝生誕 100 年鶴岡政男展－無頼の遊戯－＜ふれあい催事記＞

8.29「鶴岡政男展と中村宏展　戦後絵画に異彩放つ二筋の軌跡」＜現代アート考＞（三田晴夫）＊

・まいにち

3・4・5 月号

「生誕 100 年 鶴岡政男展」＜イベント・インフォメーション＞＊

・讀賣新聞

4.6 「生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－ 県立館林美術館」＜ギャラリー＞

6.7 「鶴岡政男展 さまよう叙情 色彩の妙」（前田恭二）＊

・群馬よみうり あみーご

4.14 「館林 無頼不逞の画家・鶴岡政男に迫る」＜地域の話題＞

4.21 「館林 鶴岡政男展 記念講演会「鶴岡政男－生活と芸術－」

5.10 「生誕 100 年迎えた異才画家－風刺とユーモアで人間の内面活写－」＜特集 鶴岡政男（高崎出身）＞＊

・群馬よみうりプラス

5.10 「特集 鶴岡政男（高崎出身）生誕 100 年迎えた異才画家」

・両毛新聞

4.10 「異才画家鶴岡政男展」

[定期刊行物]

・足利漫我人

4 月号「県立館林美術館情報 生誕 100 年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜マガジン・ネットワーク＞

5 月号「生誕 100 年「鶴岡政男展～無頼の遊戯」＜タウンレポートあれこれ＞

7 月号「タウンレポート in 館林」

・アート・トップ

5月号「生誕100年 鶴岡政男展」＜別冊［ぶらり展覧会ガイド］＞
6月号「県立館林美術館情報 生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜マガジン・ネットワーク＞
・ギャラリー
4月号「鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜全国の展覧会スケジュール＞、「生誕記念展など」＜特集 2007美術展覧会ガイド＞
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」（広告）
5月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜全国の展覧会スケジュール＞
6月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜全国の展覧会スケジュール＞
・グラフぐんま
4月号「館林美術館 企画展示「生誕100年鶴岡政男展」＜イベントガイド＞
5月号「人間を描き続けた異才 生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯」＜Gallery ＞＊
・ぐんま広報
4月号「館林美術館企画展示　生誕100年　鶴岡政男展＜Information＞
・ぐんま情報誌　からっ風
3、4、5、6月号
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」（Art Museum 2007美術館情報）
・芸術新潮
4月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯」＜INVITATION EXHBITION＞
5月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯」（広告）
・月刊美術
4月号「鶴岡政男回顧展」＜展覧会情報＞
5月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜招待券プレゼント＞
・広報たてばやし
6月1日号
「企画展示「生誕100年 鶴岡政男展～無頼の遊戯～」」＜情報アラカルト＞
・地域創造レター
4月号「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－＜地域通信＞
・博物館研究
Vol.42 No.4
「群馬県立館林美術館　鶴岡政男展－無頼の遊戯、座談会、記念講演会」＜EVENT CALENDAR 5月のもよおし［美術］＞
Vol.42 No.5
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜EVENT CALENDAR 6月のもよおし［美術］＞
・美術手帖
6月号「群馬県立館林美術館 鶴岡政男展 無頼の遊戯」＜PREVIEWS そのほか注目の展覧会から＞
・美術年鑑
平成20年版
「鶴岡政男展 生誕100年 無頼の遊戯」
・美術の窓
2月号「生誕100年 鶴岡政男展」＜今年の展覧会 BEST50＞
4月号「生誕100年 鶴岡政男展」＜話題の展覧会＞
5月号「鶴岡政男展」＜巡回展情報＞
「生誕100年鶴岡政男展」＜展覧会情報＞
6月号「生誕100年鶴岡政男展」＜展覧会情報＞
「美の巨人たち 16日 鶴岡政男「重い手」」＜テレビ・インフォメーション＞
「鶴岡政男展」＜巡回展情報＞
・美連協ニュース
5月号「生誕100年 鶴岡政男展」＜加盟館展覧会案内＞
・マンスリーとーぶ
5月号「生誕百年 鶴岡政男展」
・渡良瀬通信
4、5、6月号
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」＜Watarase Information＞
5月号「館林市 鶴岡政男展～無頼の遊戯～」＜Watarase Information TOPICS＞
・BM美術の杜
Spring　Vol.12
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」
・Deli-J
4月号「館林市　生誕100年鶴岡政男展　群馬県立館林美術館」＜Event Guide いべんと伝言板＞
・SPA!
5月15日号
「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」

◎放送

［テレビ］
・テレビ東京
5.27　20:45-21:00　「新日曜美術館・アートシーン」
6.2　22:00-22:30　美の巨人たち＜鶴岡政男「重い手」＞
・BS Japan
6.2　17:30-18:00　美の巨人たち＜鶴岡政男「重い手」＞
［ラジオ］
・エフエム群馬
4.18　17:47-17:51　＜ぐんま情報トッピング＞
・エフエム太郎
4.13、4.20、5.4、5.8、5.11、6.15　8:20-8:25 ＜ぐんまいきいき情報＞

◎関連事業

・座談会
4.14　「父、鶴岡政男を語る」
語り手：よしだひろこ（画家・心理療法士）、鶴岡美直子（詩人・画家）
聞き手：徳江庸行（当館学芸員）

・記念講演会

4.29　「鶴岡政男－生活と芸術」

講師：針生一郎（美術評論家）

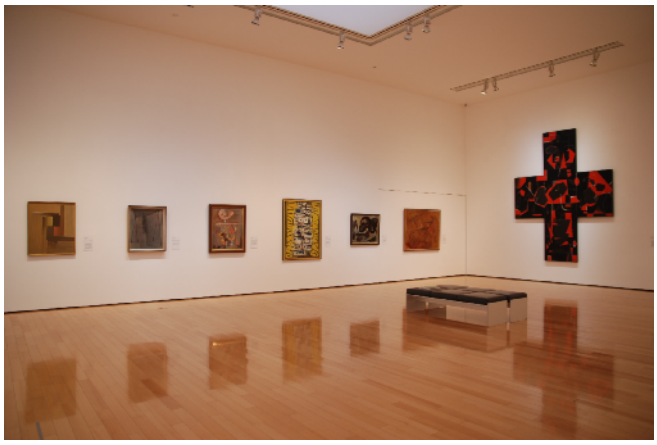
・ワークショップ

6.9–10　「ツルオカさんの絵から音楽をつくろう」

講師：野村誠（作曲家）、鈴木潤（音楽家）、林加奈（音楽家）

対象：小学生以上（小学３年生以下は保護者同伴）

展示室２



展示室４

座談会｛父、鶴岡政男を語る｝

ワークショップ

2. 夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史

会期　　平成 19 年 6 月 30 日(土)～9 月 9 日(日)
　　前期:6 月 30 日(土)～8 月 5 日(日)
　　後期:8 月 8 日(水)～9 月 9 日(日)
会場　　展示室 2、3、4
主催　　群馬県立館林美術館、読売新聞東京本社、
　　美術館連絡協議会
企画協力　　東京都写真美術館
協力　　日本大学芸術学部
協賛　　ライオン、清水建設、大日本印刷
観覧料　　一般　500(400)円　　大高生 250(200)円
　　(　)内の観覧料は、団体割引料金

現在までに発見されている日本人を被写体とした最古の写真は、栄力丸という船に乗って漂流しアメリカの商船に救助された人々を写したものである。また日本で撮影された最古の写真は、ペリーに同行して黒船でやって来た写真師エリファレット・ブラウン・Jrが写したもので、日本国内に現存するものは国の重要文化財に指定されている。本展では、同じく重文に指定されている今はなき江戸城を記録した写真(東京都江戸東京博物館蔵)など、関東地方の美術館、博物館に所蔵・寄託されている幕末・明治の写真を紹介した。

展覧会では「であい」「まなび」「ひろがり」の3章構成になるようにした。日本人が被写体として写真と「であい」、開明的な藩主や科学者たちがその技術を「まなび」、ほぼ同時に誕生した営業写真師たち、もしくは彼らが撮った写真が地域的にも内容的にも「ひろがり」を見せる。本展では写真の「開拓史」の中でのそうした展開を、良く知られた名品と、大学付属の博物館施設など所蔵のこれまであまり知られていなかった作品でたどれるようにした。

下岡蓮杖、フェリーチェ・ベアト、小川一真といった当時の日本の写真界を代表する写真師から、小幡氏𠮷のように群馬県で活動した写真師の写真まで幅広く揃う豪華なラインナップである。被写体としては徳川十五代将軍徳川慶喜、近藤勇、福沢諭吉といった有名人も登場する計300点以上(途中展示替えあり)の作品で、近代的芸術表現という「夜明け」を迎える以前の日本写真史の、知られざる側面を見ることができるようにした。

ポスター

研究報告

ジュニアガイド

出品目録

であい

No.	作品名 （ ）のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
1	黒川嘉兵衛像◎	エリファレット・ブラウン・Jr	安政元(1854)年	ダゲレオタイプ	日本大学芸術学部寄託		○
2	田中光儀像◎	エリファレット・ブラウン・Jr	安政元(1854)年	ダゲレオタイプ	東京都写真美術館寄託	○	
3	野々村忠実像	C.D.フレデリックス	万延元(1860)年	ダゲレオタイプ	東京都写真美術館	○	○
4	(栄力丸船員 いわぞう)	H.R.マークス	嘉永3-4(1850-1851)年	ダゲレオタイプ	川崎市市民ミュージアム		○
5	(栄力丸船員 いわぞう)	H.R.マークス	平成2(1990)年	レプリカ	川崎市市民ミュージアム	○	
6	(栄力丸船員 しんぺい)	H.R.マークス	平成2(1990)年	レプリカ	川崎市市民ミュージアム	○	○
7	イラストレイテッドニューズ		1853年1月22日号(嘉永6年)	絵入り新聞	横浜開港資料館	○	○
8	第二回遣欧使節 外国奉行支配組頭 田辺	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
9	第二回遣欧使節 外国奉行、副使 河津伊豆	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
10	第二回遣欧使節一行	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
11	第二回遣欧使節 田辺太一、三宅秀、杉浦愛	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
12	第二回遣欧使節 通弁御用出役 塩田三郎	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
13	第二回遣欧使節 外国奉行、正使 池田筑後	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
14	第二回遣欧使節 河津伊豆守、池田筑後守、河田相模守	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
15	第二回遣欧使節 目付 河田相模守	ナダール	元治元(1864)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
16	第一回遣欧使節一行 (モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館	○	
17	第二回遣欧使節 鎧姿の河津伊豆守(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館		○
18	第二回遣欧使節 腰掛ける鎧姿の河津伊豆守(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館	○	
19	第二回遣欧使節 ポール・ナダールと使節(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館		○
20	第二回遣欧使節 河津伊豆守、池田筑後守、河田相模守 (モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館	○	
21	第二回遣欧使節 池田筑後守と従者(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館		○
22	第一回遣欧使節 竹内下野守、松平石見守、京極能登守、柴田貞太郎(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館	○	
23	第一回遣欧使節 二人の使節(モダンプリント)	ナダール	昭和63(1988)年	ゼラチン・シルバー・プリント	東京都写真美術館		○
24	木村喜毅	制作者不詳	万延元(1860)年	アンブロタイプ	横浜開港資料館	○	○
25	野々村忠実像	制作者不詳	万延元(1860)年	アンブロタイプ	東京都写真美術館	○	○

まなび

No.	作品名 （ ）のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
26	田中芳男像	上野彦馬	明治10-14(1877-81)年	鶏卵紙	久米美術館	○	○
27	(岩崎久弥像)	上野彦馬	制作年不詳	鶏卵紙	静嘉堂文庫美術館	○	
28	(岩崎久弥像)	上野彦馬	制作年不詳	鶏卵紙	静嘉堂文庫美術館		○
29	三浦秀真像	鵜飼玉川	文久3(1863)年	アンブロタイプ	横浜開港資料館	○	○
30	木村政信像	下岡蓮杖	文久2(1862)年	アンブロタイプ	東京都写真美術館	○	○
31	吉田庸徳像	下岡蓮杖	慶応4(1868)年	アンブロタイプ	行田市郷土博物館	○	○
32	(江川英武像)	下岡蓮杖	明治4(1871)年	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託	○	
33	(森田留蔵像)	下岡蓮杖	明治4(1871)年	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託		○
34	(岸田吟香像)	下岡蓮杖	明治5(1872)年	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	○
35	足利初代将軍高氏公	下岡蓮杖	制作年不詳	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
36	雪舟七十一歳	下岡蓮杖	制作年不詳	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
37	(煮味噌濾売)	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
38	(豆腐屋と客)	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
39	(読経する僧侶たち)	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	

No.	作品名 （ ）のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
40	（二人の人足）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
41	（飛脚）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
42	（武士の子と母）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
43	（母と娘）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
44	（役者）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
45	（裃をつけた侍）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
46	（羅宇売）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
47	（礼服姿の武士）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
48	（箒売）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
49	（二人の女性と少年）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
50	（四人の旅支度の僧侶）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
51	（お習字の練習）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
52	（テーブル脇の二人の女性）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
53	（モッコを肩にした人足）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
54	（屋敷の門）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
55	（易者）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
56	（椅子の脇に立つ女性）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
57	（臼で脱穀）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
58	（唄の稽古）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
59	（岡引と罪人）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
60	（浦賀港）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
61	（桶屋）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
62	（下田、中村橋）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
63	（果物売）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
64	（火鉢を囲む家族）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
65	（菓子屋）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
66	（猿回し）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
67	（鎧兜の武将）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
68	（甲冑姿の侍大将）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
69	（義太夫節）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
70	（腰掛ける二人の僧侶）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
71	（腰掛ける娘）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
72	（傘を差し掛ける男性）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
73	（算盤売）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
74	（獅子舞の一団）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
75	（糸つむぎ）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
76	（紙漉き）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
77	（手習い）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
78	（手習い）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
79	（酒を酌み交わす三人の男）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
80	（商家の主と女中）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
81	（農家の子供たち）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
82	（大礼服の姿の大名）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
83	（団欒）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
84	（帳場）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
85	（直垂長袴の武士）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
86	（豆腐屋）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
87	（傘張り）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
88	（傘張り）	下岡蓮杖	幕末～明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
89	羽柴関白豊臣秀吉公	下岡蓮杖ヵ	制作年不詳	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
90	北條相模入道時頼朝臣	下岡蓮杖ヵ	制作年不詳	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
91	（男性四人像）	田本研造	制作年不詳	鶏卵紙	（学校法人）青山学院	○	○
92	愛宕山から見た江戸のパノラマ	フェリーチェ・ベアト	元治元（1864）年頃	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
93	フランク・チースメン像	フェリーチェ・ベアト	明治7（1874）年頃	鶏卵紙	紙の博物館	○	○
94	江戸のパノラマ	フェリーチェ・ベアト	制作年不詳	鶏卵紙	日本大学芸術学部		○
95	Garden Pavilion, at O-jer	ミヒャエル・モーザー	明治5（1872）年	鶏卵紙	北区飛鳥山博物館		○

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
96	Oliphant's tea house -and village of O-jee-street. Rice plain beyond	ミヒャエル・モーザー	明治5(1872)年	鶏卵紙	北区飛鳥山博物館		○
97	On the highroad	ミヒャエル・モーザー	明治5(1872)年	鶏卵紙	北区飛鳥山博物館	○	
98	Tea house at O-JEE, back view	ミヒャエル・モーザー	明治5(1872)年	鶏卵紙	北区飛鳥山博物館	○	
99	Waterfall at O-JEE from the tea-house garden	ミヒャエル・モーザー	明治5(1872)年	鶏卵紙	北区飛鳥山博物館		○
100	Temple at Ikegami	ミヒャエル・モーザー	明治6(1873)年	鶏卵紙	池上本門寺		○
101	The Drum Tower and Pagoda-Ikegami	ミヒャエル・モーザー	明治6(1873)年	鶏卵紙	池上本門寺	○	
102	Temple Lodge-Ikegami	ミヒャエル・モーザー	明治6(1873)年	鶏卵紙	池上本門寺	○	
103	王子の茶屋	P. J. ロシエ	安政6(1859)年	鶏卵紙(ステレオ写真)	北区飛鳥山博物館	○	
104	神奈川宿	P. J. ロシエ	安政6(1859)年	鶏卵紙(ステレオ写真)	横浜開港資料館		○
105	東善寺の庭の護衛	P. J. ロシエ	安政6(1859)年	鶏卵紙(ステレオ写真)	横浜開港資料館	○	
106	冬の衣装の日本の婦人	P. J. ロシエ	安政6(1859)年	鶏卵紙(ステレオ写真)	横浜開港資料館		○
107	徳川慶喜	F. W. サットン	慶応3(1867)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
108	徳川慶喜	F. W. サットン	慶応3(1867)年	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
109	横浜・山手からの居留地の遠望	C. L. ウイード	慶応2(1866)年頃	鶏卵紙	日本大学芸術学部		○

ひろがり(公的記録の多様化)

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
110	(さらし首刑場風景)	臼井秀三郎	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	○
111	畿内	内田九一	明治5(1872)年	鶏卵紙	学習院大学図書館		○
112	西海道	内田九一	明治5(1872)年	鶏卵紙	学習院大学図書館	○	
113	西海道	内田九一	明治5(1872)年	鶏卵紙	学習院大学図書館		○
114	西海道	内田九一	明治5(1872)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
115	内田九一写真貼	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	日本大学芸術学部	○	○
116	(第一高等中学校校舎竣工図)	江崎禮二	明治18(1885)年頃	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
117	(日本赤十字病院正面)	江崎禮二	明治20年代頃	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室		○
118	(南側から見た日本赤十字病院)	江崎禮二	明治20年代頃	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室		○
119	憲法發布式生徒整列撮影ノ圖 三枚ノ内	鈴木捲(旧字)雲	明治23(1890)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
120	憲法發布式生徒整列撮影ノ圖 三枚ノ内	鈴木捲(旧字)雲	明治23(1890)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
121	日清戦争写真帖	大日本写真品評会名古屋支部	明治27(1894)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
122	(東京英和学校 ガウチャー・ホール)	田中武	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
123	赤十字社出張仮病院丹羽郡小折村ニ於テ震災重傷患者治療ノ現況	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	
124	第一號 名古屋郵便電信局破壊ノ眞景	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
125	第二號 熱田町尾張紡績場機械所破壊ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
126	第三號 熱田町尾張紡績所裏面破壊ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
127	第四號 庄内川堤防ヨリ名古屋市街破壊ノ遠景	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
128	第五號 庄内川杷枇島橋落橋ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
129	第六號 名古屋天守閣及清洲櫓地震后ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
130	第七號 西春日井郡西杷枇島町鐵道アーチ破壊ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
131	第八號 西春日井郡川中島道路龜裂ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
132	第九號 西春日井郡西枇杷島町於第三師團兵死體堀索ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
133	第十號 西春日井郡西枇杷島町震災實景	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
134	第十一號 西春日井郡二ツ杁道路龜裂ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
135	第十二號 西春日井郡清洲本丸ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
136	第十三號 西春日井郡清洲本町被害ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
137	第十四號 丹羽郡多加木村筋違橋突出ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
138	第十五號 中島郡一宮町震災ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
139	第十六號 中島郡國幣眞清田神社山門前人民避難ノ圖 但山門ハ三百年已前ノ建築ナリ	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
140	第十七號 葉栗郡黒田村窮民焚出場ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
141	第十八號 葉栗郡北方村震災及道路破壊ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
142	第十九號 西春日井郡下小田井村堤防破壊家屋三間陥落ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
143	第二十號 西春日井郡下小田井村堤防破壊ノ圖	中村牧陽	明治24(1891)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	○
144	(アイヌの親子)	三嶋常磐	制作年不詳	鶏卵紙	学習院大学図書館		○
145	(アイヌ村風景)	三嶋常磐	制作年不詳	鶏卵紙	学習院大学図書館	○	
146	(東京英和学校 ガウチャー・ホール)	山本賛七郎	明治27(1894)年以前	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
147	(江戸城大手門)◎	横山松三郎	明治4(1871)年	コロディオン湿式原板	東京都江戸東京博物館	○	
148	(江戸城上梅林門と二ノ丸喰違門)◎	横山松三郎	明治4(1871)年	コロディオン湿式原板	東京都江戸東京博物館	館場	林会不出
149	(江戸城本丸書院二重櫓と重箱二重櫓)◎	横山松三郎	明治4(1871)年	コロディオン湿式原板	東京都江戸東京博物館		○
150	軍曹 大矢周知	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館		○
151	伍長 入江直徳	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館		○
152	伍長 小川岩太郎	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館		○
153	少尉 河野通幸	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館		○
154	大尉 寺内正毅	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館	○	
155	二等卒 赤間善吉	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館		○
156	二等卒 関藤梅五郎	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館	○	
157	二等卒 中川彌市	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館	○	
158	二等卒 古川早太	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館	○	
159	陸軍軍曹 長谷川庄次郎	吉村善一郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	靖国神社 遊就館	○	
160	明治廿五年十月特別大演習ノ節自宇都宮至東京汽車病院ノ圖	陸地測量部	明治25(1892)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	
161	日清戦争写真帖	陸地測量部	明治27-28(1894-1895)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
162	(開業前の新橋停車場)	制作者不詳	明治5(1872)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	○
163	(開成学校 御臨幸之図)	制作者不詳	明治6(1873)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
164	開成学校ノ圖 明治六年開成學校 御臨校之圖	制作者不詳	明治6(1873)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
165	日本東京開成學校正面圖	清水東谷	明治8(1875)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
166	(本堂を再建中の増上寺)	制作者不詳	明治12(1879)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	○
167	(日本赤十字社の担架の原における担架訓練)	制作者不詳	明治17(1884)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室		○

ひろがり(人物写真の普及)

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
168	(上田藩士・上野志道)	浅山平七郎	慶応2(1866)年	アンブロタイプ	上田市立博物館	○	○
169	(家族像)	荒川高春	明治16(1883)年	アンブロタイプ	港区立港郷土資料館		○
170	ミス・ランド	荒川高春	明治20-25(1887-1892)年	鶏卵紙	東洋英和女学院史料室	○	
171	岩田家十一代 岩田郁衛門信賢	岩田恒吉	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館		○
172	岩田恒吉妹 きい	岩田恒吉	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館		○

No.	作品名 （ ）のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
173	岩田恒吉母　ゑつ	岩田信順	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
174	大阪屋惣吉	岩田恒吉	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
175	(岩田信賢)	岩田恒吉ヵ	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
176	岩田信順	岩田恒吉ヵ	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館		○
177	男女三人座像	岩田恒吉ヵ	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
178	佐竹勇雄妻	岩田恒吉ヵ	明治2(1869)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
179	男性像	岩田恒吉ヵ	制作年不詳	アンブロタイプ(モンタージュ)	成蹊学園史料館		○
180	笑う男と三人の女	岩田恒吉ヵ	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館	○	
181	岩田恒吉	岩田信賢	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館		○
182	岩田信賢母貞順	岩田信順	慶応3(1867)年	アンブロタイプ	成蹊学園史料館		○
183	(桶屋)	臼井秀三郎	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	
184	(天秤棒を持つ男立像)屋外	臼井秀三郎	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	
185	(天秤棒を持つ男立像)屋内	臼井秀三郎	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館		○
186	(和装女性立像)屋内	臼井秀三郎	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館		○
187	(柏木忠俊像)	内田九一	明治6(1873)年	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託		○
188	(廣澤兵助像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
189	(森田留蔵親族)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託	○	
190	(和装男性二人像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	
191	(和装男性座像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館		○
192	(陸奥宗光像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	
193	(和装男性正面座像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	横浜開港資料館		○
194	(腰掛ける男性像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
195	(島津公像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
196	(松本良順像)	内田九一	明治時代初期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
197	大久保晃像	江木松四郎	制作年不詳	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	
198	(女性胸像)	江木松四郎	明治13-24(1880-1891)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
199	(東京英和学校卒業記念)	江木松四郎	明治24(1891)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
200	明治廿五年生徒行軍之寫影	江木松四郎	明治25(1892)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
201	明治廿七年卒業生撮影	江木松四郎／成田常吉	明治27(1894)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
202	(女性胸像)	江崎禮二	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
203	(男性胸像)	江崎禮二	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
204	(男性胸像)	江崎禮二	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
205	(男性立像)	江崎禮二	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
206	(人力車と男)	遠藤誠	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
207	(左近義弼ノ兄)	大川孝	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
208	速水堅曹像	小川一真	明治10年代初頭	鶏卵紙	金井家蔵 行田市郷土博物館寄託	○	○
209	明治二十三年第一高等中学校　校友會ベースボール部	小川一真	明治23(1890)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
210	(宣教師スペンサー氏と家族)	小川一真	明治24(1891)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
211	明治廿五年卒業生徒ノ図	小川一真	明治25(1892)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
212	(宣教師達)	小川一真	明治25(1892)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
213	(男性五人座像)	小川一真	明治10年代頃	コロジオン湿板ネガ	金井家蔵 行田市郷土博物館	○	○
214	(日新戦争時の補充大隊第一中隊)	小幡氏	明治27(1894)年	鶏卵紙	上田市立博物館	○	○
215	(ミセス・スペンサー胸像)	鹿島清兵衛	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
216	(役者)	鹿島清兵衛	制作年不詳	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	
217	(和装女性二人像)	小谷荘治郎	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
218	(森田紹作像)	小見山信良	明治26(1893)年	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託	○	
219	(近藤勇像)	制作者不詳	幕末～明治時代中期	鶏卵紙	小西晃氏蔵 学習院大学史料館寄託		○
220	(栗谷和平等二人像)	清水東谷	明治5(1872)年	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
221	伊達和浦像	清水東谷	明治時代中期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	

222	東京英和学校神学科第一回卒業生	鈴木真一	明治16(1883)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
223	(帝国大学陸上運動会において諸官立学校に勝利した第一高等中学校生徒)	鈴木真一	明治21(1888)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
224	(帝国大学競漕会で勝利した高等中学校生徒)	鈴木真一	明治22(1889)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館		○
225	(M. A. スペンサー)	鈴木真一	明治24-25(1891-1892)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
226	明治廿五年校友會端艇部競漕會撰手競漕勝者	鈴木真一	明治25(1892)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
227	(ミス・スペンサー)	鈴木真一	明治25(1892)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
228	(清国捕虜と日本赤十字社看護師)	鈴木真一	明治27-28(1894-1895)年	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室		○
229	明治廿七年第一高等中学校校友會第七回競漕會撰手競漕勝者	鈴木真一	明治27(1894)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
230	12代黒川光正、算雄、光弥、正弘像	鈴木真一	明治16(1883)年頃	鶏卵紙	虎屋文庫	○	
231	(神学校宣教師胸像)	鈴木真一	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
232	(戸隠への旅〔田山花袋・祢津栄輔・武井米蔵〕)	春原純	明治26(1893)年	鶏卵紙	田山花袋記念文学館	○	○
233	(盛岡美以教会員)	田鎖綱郎	明治22(1889)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
234	太田ナミ像	武林盛一	明治時代中期	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	
235	(青山学院 野球部)	田中武	明治26(1893)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
236	(袴姿の女性三人像)	田中武	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
237	13代黒川光正像	田中武ヵ	明治19(1888)年頃	アンブロタイプ	虎屋文庫	○	○
238	(赤松小三郎の実母「志賀」)	田中鼎三ヵ	明治7(1874)年	鶏卵紙	上田市立博物館	○	
239	(長野県師範学校上田支校卒業式記念撮影)	田中鼎三ヵ	明治9(1876)年	鶏卵紙	上田市立博物館		○
240	(男性胸像)	田中松太郎	制作年不詳	鶏卵紙	久米美術館	○	
241	(女性胸像)	田中松太郎	制作年不詳	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
242	(男性胸像)	田中美代治	明治20-23(1887-1890)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
243	(生徒集合記念)	玉村康三郎ヵ	明治14(1881)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
244	(男性胸像)	田本研三	明治25(1892)年	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
245	生徒行軍撮影〔明治廿二年十一月廿一日〕埼玉縣白子村行軍之節	塚本陽東	明治22(1889)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
246	(山形美以教会員)	照井泰四郎	明治27(1894)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
247	神学博士ミーチャム婦人	東京印刷局	制作年不詳	鶏卵紙	東洋英和女学院史料室	○	
248	(宣教師と生徒達)	徳田孝吉	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
249	(腰掛ける洋装男性像)	長尾良明	制作年不詳	鶏卵紙	久米美術館		○
250	黒川光正像	長尾良明	明治時代初期	鶏卵紙	虎屋文庫	○	
251	平岩(「小」に「宜」)保像	中黒実	制作年不詳	鶏卵紙	東洋英和女学院史料室	○	○
252	(カナダ・メソジスト教会の宣教師ミーチャムと教え子たち)	中島待乳	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	東洋英和女学院史料室		○
253	明治二十六年七月高等普通科卒業記念	中島待乳	明治26(1893)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
254	(森田留蔵親族)	中邨雅朝	明治時代初期	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託	○	
255	萬屋内芸妓小力	中邨雅朝	明治時代初期	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
256	震災孤児院	中村牧陽	明治23(1890)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
257	(明治二十四年頃の清流女学校教師と生徒)	中村牧陽	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
258	(腰掛ける女性像)	成井頼佐	制作年不詳	鶏卵紙	東京都写真美術館		○
259	小林光泰像	樋口桃雲	制作年不詳	鶏卵紙	東洋英和女学院史料室		○
260	(東京英和学校初期ノ生徒)	二見朝隈	明治16(1883)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
261	竹富宇作像	二見朝隈	明治18(1885)年	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
262	井関サノ像	二見朝隈	明治21(1888)年	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
263	明治23-25年海岸女学校教師及び女生徒	二見朝隈	明治23-25(1890-1892)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
264	(明治二十四年海岸女学校日本学科予備科卒業写真)	二見朝隈	明治24(1891)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
265	(集合写真)	二見朝隈	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
266	染川局像	堀与兵衛	明治元(1868)年	アンブロタイプ	幕末と明治の博物館		○

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
267	多田吉甄像	堀与兵衛	慶応四(1868)年	アンブロタイプ	東京都写真美術館	○	
268	(女性二人像)	牧元次郎	制作年不詳	鶏卵紙	紙の博物館	○	○
269	(日清戦争期の軍人)	松岡写真館	明治27-28(1894-1895)年	鶏卵紙	上田市立博物館		○
270	(和装女性胸像)	松崎晋二	制作年不詳	鶏卵紙	学習院大学図書館	○	
271	(和装女性胸像)	松崎晋二	制作年不詳	鶏卵紙	学習院大学図書館		○
272	(明治廿二年十月第一高等中学校秋期大会撰手競漕勝者真影)	丸木利陽	明治22(1889)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
273	明治二十一年東京英和学校予備学部卒業生	丸木利陽	明治21(1888)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
274	(初めて神学校同窓会を組織せしときの撮影)	丸木利陽	明治22(1889)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
275	(明治二十三年対抗運動記念)	丸木利陽	明治23(1890)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物館	○	
276	青柳ナヲ像	丸木利陽	明治24-26(1891-1893)年頃	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室	○	
277	塚本(久島)トミ	丸木利陽	明治24-26(1891-1893)年頃	鶏卵紙	日本赤十字看護大学史料室		○
278	明治二十六年七月卒業生一同	丸木利陽	明治26(1893)年	鶏卵紙	東京大学教養学部美術博物		○
279	福沢諭吉	丸木利陽	制作年不詳	鶏卵紙	森田哲郎氏蔵 壬生町歴史民俗資料館寄託	○	○
280	(男性二人像)	丸木利陽	制作年不詳	鶏卵紙	小西晃氏蔵 学習院大学史料館寄託	○	
281	(和装女性立像)屋内	丸木利陽	制作年不詳	鶏卵紙	久米美術館		○
282	宣教師ワッドマンと家族	丸木利陽	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
283	(男性胸像)	三嶋常磐	制作年不詳	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
284	二十四年六月清流女学校一同之ヲ写ス	宮下欽	明治24(1891)年	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
285	(渡辺治左衛門)	村田(東京浅草公園写真師竹山堂)	明治21(1889)年	アンブロタイプ	行田市郷土博物館	○	○
286	(女性胸像)	森山與一郎	明治13-20(1880-1887)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館	○	
287	(女性胸像)	森山與一郎	明治13-20(1880-1887)年頃	鶏卵紙	港区立港郷土資料館		○
288	長土塀党写真(西田幾多郎を含む六人の男)	吉田好二(金沢公園)	明治24(1891)年	鶏卵紙	学習院大学史料館		○
289	(西田幾多郎を含む男性四人立像)	吉田好二(金沢公園)	明治24(1891)年	鶏卵紙	学習院大学史料館	○	
290	(渡米前の手島精一)	制作者不詳	明治3(1870)年頃	アンブロタイプ	東京工業大学百年記念館	○	○
291	(田山花袋・姉かつよ・弟冨弥)	制作者不詳	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	田山花袋記念文学館	○	○
292	(腰掛ける女性)	制作者不詳	明治20年代頃	アンブロタイプ	小川家蔵 行田市郷土博物館寄託	○	
293	(子供たち)	制作者不詳	明治20年代頃	アンブロタイプ	行田市郷土博物館		○
294	(渡辺亀一と女装する友人)	制作者不詳	明治25(1892)年	アンブロタイプ	行田市郷土博物館	○	○
295	黒川算雄像(後の黒川光景)像	制作者不詳	明治10(1877)年頃	アンブロタイプ	虎屋文庫	○	○

ひろがり(海を渡るイメージ)

No.	作品名 ( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
296	Instantaneous surf effect at Fort Point, Golden Gate	江崎禮二	制作年不詳	鶏卵紙	学習院大学図書館	○	○
297	(和装で対局する宣教師)	神忍	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
298	(和装で対局する宣教師)	神忍	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
299	(和装の宣教師二人座像)	神忍	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院	○	
300	(和装の宣教師二人座像)	神忍	明治24(1891)年頃	鶏卵紙	(学校法人)青山学院		○
301	金幣アルバム	日下部金兵衛	明治時代中期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
302	金幣アルバム	日下部金兵衛	明治時代中期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
303	金幣アルバム	日下部金兵衛	明治時代中期	鶏卵紙	日本大学芸術学部	○	○
304	Album of JAPAN	日下部金兵衛	明治時代中期	鶏卵紙	日本大学芸術学部	○	○

№.	作品名　( )のあるものは仮称	作者名	制作年	技法	所蔵	前期	後期
305	Japanese Album(蒔絵)	日下部金兵衛	明治時代中期	鶏卵紙	日本大学芸術学部	○	○
306	横浜アルバム	玉村康三郎	明治時代中期	鶏卵紙	横浜開港資料館	○	○
307	中国アルバム	山本賛七郎	制作年不詳	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
308	パリ万博アルバム	横山松三郎	明治11(1878)年	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
309	veiws in Japan [Views in Japan]	フェリーチェ・ベアト	明治時代初期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○
310	veiws & costumes Jpan [Views in Japan]	スティルフリード&アンデルセン	明治時代中期	鶏卵紙	東京都写真美術館	○	○

※アルバムの作品は、会期中随時ページを展示替。国指定重要文化財は末尾に◎を付した。
※№219《(近藤勇像)》については、チラシの会期から変更となった。

群馬県ゆかりの特別出品

森田哲郎氏蔵、壬生町立歴史民俗資料館寄託「森田忠毅アルバム」より 1点

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	イメージサイズ	台紙サイズ
1	佐々木信三ヵ(佐々木写真館)	広瀬ムツ・金之助	明治30(1897)年	鶏卵紙	90×57	104×65

前橋市教育資料館所蔵、早川瀧太郎作品、計59点(すべて鶏卵紙)

	作者名	作品名	制作年		イメージサイズ	台紙サイズ	会期		
							Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
1	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋市の図 其二	1887～1895(明治20～28)年頃(撮影明治20年？)	鶏卵紙	100×144	172×231	○		
2	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋市交水社	同上	鶏卵紙	100×154	172×232	○		
3	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋東照宮	同上	鶏卵紙	100×144	172×231	○		
4	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋市八幡神社	同上	鶏卵紙	100×152	171×231	○		
5	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋龍海院	同上	鶏卵紙	100×150	172×232	○		
6	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋利根橋	同上	鶏卵紙	99×150	172×231	○		
7	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋利根川鉄橋	同上	鶏卵紙	99×146	172×232	○		
8	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 南勢多郡産泰神社	同上	鶏卵紙	99×151	172×232	○		
9	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 南勢多郡龍蔵寺	同上	鶏卵紙	100×150	172×232	○		
10	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 西群馬郡総社町古塚の景	同上	鶏卵紙	100×150	171×232	○		
11	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 片岡郡石原村小祝神社	同上	鶏卵紙	100×152	151×233	○		
12	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋市の図 其三	同上	鶏卵紙	100×155	172×232	○		
13	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 片岡郡寺尾村山の上の碑	同上	鶏卵紙	100×154	170×232	○		
14	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 高崎町兵営	同上	鶏卵紙	99×152	152×232	○		
15	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 烏川を隔てて高崎町頼政神社を望む	同上	鶏卵紙	100×154	171×233	○		
16	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 碓氷峠第一隧道	同上	鶏卵紙	100×148	172×232	○		
17	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 碓氷橋並に第六隧道の図	同上	鶏卵紙	100×156	173×233	○	○	○
18	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 新田郡太田町大光院	同上	鶏卵紙	100×146	173×232	○	○	○
19	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 新田郡生品村反町薬師堂	同上	鶏卵紙	100×144	172×233	○		
20	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 新田郡世良田村八坂神社	同上	鶏卵紙	100×147	172×233	○		
21	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 新田郡世良田村東照宮	同上	鶏卵紙	100×146	173×232	○		
22	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 新田郡世良田村総持寺	同上	鶏卵紙	100×151	173×232		○	○
23	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 前橋市の図 其四	同上	鶏卵紙	100×150	172×232		○	
24	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡古海村児嶋神社	同上	鶏卵紙	100×150	172×232		○	
25	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 多胡郡吉井町多胡碑	同上	鶏卵紙	100×148	172×232		○	
26	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 北甘楽郡一の宮貫前神社	同上	鶏卵紙	100×146	172×232		○	○
27	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 那波郡下の宮村倭文神社	同上	鶏卵紙	100×146	173×233		○	
28	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 西群馬郡白井村綾戸隧道遠景	同上	鶏卵紙	100×148	173×232		○	
29	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 南勢多郡敷島村 石材伐出の景	同上	鶏卵紙	100×146	173×232		○	
30	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 南勢多郡三夜沢赤城神社	同上	鶏卵紙	100×145	172×232		○	○
31	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 西群馬郡水沢村観音堂前の景	同上	鶏卵紙	100×145	172×232		○	
32	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 天神峠より榛名富士を望む	同上	鶏卵紙	100×148	173×232		○	○
33	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 榛名山葛籠岩の景	同上	鶏卵紙	100×147	170×233		○	
34	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 群馬県庁	同上	鶏卵紙	100×147	172×232	○	○	○
35	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 西群馬郡白井村より利根川上流を望	同上	鶏卵紙	100×150	172×233		○	
36	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 片岡郡石原村清水観音の景	同上	鶏卵紙	100×156	171×233		○	
37	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 片岡郡野山石炭採掘場	同上	鶏卵紙	100×154	171×233		○	
38	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 利根郡岩本村年魚漁場	同上	鶏卵紙	100×151	173×232		○	
39	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 那波郡上の宮村火雷神社	同上	鶏卵紙	98×147	172×232		○	
40	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡堀工村茂林寺	同上	鶏卵紙	100×147	172×232	○	○	○
41	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡羽附村躑躅ヶ岡遠景	同上	鶏卵紙	100×146	173×232	○	○	○
42	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡羽附村躑躅ヶ岡所見	同上	鶏卵紙	145×100	233×174	○	○	○
43	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡 開山の墓	同上	鶏卵紙	102×152	174×233		○	○
44	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 邑楽郡板倉村雷電神社	同上	鶏卵紙	100×152	172×232	○	○	○
45	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 群馬県尋常師範学校	同上	鶏卵紙	100×149	172×232		○	○
46	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 山田郡川内村高津戸の橋	同上	鶏卵紙	100×145	172×232			○
47	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真 多胡の碑真景附図	同上	鶏卵紙	150×101	233×172			○

	作者名	作品名		制作年		イメージサイズ	台紙サイズ	会期		
								Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
48	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	新田郡金山新田神社	同上	鶏卵紙	100×151	173×232			○
49	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	新田郡生品村生品神社	同上	鶏卵紙	100×147	173×233			○
50	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	中ノ獄第一石門	同上	鶏卵紙	100×145	172×232	○		○
51	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	吾妻郡河原湯烟雨の景	同上	鶏卵紙	99×148	173×232			○
52	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	磯部礦泉地其二	同上	鶏卵紙	101×151	173×233			○
53	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	山田郡渡良瀬川鉄橋	同上	鶏卵紙	99×147	172×232			○
54	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	山田郡桐生町三輪大明神	同上	鶏卵紙	99×154	172×233			○
55	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	群馬県尋常中学校	同上	鶏卵紙	100×154	172×232			○
56	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	前橋地方裁判所	同上	鶏卵紙	99×146	172×232			○
57	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	前橋監獄所	同上	鶏卵紙	100×151	172×232			○
58	早川瀧太郎	漫遊記念上野名勝写真	前橋隣江閣	同上	鶏卵紙	100×144	172×232			○
59	早川瀧太郎	軍楽隊の演奏	明治26年10月21日	1893(明治26)年	鶏卵紙	120×151	226×270	○	○	○

※Ⅰ:6月30日(土)～8月5日(日)　Ⅱ:8月8日(水)～9月2日(日)　Ⅲ:9月4日(火)～9月9日(日)

館林市立図書館所蔵作品2点

No.	作者名	作品名	制作年		イメージサイズ	台紙サイズ
1	制作者不詳	群馬縣下 館林躑躅ヶ岡公園(青柳庵)	制作年不詳	鶏卵紙	51×91	65×106
2	中嶋(浅草公園池ノ前)	永沼政吉像	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	99×58	104×62

後藤和枝氏所蔵作品18点

No.	作者名	作品名	制作年		イメージサイズ	台紙サイズ
1	制作者不詳	岡谷荘三郎像	制作年不詳	アンブロタイプ	98×72	
2	制作者不詳	後藤守枝(杜月)像	制作年不詳	アンブロタイプ	86×65	
3	制作者不詳	後藤正志と友人像	制作年不詳	アンブロタイプ	104×73	
4	制作者不詳(浅草公園地内)	後藤正志像	制作年不詳	アンブロタイプ	104×74	
5	白崎民二(白崎民治？)	慈愛之鏡	制作年不詳	鶏卵紙	97×59	107×65
6	鈴木真一	南條易子像	明治33(1900)年	鶏卵紙	88×57	104×62
7	鈴木真一	南條新六郎と親類肖像	制作年不詳	鶏卵紙	128×188	136×213
8	竹林盛一	南條定、千代、金雄、千磨、かつ像	明治27(1894)年	鶏卵紙	147×101	166×106
9	竹林盛一	南條家肖像	制作年不詳	鶏卵紙	95×52	108×67
10	竹林盛一	南條やす像	制作年不詳	鶏卵紙	96×62	107×68
11	成田常吉(江木定男写真館)	南條千磨と長女三枝像	明治33-40(1900-1907)年	鶏卵紙	90×58	104×62
12	福澤俊雄	尾曳神社絵馬	制作年不詳	鶏卵紙	164×212	280×357
13	大川孝	南條千磨と友人像	明治30(1897)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	94×62	120×79
14	吉田孝造	南條千磨、時田よい、大沢像	明治30(1897)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	93×62	114×74
15	宮本真	後藤子之吉像	明治40(1907)年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	87×59	120×82
16	ロンドン・ステレオコピック・カンパニー	南條金雄像	明治33(1900)年	プラチナ・プリント	156×104	226×170

No.	作者名	作品名	制作年		イメージサイズ	台紙サイズ
17		南條金雄像	明治33(1900)年ヵ	プラチナ・プリント	152×101	228×170
18	小川一真	南條千磨と虎ノ門女学館同級生像	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	138×93	162×108

◎印刷物・会場作成物

・研究報告　A4(29.7×20.9 ㎝)86 頁
内容:
図版
「夜明けまえ」のために(東京都写真美術館館長　福原義春)
日本の近代化と写真　-知られざる日本写真開拓史展によせて-
(日本大学芸術学部教授　髙橋則英)
いま日本の古写真をみることについて(東京都写真美術館　三井圭司)
「希有な才能と手腕と熱意をそなえた日本人写真家」内田九一と外国人常連客(日本大学芸術学部　日本学術振興会　外国人特別研究員　芸術学博士　ルーク・ガートラン)
“A native photographer of rare ability ,skill and enthusiasm”:
Uchida Kuichi and his Foreign Clientele(Dr.Luke Gartlan JSPS Postdoctoral Research Fellow,Nihon University College of Art)
群馬県と「夜明けまえ」の写真について-ある内陸の一地域と幕末明治の写真-(群馬県立館林美術館　中田宏明
展覧会「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史Ⅰ　関東編」に伴う資料所在アンケート調査結果報告(東京都写真美術館　河村三枝子)
出品作品リスト
展覧会ノート(東京都写真美術館　三井圭司)
日本写真界の物故功労者顕彰録
・ポスター　B2
・チラシ　A4
・ジュニアガイド　A3、四つ折り
・パネル
解説パネル2枚
写真パネル8枚
作品解説パネル1枚
年表パネル1枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文掲示は末尾に＊)

[新聞等]
・朝日新聞
3.30　「「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史」展」＜美術＞(田中三蔵)＊
7.18、8.22、8.29
「群馬県立館林美術館　「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜Museum Guide＞
7.25(夕刊)、8.1(夕刊)、8.15(夕刊)
「群馬県立館林美術館　「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史 I.関東編」
7.20　「「夜明け前」の日本写真史探る 館林美術館　講演や創作体験コーナーも」＊
7.25　「群馬県立館林美術館 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜群馬マリオン　沿線美術館情報＞
8.22　「企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.. 関東編ー重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真」＜群馬マリオン ミュージアム＞
12.12「近代「見直し」の動き 国内外で「生」を探る試み 暗黙の要請か」＜2007 回顧 美術＞
・朝日ぐんま
7.13　「募集「のぞきピンホールをつくろう」ボランティア」＜イベントBOX＞
8.17　「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編～重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真～」 写真草創期の息吹、鮮やかに」＜美術探訪＞＊
・おおたタイムス
6.23　「幕末・明治の写真を多数展示 館林美術館で企画展開催 知られざる日本写真史をひもとく」
・下野新聞
6.28、7.5、7.12、7.19、7.26
「群馬県立館林美術館　夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編(前期)」 ＜遊もあプラザ＞
7.7　「日本で撮影した最古の写真展示 館林美術館で企画展」＜隣県コーナー＞
8.2、8.9、8.16、8.23、8.30、9.6
「群馬県立館林美術館 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編(後期)」＜遊もあプラザ＞
・上毛新聞
6.22、7.13、8.10、9.7
「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」展」＜気になる情報パレット＞
6.29　「企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」」＜週末の主な観光イベント＞
6.30　「「写真術」の歴史紹介 きょうから館林美術館 重文「徳川慶喜」など 300 点」＊
6.30、7.26、8.18
「館林美術館企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 Ⅰ 関東編」重要文化財がやってくる！日本で最初に撮られた写真」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
7.16　「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編 100 年前のつつじが岡公園 最古の写真資料か 貴重な 389 点一堂に」(小沢宜信)＊
7.16　「群馬ゆかりの古写真「夜明けまえ」展から 1 名刺判 元の所蔵者 幕末に渡米」(中田宏明・県立館林美術館学芸員)＊
7.19　「館林美術館 「古典技法・鶏卵紙ワークショップ」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
7.23　「群馬ゆかりの古写真「夜明けまえ」展から 2 名勝写真 明治の県内つぶさに」(中田宏明・県立館林美術館学芸員)＊
7.24　「館林美術館 「創作体験コーナーみんなのアトリエ『世界がさかさま！のぞきピンホールをつくろう』」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

8.6 「群馬ゆかりの古写真「夜明けまえ」展から 3 営業写真師 渡米し技術学んだ岡本」(中田宏明・県立館林美術館学芸員)＊

8.7 「18 世紀の写真に挑戦 館林美術館 鶏卵紙でプリント」＊

8.8 「館林美術館「子どもギャラリートーク」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

8.12 「企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真！」作品解説会」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

8.20 「群馬ゆかりの古写真「夜明けまえ」展から 4 軍隊の写真 戦争考える機会に」(中田宏明・県立館林美術館学芸員)＊

8.27 「群馬ゆかりの古写真「夜明けまえ」展から 5 横浜写真 外国人向けアルバム」(中田宏明・県立館林美術館学芸員)＊

9.3 「「逆さに見える」筒作り 県立美術館で親子 13 人」＊

9.7 「明治の写真現像体験 館林美術館 児童が鶏卵紙使い露光」＊

・上毛新聞シャトル(館林ニュース)

6.24、7.8、7.22、8.12、8.26、9.9
「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜museum＞

6.24 「創作体験 後押しを 館林美術館補助ボランティア募集」

6.25、6.29、7.2、7.6、7.9、7.13、7.16、7.23、7.27、8.3、8.17、8.20、8.24、8.27、8.31、9.3、9.7
「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」
＜出かけてみませんか情報 BOX＞

7.1 「館林美術館で企画展 日本写真を体系化 群馬ゆかりの作品も 80 点」＊

8.1 「逆さに見える筒完成！県立館林美術館 創作体験に子供ら参加」＊

8.26 「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 1 関東編」幕末、明治にスポット 館林美術館 企画展に合わせ講演会」＊

・上毛スポーツ

7.6 「館林美術館で日本最古の写真」＜テレナイン 15 周年記念 おたのしみ読者プレゼント＞

・東京新聞

6.28、7.5、7.19、8.9、8.16、8.23
「群馬県立館林美術館「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜美術・博物館ガイド＞

8.20 「幕末～明治 写真展で講演会 武士らの姿に思いはせ 県立館林美術館 国内最古の作品も」＊

・日本経済新聞

6.27 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」＜文化イベント＞

・毎日新聞

6.29 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜ぐんま ワイド ふれあい催事記＞

7.11 「貴重な最古の 1 枚」＊＜見る 聴く 遊ぶ 群馬 知られざる日本写真開拓史＞

7.11、8.1、8.22
「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜見る 聴く 遊ぶ群馬 Gallery 見る 群馬のミュージアム＞

・まいにち

6 月号「夜明け前 しられざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」＜EVENT INFORMATION＞

8 月号「群馬県立館林美術館(館林市)「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」」＜EVENT INFORMATION＞

・讀賣新聞

3.5(夕刊)
「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編 幕末～明治を「発掘」」＊

4.29 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜2007 年度主な美連協主催展＞

6.22 「夜明けまえ～知られざる日本写真開拓史」

6.26 「知られざる日本写真開拓史 1 ダゲレオタイプ、「現像」の発見」(県立館林美術館学芸員・中田宏明)＊

6.27 「知られざる日本写真開拓史 2 ペリーの黒船がもたらした」(県立館林美術館学芸員・中田宏明)＊

6.28 「知られざる日本写真開拓史 3 ガラスに定着 数秒間の笑顔」(県立館林美術館学芸員・中田宏明)＊

6.29 「知られざる日本写真開拓史 4 ネガ原版を鉛筆・インクで修正」(県立館林美術館学芸員・中田宏明)＊

6.30 「知られざる日本写真開拓史 5 紙に焼き付け 周囲に挿絵」(県立館林美術館学芸員・中田宏明)＊

7.1 「「写真開拓史」展開幕 幕末から明治の写真 300 点」＊

[定期刊行物]

・足利漫我人

6、8、9 月号
「県立館林美術館情報 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」」＜マガジン・ネットワーク＞

・ギャラリー

7、8 月号
「群馬県立館林美術館 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.. 関東編」」＜全国の展覧会スケジュール＞

・桐生タイムス

9.3 「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 「関東編」」＜あすの催し＞

9.3 「120 年前の姿よみがえる 館林美術館企画展 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」追加展示へ 渡良瀬川に架かる橋や美和神社」＊

・ぐんま広報

8 月号 「夏はミュージアムへ GO！ 県立館林美術館 夜明けまえ」

・ぐんま情報誌 からっ風

7・8、9・10 月号

「企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I 関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」」＜Art Museum 2007 美術館情報＞

・広報たてばやし

6 月号 「企画展示「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.」」＜情報アラカルト＞

・上州風

Vol.27「日本で最初の洋式器械製糸 それは“マエバシ”から始まった養蚕・製糸業の父 速水堅曹」＊

・千葉日報

7.11 「群馬県立館林美術館は「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史」」＜関東美術展案内 7 月＞

・博物館研究

Vol.42 No.6、Vol.42 No.7、Vol.42 No.8、Vol.42 No.9

「「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」」＜EVENT CALENDAR＞

・美術手帖

9 月号「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜そのほか注目の展覧会から＞

・美術の窓

2 月号「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜展覧会スケジュール一覧＞

3、5 月号

「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜巡回展情報＞

7 月号「群馬県立館林美術館 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜展覧会情報(美術館)＞

・美連協ニュース

2 月号「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜委員会報告詳報＞

5、8 月号

「群馬県立館林美術館 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜加盟館展覧会案内＞

8 月号「群馬県立館林美術館 夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編」＜開催中の展覧会＞

・マンスリーとーぶ

8 月号「日本で撮られた最初の写真も展示 ～館林美術館」＜information EYE＞

・わくわく たてなん通信

9 月号「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」＜近隣の美術館特集＞

・渡良瀬通信

7 月号、8 月号

「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」＜渡良瀬インフォメーション＞

・Deli-J

8 月号「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I.関東編 群馬県立館林美術館」＜Event Guide＞

◎放送

［ラジオ］

・エフエム太郎

8/3、8/7、9/4

8:20－8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

◎関連行事

・記念講演会

7.29 「幕末・明治写真史入門」

講師：高橋則英（日本大学芸術学部教授）

8.19 「「夜明けまえ」の写真－イメージなのか物なのか－」

講師：三井圭司（東京都写真美術館専門調査員）

・ワークショップ

8.4、5 「古典技法・鶏卵紙ワークショップ」

講師：三井圭司（東京都写真美術館専門調査員）

対象：高校生から一般

3. 都市のフランス　自然のイギリス－18･19 世紀絵画と挿絵本の世界－

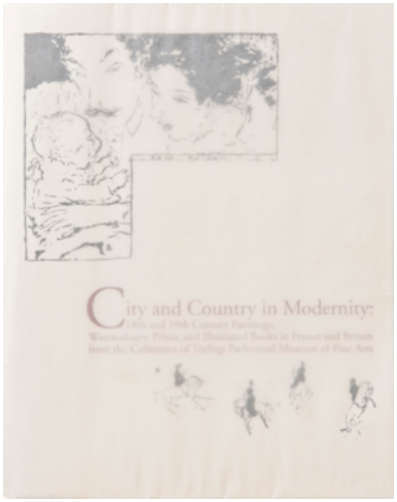
会期　平成 19 年 9 月 23 日(日)～12 月 2 日(日)
　　前期:9 月 23 日(日)～10 月 28 日(日)
　　後期:10 月 30 日(火)～12 月 2 日(日)
会場　展示室 2、3、4
主催　群馬県立館林美術館、読売新聞東京本社、
　　美術館連絡協議会
企画･協力
　　栃木県立美術館
協賛　ライオン、清水建設、大日本印刷、
　　東京電力
観覧料　一般 800(640)円　大高生 400(320)円
　　(　)内は、20 名以上の団体割引料金

この展覧会では、栃木県立美術館所蔵作品より18･19世紀の仏英の絵画、版画、挿絵本の約340点を「都市のフランス　自然のイギリス」の視点から紹介した。

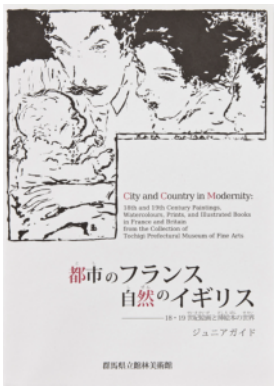
この時代、イギリスでは産業革命後、都市化が進むとともに新たな自然を見直す眼が開かれ、風景画家のターナー、コンスタブルが活躍した。フランスでは革命後、ブルジョワが台頭して風景画や風俗画を求め、やがて印象派の誕生をみる。また、19 世紀、印刷物の量が飛躍的に増え、フランスではドーミエなどの諷刺画に大都市パリの生活が活写され、また、ロマン主義の挿絵本も隆盛を誇った。一方イギリスでは、鉄道網の発展や工業化がもたらした新しい生活を描く挿絵や、華麗な絵本が数多く生み出された。

本展をもって、仏英の近代市民社会の発展を比較し、現代に通じる近代的感性を見出す楽しみを味わえるようにした。

ポスター



図録



ジュニアガイド

フランスの絵画

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		材質、技法	展示
Ⅰ	ジョルジュ・ミシェル（1763-1843）	風景	19世紀前半	56.5	×71	カンヴァス、油彩	
Ⅱ	ポール・ユエ（1803-1869）	谷	19世紀前半	30.5	×49.5	カンヴァス、油彩	
Ⅲ	ジャン=バティスト=カミーユ・コロー（1796-1875）	ヴィル=ダヴレーの池（洗濯女たちと水飼場に来る馬）	1847年	85	×100	カンヴァス、油彩	
Ⅳ	コンスタン・トロワイヨン（1810-1865）	水を渡る牛（帰途）	1855-60年頃	76.5	×98	カンヴァス、油彩	
Ⅴ	クロード・モネ（1840-1926）	サン=タドレスの海岸	1864年	30.6	×69.5	カンヴァス、油彩	
Ⅵ	ポール=カミーユ・ギグー（1834-1871）	牛の渡し場	1869年	172.5	×230.5	カンヴァス、油彩	
Ⅶ	ギュスターヴ・ドレ（1832-1883）	秋の精	1874年	250	×146.5	カンヴァス、油彩	
Ⅷ	アレクサンドル・カバネル（1823-1889）	狩の女神ディアナ	1882年	106.5	×75.5	カンヴァス、油彩	

フランスの版画・挿絵本

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
1	ジャック・カロ（1592-1635）	貴族	1620-23年頃刊	14.6	×9.5	エッチング	－
1-1		帽子を腕に抱えて挨拶する貴族（pl.2）					●
1-2		大きな羽根飾りの帽子をかぶった騎兵（pl.3）					●
1-3		大きなヴェールをかぶり毛皮で縁取られたドレスを着た婦人（pl.5）					●
1-4		大きな飾り襟と後ろに垂れた被り物の婦人（pl.8）					○
1-5		手を合わせる貴族（pl.11）					○
1-6		仮面をかぶった婦人（pl.12）					○
2	ジャック・カロ	戦争の惨禍（小）	1632年頃制作、1636年刊、パリ	5.2	×11.3	エッチング	－
2-1		扉　アブラアム・ボッス(1602-1676)画・刻					●
2-2		野営（pl.1）					
2-3		路上の襲撃（pl.2）					
2-4		僧院の劫掠（pl.3）					
2-5		村の略奪と火事（pl.4）					
2-6		農民の復讐（pl.5）					
2-7		病院（pl.6）					
3	ジャン=アントワーヌ・ヴァトー（1684-1721）	滝(カスケード)	1729年刊、パリ	41	×31.9	エッチング	●
4	ジャン=アントワーヌ・ヴァトー	嫉妬深い者たち	1729年頃刊、パリ	34.1	×44	エッチング	○
5	ジャン=アントワーヌ・ヴァトー	田園の遊楽	1729年刊、パリ	30.7	×43.2	エッチング	○
6	ヘンリー=ウィリアム・バンベリー（？）（1750-1811）	アンクロワイヤーブル同士の出会い	1797年刊、パリ	26.5	×32.2	スティップル法、多色刷	●
7	フィリベール=ルイ・ドゥビュクール（1755-1832）	小さな紳士たち、あるいは当世風の青年	1804年刊、パリ	24.5	×40.7	アクアティント、多色刷	○
8	J. -F. ボジオ（1764-1827）、デュタイイ（不詳）、C. ヴェルネ（1758-1836）、L. M. ランテ（1789-不詳）他	ラ・メザンジェール編『ボン・ジャンル』	第3版1827年刊（初版1817年刊）、パリ	40.7	×30	エッチング、手彩色	－
8-1		裳裾の迷惑（pl.2）					●
8-2		アイスクリーム（pl.4）					●
8-3		化粧（pl.5）					●
8-4		目隠し鬼ごっこ（pl.15）					●
8-5		トレニスの隊列、コントルダンス（pl.19）					●
8-6		フォリオーゾ、もしくは4本の綱の上でのコントルダンス（pl.25）					○
8-7		螺旋状の袖 / 過剰なレース飾り / 鍵を付けたハンカチ（pl.54）					○
8-8		ショセ・ダンタンの中国女（pl.60）					○
8-9		イギリス人の服装（pl.68）					○
8-10		ルールの城門のモンターニュ・リュス（ロシアの山、ジェットコースターの元祖）（pl.97）					○
9	アンリ・モニエ（1799-1877）	『パリの6つの地区』	1828年刊、パリ	14.2	×19.3	リトグラフ、手彩色	－

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
9-1	アンリ・モニエ (1799-1877)	扉図					●
9-2		マレー地区					●
9-3		ショセ・ダンタン					●
9-4		フォーブール・サン=トノレ					●
9-5		サン=ドニ地区					○
9-6		フォーブール・サン=ジェルマン					○
9-7		ブルス地区					○
10	T. ジョアノ(1803-1852)、C. フィリポン(1806-1862)、J. J. グランヴィル(1803-1847)、H. ドーミエ(1808-1879)他	諷刺雑誌『シルエット』	1830年刊(1829年6月23日-1831年1月2日配本の52分冊)、パリ	29	×21.9	リトグラフ、手彩色	本のみ
11	ウージェーヌ・ドラクロワ (1798-1863)	シェイクスピア『ハムレット』	1834-35/43年制作、第2版1864年刊(初版1843年刊)、パリ	52.8	×34.5	リトグラフ	ー
11-1		王妃はハムレットを慰めようと心を砕く (1幕2場)					●
11-2		ハムレットは父の亡霊を追おうとする (1幕4場)					●
11-3		テラスの亡霊 (1幕5場)					●
11-4		ポローニアスとハムレット (2幕2場)					●
11-5		ハムレットとオフィーリア (3幕1場)					●
11-6		ハムレットは役者たちに父の毒殺場面を演じさせる (3幕2場)					●
11-7		ハムレットとギルデンスターン (3幕2場)					●
11-8		ハムレットは王を殺そうとする (3幕3場)					●
11-9		ハムレットと王妃 (3幕4場)					○
11-10		ポローニアスの殺害 (3幕4場)					○
11-11		ハムレットとポローニアスの亡骸 (3幕4場)					○
11-12		オフィーリアの歌 (4幕5場)					○
11-13		オフィーリアの死 (4幕7場)					○
11-14		墓堀り人夫たちの前のハムレットとホレイショウ (5幕1場)					○
11-15		オフィーリアの墓穴の中のハムレットとレイアティーズ (5幕1場)					○
11-16		ハムレットの死 (5幕2場)					○
12	ガヴァルニ (1804-1866)	「さっさと通ろう」	『アルティスト』誌、1835年刊、パリ	15.4	×10.7	リトグラフ	●
13	ガヴァルニ	小説	『アルティスト』誌、1835年刊、パリ	18.1	×12.9	リトグラフ	○
14	ガヴァルニ	ある社交界の花形女性をめぐるピクチャレスクな旅:彼女は舞踏会	『アルティスト』誌、1839年刊、パリ	18.9	×14.8	リトグラフ	○
15	ガヴァルニ	《カーニヴァル》(27点組)1 「騎士ひとり、御婦人ひとり」「15スーです」	『シャリヴァリ』紙、1838年11月1日刊、パリ	19.9	×15.8	リトグラフ	●
16	ガヴァルニ	《舞台裏》(31点組)21	『シャリヴァリ』紙、1838年7月3日刊、パリ	19.8	×15.8	リトグラフ	○
17	ガヴァルニ	《犠牲者たち》(8点組)1　両側の火	『シャリヴァリ』紙、1841年4月15日刊、パリ	23	×18	リトグラフ	●
18	ガヴァルニ	ガヴァルニ『自選作品集』4巻	1846-48年刊、パリ	27	×18.1	木口木版	本のみ
19	ガヴァルニ	A. スミス編『ロンドンのガヴァルニ』	1849年刊、ロンドン	27.5	×19	木口木版	本のみ
20	ガヴァルニ	J. メリー『衣装』『宝石』2巻	1850年刊、パリ	27.1	×18.2	鋼版、手彩色、レース紙　扉図:木口木版	本のみ
21	J .J. グランヴィル (1803-1847)	J. ジャナン他『当世風変身譚』	新版1869年刊(初版1829年刊)、パリ	27.7	×19.6	木口木版、手彩色	本
21-1		扉図					●
21-2		自然の摂理に基づく結婚 (pl.4)					●
21-3		新たなる音楽言語、もしくは音楽愛好クラブにて、交響曲を演奏するアマチュアの集まり (pl.6)					●
21-4		会食 (pl.7)					●
21-5		人間嫌い―誰かのためにいるわけじゃない (pl.14)					●
21-6		高慢と追従 (pl.15)					○

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
21-7	J .J. グランヴィル (1803-1847)	全部つまり f. (pl.22)					○
21-8		法に基づく結婚 (pl.33)					○
21-9		スカラベの家族 (pl.34)					○
21-10		ねえ、うさぎさん、私はやさしいのよ…だからね… (pl.56)					○
22	J. J. グランヴィル	T. ドゥロール『もうひとつの世界』	1844年刊、パリ	26.8	×19.9	木口木版、36図に彩色	本のみ
23	J. J. グランヴィル	T. ドゥロール『生命ある花々』2巻	新版1867年刊(初版1847年刊)、パリ	27	×18.5	鋼版、手彩色、扉図:木口木版	本
23-1		扉図					●
23-2		矢車草と雛罌粟 (pl.1)					●
23-3		百合 (pl.2)					●
23-4		薔薇 (pl.6)					●
23-5		水仙 (pl.7)					●
23-6		白粉花 (pl.16)					○
23-7		向日葵 (pl.19)					○
23-8		罌粟 (pl.23)					○
23-9		薊 (pl.24)					○
23-10		花たちの舞踏会 (pl.47)					○
	特別出品	スイカズラ (pl.15)					○
	特別出品	タチアオイ (pl.27)					●
	特別出品	ダリア (pl.31)					○
	特別出品	ニオイアラセイトウ (pl.43)					●
24	J.J.グランヴィル	J. メリー『星々』(2部を合冊)	1849年刊、パリ	27.5	×19.4	鋼板、手彩色	本のみ
25	トニー・ジョアノ	A. ド・ミュッセ、P.-J.スタール『何処なりとお気に召す旅』	1843年刊、パリ	27.6	×19.5	木口木版	本のみ
26	トニー・ジョアノ	ゲーテ『ファウスト』	1847年刊、パリ	27.3	×17.9	鋼版	本のみ
27	ガヴァルニ、H. ポーケ (1797-不詳)、H. モニエ、H. ドーミエ、J. J. グランヴィル、P. サン=ジェルマン(生没年不詳)他	『フランス人の自画像』8巻 ＋プリスム (予約購読者献呈本)	1840-42年刊、パリ	25.3	×17.5	木口木版、手彩色	本のみ
28	J. -L. トリモレ (1812-1843)、L. -C. -A, ステネル(1814-1885)、C. -F. ドービニー (1817-1878)他	『フランス民謡・俗謡集』3巻	1843年刊 (1842年2月-1843年10月配本の84分冊)、パリ	27.5	×18	鋼版	本のみ
29	T. ジョアノ、F. -L. フランセ (1814-1897)、C. ナントゥイユ (1813-1873)他	アリオスト『狂乱のオルランド』	1844年刊、パリ	25.9	×17	木口木版	本のみ
30	A.ド・ルミュ(1817-1887)、T.ジョアノ、C.-F.ドービニー、L.ブーランジェ(1806-1867)、J.-L.-E.メッソニエ(1815-1891)、L.H.ド・リュデル(1807-1876/81)他	V. ユゴー『ノートル=ダム・ド・パリ』	1844年刊、パリ	26.5	×18.3	木口木版、鋼版	本のみ
31	オノレ・ドーミエ	チュイルリー宮殿のパリっ子「うわあ！ すっごいふかふかだよ」	『シャリヴァリ』紙、1848年3月4日刊、パリ	25.3	×22.5	リトグラフ	●
32	オノレ・ドーミエ	前閣僚たちの最後の会議	『シャリヴァリ』紙、1848年3月9日刊、パリ	21.3	×26.8	リトグラフ	○
33	オノレ・ドーミエ	《流言蜚語》(7点組)2	『シャリヴァリ』紙、1848年4月10日刊、パリ	24.6	×21.2	リトグラフ	○
34	オノレ・ドーミエ	《流言蜚語》(7点組)4	『シャリヴァリ』紙、1848年5月4日刊、パリ	24.6	×19.7	リトグラフ	○
35	オノレ・ドーミエ	《離婚権を求める女たち》(6点組)2	『シャリヴァリ』紙、1848年8月12日刊、パリ	25.2	×20.8	リトグラフ	●
36	オノレ・ドーミエ	《代議士図鑑》(53点組)22 ヴィクトル・コンシデラン	『シャリヴァリ』紙、1848年2月22日刊、パリ	24.5	×19.4	リトグラフ	●
37	オノレ・ドーミエ	《代議士図鑑》(53点組)26 リュノー	『シャリヴァリ』紙、1849年3月12日刊、パリ	23.9	×19.5	リトグラフ	○

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
38	シャム (1818-1879)	《社会研究》1 私有財産	『シャリヴァリ』紙、1849年刊、パリ	20.6	×16.7	リトグラフ	○
39	シャム	ペチコートは役に立つ	『シャリヴァリ』紙、1849年刊、パリ	17.4	×24.5	リトグラフ	○
40	シャム	《時事問題》156 帽子を自ら選ぶフランス共和国	『シャリヴァリ』紙、1849年刊、パリ	22.2	×17.4	リトグラフ	●
41	シャム	《時事問題》194 哲学的社会的論争	『シャリヴァリ』紙、1849年刊、パリ	17.8	×22.9	リトグラフ	●
42	シャルル=エドゥアール・ド・ボーモン (1821-1888)	《ヴェズヴィエンヌたち》8 武装した女性を侮辱する危険	『シャリヴァリ』紙、1848年6月1日刊、パリ	20.1	×16.8	リトグラフ	●
43	シャルル=エドゥアール・ド・ボーモン	1848年6月回想録 モーベール広場の哨所の掠奪	『シャリヴァリ』紙、1849年刊、パリ	20.1	×27.9	リトグラフ	○
44	オノレ・ドーミエ	《万国博覧会》15 回転木戸 ークリノリンスカートに敵意をもつ者の発明した新しい機械	『シャリヴァリ』紙、1855年6月26日刊、パリ	19.7	×22.8	リトグラフ	●
45	オノレ・ドーミエ	《万国博覧会》16 クリノリンスカートに対する回転木戸の効きめ	『シャリヴァリ』紙、1855年6月29日刊、パリ	20.4	×24.3	リトグラフ	●
46	オノレ・ドーミエ	マドレーヌ―バスティーユ間 ちょっと、ほんの少しだけ・・・で乗合馬車は定員オーバー	『ブールヴァール』紙、1862年3月16日刊、パリ	24.3	×22	リトグラフ	○
47	ギュスターヴ・ドレ (1832-1883)	F. ラブレー『ガルガンチュアとパンタグリュエルの生涯』	1854年刊、パリ	29	×19.5	木口木版	本のみ
48	ギュスターヴ・ドレ	H. ド・バルザック『風流滑稽譚』	第10版 年記なし（初版1855年刊）、パリ	19.7	×12.8	木口木版	本のみ
49	ギュスターヴ・ドレ	P. デュポン『さまよえるユダヤ人』	1860年刊（初版1856年刊、パリ）、ロンドン(英語版)	56.3	×39.6	木口木版	―
49-1		汝は己の無慈悲ゆえに、最後の審判の日までさまよい続ける運命を負うのだ。(pl.1)					●
49-2		最後の時が人間を争いから解き放つが、彼の運命はたゆみない苦悩、永遠の不死の生命。(pl.6)					●
49-3		今や幻影が大気に溢れ、悲しみは鈍い絶望に打ち負かされる。(pl.7)					●
49-4		疾走する嵐を透かして、救いのない船が彼の眼前で沈んでいく。(pl.10)					○
49-5		蛇のからみつく木々の下を通り、忌まわしい死が熟した暗い谷を無事に抜ける。(pl.11)					○
49-6		最後の審判の日！彼はトランペットの音を聞くそして、ひれ伏し、ついにキリストの愛を受ける。(pl.12)					○
50	ギュスターヴ・ドレ	ダンテ・アリギエーリ『地獄篇』	1861年刊、パリ	43.8	×32.5	木口木版	本
50-1		暗い森の入り口のダンテ 「人生の道の半ばで私は暗い森の中にいた。」(第1歌 1-2行)					●
50-2		パオロとフランチェスカ 「先生、あの2人は一緒に進み、風にのっていとも軽やかに見えますが、できたらあの二人に話しかけてみたいのですが。」(第5歌 73-75行)					●
50-3		ステュクス沼―フィリッポ・アルジェンティ 「すると彼は舷にもろ手を差しのべたが、先生はすばやく男を突き落とし、『犬と一緒にとっとと向こうへ消えてうせろ！』と言われた。」 (第8歌 41-42行)					●

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
50-4	ギュスターヴ・ドレ	ファリナータ 「彼はしばらく私を見つめ、それから、まるで悔るように尋ねた、『おまえの祖先は誰々だ？』」（第10歌 40-42行）					●
50-5		恩師ブルネット・ラティーニと会話するダンテ 「ブルネット先生、ここにおいででしたか。」（第15歌 30行）					●
50-6		ゲリュオンの降下 「この断崖のさまはいよいよ恐ろしく感じられた。」（第17歌 121行）					○
50-7		ベルトラン・ド・ボルン 「その首が私たちを見て、『ああ』と嘆声を発した。」 （第28歌 123行）					○
50-8		巨人たち―ニムロデ 「おろかな魂よ、気がふれて怒り狂うなら、角笛を吹いて憂さを晴らすが良い。」（第31歌 70-71行）					○
50-9		アンタイオス―最深部への降下 「だがやすやすと私たちを谷底におろしてくれた、そこは悪魔大王とユダを飲み込んでいる場所だ。」（第31歌 142-143行）					○
50-10		地獄の最深部ジュデッカ―悪魔大王 「『…これが悪魔大王だ、この場所ではいいか、しっかりと肝っ玉をすえるのだぞ』」（第34歌 20-21行）					○
51	ギュスターヴ・ドレ	セルバンテス『ドン・キホーテ』2巻	1869年刊（初版1863年刊）、パリ	37.5	×28.5	木口木版	本
51-1		扉図 彼の頭は本のなかで読んだもろもろのことからなる幻想でいっぱいになってしまった。					●
51-2		朝まだきだったので、太陽も横からさしていて暑さに苦しめられることがなかっ					●
51-3		馬とその乗り手もそっくり翼にさらわれて…					●
51-4		美しい場所だったので、彼らはそこで何時間か昼寝することに決めた。					●
51-5		それでもドン・キホーテは、持ち前の恐れを知らぬ勇気をふるい起こしてロシナンテに飛び乗った。					●
51-6		その夜、ドン・キホーテ主従は、シエナ・モレーナ山脈の奥深くまで入り込					○
51-7		サンチョは手綱を返し、満足して立ち去った。					○
51-8		それから夜が明けて…					○
51-9		ひどく傷ついたドン・キホーテはすっかりふさぎこんでいた。					○
51-10		さあ、もっとこっちに身を寄せな、おいらの大好きな仲間、苦労や難儀をともにした友達よ。					○
52	ギュスターヴ・ドレ	『聖書』2巻	1866年刊、トゥール	43.8	×34	木口木版	本のみ
53	ギュスターヴ・ドレ	J. ミルトン『失楽園』	年記なし（初版1866年刊、ロンドン）、ロンドン、パリ、ニューヨーク、メルボルン(英語版)	34.3	×26.5	木口木版	―
53-1		全能の力をもち給う神は、大胆不敵にもあえて全能者に向かって武器をとって刃向かってきたこの者を、いと高く浄き空から真っ逆様に落とし給うたのであった。(第1巻44-45行)					●

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
53-2	ギュスターヴ・ドレ	悪魔サタンも必死になって、…時には頭を、両手を、翼を、また或る時には足を用いながら己の道を辿っていった。時として、泳いだ、沈んだ、渉った、這った、そして、飛んだ。(第2巻949-950行)					●
53-3		サタンもそこを去り、遥か下に見える地球の方向に向かい黄道から真っ逆様に飛び下り、成功を固く心に期しつつ、幾重にも大きく輪を描きながら下へ下へ急角度に降下していった。(第3巻739-74行)					●
53-4		「ほら、東の方のあの木立ちの間を、こちらに向かってやってくる、栄光に輝く姿がお前にも見えるはずだ。」(第五巻309-310行)					●
53-5		この時サタンは初めて苦痛を知り、身を捩って転々と転げまわった。(第6巻327-328行)					●
53-6		神がそこで言われた、「水をして、無数の卵を抱えた匍う生物を生ぜしめよ、しかして、鳥をして天の広い蒼穹にその翼を拡げしめ、地上高く飛ばしめよ！」(第7巻387-389行)					○
53-7		サタンは、この河に入り、河とともに地下にもぐり、立ちのぼる川霧につつまれて再び地上に現われ…(第9巻74-75行)					○
53-8		大広間のあちらこちらから発せられるしゅっしゅっという声は凄絶な響きをあげていた。あらゆる所で、頭と尾が絡み合った怪物の群れがのたうちまわっていた。(第10巻521-523行)					○
53-9		かくして洪水はこの船以外のすべての人間の住居を呑みつくした。華やかな住居も今では水底で転々と流れに押し流されていた。(第11巻747-749行)					○
53-10		彼らの眼からはおのずから涙があふれ落ちた。しかし、すぐにそれを拭った。(第12巻645行)					○
54	ギュスターヴ・ドレ	A. テニソン『エレイン』『ヴィヴィアン』『ギネヴィア』『イーニド』(『王の牧歌』より)	1867-68年刊、ロンドン(英語版)	42.1	×30	鋼板	本
54-1		兄弟たちの遺骨を発見するアーサー王(『エレイン』pl.1)					●
54-2		アーサー王の宮殿に向かうエレインの遺骸(『エレイン』pl.7)					●
54-3		ランスロットの後悔(『エレイン』pl.9)					●
54-4		騎士たちの宴(『ヴィヴィアン』pl.4)					●
54-5		海の闘い(『ヴィヴィアン』pl.7)					●
54-6		マーリンを木に閉じ込めるヴィヴィアン(『ヴィヴィアン』pl.9)					●
54-7		月下の夜行(『ギネヴィア』pl.2)					○
54-8		妖精の輪(『ギネヴィア』pl.6)					○
54-9		王の告別(『ギネヴィア』pl.9)					○
54-10		ゲレイント王子に荒れ果てた城を見せるイニアル(『イーニド』pl.1)					○
54-11		無法者と戦うゲレイント(『イーニド』					○
54-12		リムールス伯爵の仲間たちの逃走(『イーニド』pl.6)					○
55	ギュスターヴ・ドレ	ラ・フォンテーヌ『寓話』2巻	年記なし(初版1868年刊、パリ)、ベルリン(ドイツ語版)	37.7	×29.5	木口木版	本

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
55-1	ギュスターヴ・ドレ	都会ねずみと田舎ねずみ					●
55-2		ねずみの会議					●
55-3		うさぎと蛙					●
55-4		羊飼いになった狼					●
55-5		猿といるか					●
55-6		幸運の女神と子供					○
55-7		わしとかささぎ					○
55-8		熊と庭好きな男					○
55-9		英国のきつね					○
55-10		ねずみたちの同盟					○
56	ギュスターヴ・ドレ	B. ジェロルド『ロンドン巡礼』	1872年刊、ロンドン(英語版)	41.5	×32.5	木口木版	本
56-1		扉図					●
56-2		ドックの中					●
56-3		パットニー橋―帰還					●
56-4		レイディーズ・マイル					●
56-5		ウェストミンスター寺院―聖歌隊席					○
56-6		シティーでの倉庫への荷揚げ					●
56-7		ロンドンを見下ろす―鉄路より					○
56-8		ハウンズディッチ					○
56-9		ニューゲート監獄―運動場					○
56-10		ニュージーランド人					○
57	ギュスターヴ・ドレ	アリオスト『狂乱のオルランド』	1879年刊、パリ	49	×35.5	木口木版、ジロッタージュ	本のみ
58	アンリ・ファンタン=ラトゥール（1836-1904）	A. ジュリアン『エクトール・ベルリオーズの生涯と作品』	1888年刊、パリ	32	×22.6	リトグラフ	―
58-1		『レクイエム』第2曲「トゥーバ・ミルム					●
58-2		『レリオ』第5楽章「エオリアン・ハープ」					●
58-3		『ファウストの劫罰』マルガレーテの出現					●
58-4		湯浴みするサラ					●
58-5		『キリストの幼年時代』聖家族の休息					○
58-6		『トロイア陥落』第3幕　ヘクトールの亡霊					○
58-7		フィナーレ					○
59	アンリ・ファンタン=ラトゥール	ダンス	1898年	43.5	×32	リトグラフ	○
60	ピエール・ボナール（1867-1947）	C. テラス曲『ピアノのための家族の情景集』	1895年刊、パリ	35.5	×27.5	リトグラフ	本のみ
61	J. -L. フォラン（1852-1931）、H. ド・トゥールーズ=ロートレック（1864-1901）、T. -A. スタンラン（1859-1923）、F. ヴァロットン（1865-1925）、L. カピエッロ（1875-1942）他	諷刺雑誌『リール』	1895年-98年刊、パリ	32.1	×24.8	写真凸版	本のみ
62	アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）	『主の祈り』	1899年刊、パリ	40.8	×30.5	リトグラフ、多色刷	本
62-1		第1句					●
62-2		第2句					○
63	モーリス・ドニ（1870-1943）	A. ド・ヴィニー詩『エロアあるいは天使の妹』	1917年刊、パリ	30.8	×24.5	木口木版、多色刷	本のみ
64	モーリス・ドニ	F. トンプソン『詩集』	1942年刊（扉には1936年の年記）、パリ	38.8	×28.7	リトグラフ、多色刷	本
64-1		「幼年時代」 罌粟					●
64-2		「幼年時代」 オリヴィアへ					●
64-3		「ディアナの膝の上の愛」 女詩人に					●
64-4		「ディアナの膝の上の愛」 跡をたどって					○
64-5		「落日頌歌」 延長					○
64-6		「幻影と予感」 路上の佳人					○

イギリスの絵画

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		材質、技法	展示
IX	リチャード・ウィルソン (1714-1782)	アクア・アチェトーサ	1754年頃	99.1	×137.2	カンヴァス、油彩	
X	トマス・ゲインズバラ (1727-1788)	牛追いのいる風景	1781年	123	×163.5	カンヴァス、油彩	
XI	ジョン・コンスタブル (1776-1837)	デダムの谷	1805-17年頃	52.8	×44.8	カンヴァス、油彩	
XII	J.M.W.ターナー (1775-1851)	メリック修道院、スウェイル渓谷	1816-17年頃	28.2	×41.3	紙、水彩	○
XIII	デイヴィッド・コックス (1783-1859)	ウォッシング・デイ(洗濯日和)	1840年	24.1	×33	紙、水彩	○
XIV	J.M.W.ターナー	風景ータンバリンを持つ女	1840-50年頃	88.5	×118	カンヴァス、油彩	
XV	ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ (1828-1882)	レディ・リリス	1867年	52	×43	紙、水彩	●

イギリスの版画・挿絵本

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		技法	展示
65	ヴェンツェル・ホラー (1607-1677)	四季ー四分の三半身の女性像	1641年刊、ロンドン	25	×17.9	エッチング	ー
65-1		春					●
65-2		夏					●
65-3		秋					○
65-4		冬					○
66	ヴェンツェル・ホラー	蛾、蝶、昆虫	1646年刊、アントウェルペン	8.1	×11.8	エッチング	ー
66-1		バッタとチョウ					●
66-2		トンボとマルハナバチ					○
67	ウィリアム・ホガース (1697-1764)	娼婦一代記	1732 年刊、ロンドン	37.2	×29.8	エッチング、エングレーヴィング	ー
67-1		モルのロンドン到着					●
67-2		ユダヤ人旦那とのいさかい					●
67-3		治安判事につかまる					●
67-4		刑務所の情景					○
67-5		医師たちの言い争うなか息をひきとる					○
67-6		葬式					○
68	トマス・ビューイック (1753-1828)	四足獣概説	第6版1811年刊（初版1790年刊）	21.5	×13.7	木口木版	本のみ
69	トマス・ビューイック	英国鳥類誌（1、2巻合本）	1809年刊	21.5	×13.7	木口木版	本のみ
70	ヘンリー・フューズリ (1741-1825)画、ウィリアム・ブレイク (1757-1827) 刻	E. ダーウィン『植物園』2巻	1795年刊	28.1	×22.3	ライン・エングレーヴィング	本のみ
71	ウィリアム・ブレイク	E. ヤング『夜想』	1854年刊、ロンドン	41.6	×33	ライン・エングレーヴィング	本のみ
72	ウィリアム・ブレイク	R. ブレア『墓』	1808年刊(初版)、ロンドン	35.5	×29.1	エッチング	本
72-1		タイトル・ページ　蘇る屍					●
72-2		墓に降りるキリスト					●
72-3		天国での家族の再会					●
72-4		墓の中の王の顧問官、王、騎士、母と子					●
72-5		死にゆく屈強な悪人					●
72-6		肉体の上を漂う魂					●
72-7		死の谷へ下る人びと					○
72-8		最後の審判					○
72-9		墓の奥をさぐる魂					○
72-10		善き長老の死					○
72-11		死の扉					○
72-12		魂と肉体の再会					○

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		材質、技法	展示
73	トマス・ローランドソン (1756-1827)	W. クーム『シンタックス先生の旅行記、ピクチャレスクを求めて』	1812年刊(初版)、ロンドン	23	×14.9	エッチング、アクアティント、手彩色	本のみ
74	J. M. W. ターナー	研鑽の書 (リベル・ストゥディオルム)	1807-19年制作、1845年刷り (初版1807-19年刊)、ロンドン	18.7	×26.7	エッチング、メゾティント	―
74-1		扉図 (pl.1)					●
74-2		タンバリンを持つ女 (pl.3)					●
74-3		ホーリー島の大聖堂 (pl.11)					●
74-4		エジプト第五の災厄 (pl.16)					●
74-5		ヨークシャーの海岸 (pl.24)					●
74-6		グリニッジからロンドンを望む (pl.26)					○
74-7		スペンサー『妖精の女王』より (pl.36)					○
74-8		リッパ (pl.46)					○
74-9		ノーハム城 (pl.57)					○
74-10		アヴェロン河の源流 (pl.60)					○
75	J. M. W. ターナー	メリック修道院、スウェイル渓谷 (ウィテカー『リッチモンドシャーの歴史』より)	1822年刊、ロンドン、	19.2	×27.5	ライン・エングレーヴィング	○
76	J. M. W. ターナー、ジョン・バックラー (1770-1851)	ウィテカー『リッチモンドシャーの最もピクチャレスクな景観集』	1818-23年制作、第2版1843年刊 (初版題名/ウィテカー『リッチモンドシャーの歴史』)、ロンドン	34	×49.5	ライン・エングレーヴィング	―
76-1		リッチモンド城と街 (pl.2)					●
76-2		聖アガサ修道院、イーズビー (pl.6)					●
76-3		ハイ・フォース、またはテーズ河の滝 (pl.10)					●
76-4		アスクリーグ近くのシーマー湖 (pl.18)					○
76-5		ハードロー滝 (pl.20)					○
77	J. M. W. ターナー、P. デヴィント (1784-1849)、W. ウェストール (1765-1836) 他	『イングランド南岸のピクチャレスクな風景』	1814-26年制作、1826年刊、ロンドン	31.7	×24.6	ライン・エングレーヴィング	本
77-1		マーゲイト (pl.3)					●
77-2		桟橋のあるブライトテルムストーン (pl.25)					●
77-3		ライム (pl.49)					○
77-4		イルフラクーム (pl.75)					○
78	J. M. W. ターナー、T. ストザード (1755-1834)他	S. ロジャーズ『イタリア』	1830年刊、ロンドン	20.6	×13.8	鋼版	本のみ
79	ジョン・マーティン (1789-1854)	J. ミルトン『失楽園』	1846年刊(初版1825-27年刊)、ロンドン	38.1	×29.2	鋼版、メゾティント、エッチング、ドライポイント	本
79-1		叛逆天使の墜落 (第1巻44行)					●
79-2		叛逆天使を奮い立たせるサタン (第1巻314行)					●
79-3		万魔殿の出現 (第1巻710行)					●
79-4		天国に昇る人々を眺めるサタン (第3巻501行)					●
79-5		泉のほとりのイヴ (第4巻453行)					●
79-6		楽園―大天使ラファエルの来訪 (第5巻308行)					○
79-7		光明の創造 (第7巻339行)					○
79-8		イヴを誘惑するサタン (第9巻780行)					○
79-9		混沌の世界に架かる橋 (第10巻312、347行)					○
79-10		楽園を追放されるアダムとイヴ (第12巻641行)					○
80	ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』	1830-32年制作、1833年刊、ロンドン	27.3	×40	メゾティント	―
80-1		扉図 イースト・バーゴルト、サフォーク					●
80-2		春					●
80-3		真昼					●
80-4		夏の朝					●
80-5		夏の夕方					●

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		材質、技法	展示
80-6	ジョン・コンスタブル	ヒース					○
80-7		オールド・セイラム					○
80-8		製粉所の流れ					○
80-9	ジョン・コンスタブル	ウェイマス湾、ドーセットシャー					○
80-10		ノア河近くのハドレイ城					○
81	トマス・タルボット・ベリー(1811-1877)	『リヴァプール・アンド・マンチェスター鉄道の彩色風景』	1831年刊(初版2冊を合わせた13点セット)、ロンドン	34.5	×28.8	アクアティント、多色刷、手彩色	―
81-1		鉄道の入口、エッジ=ヒル、リヴァプール(pl.2)					●
81-2		オリーヴ山の開鑿、リヴァプールから4マイル(pl.3)					●
81-3		サンキー・ヴァレーにかかる高架橋(pl.4)					○
81-4		トンネルから見たムーア風のアーチ(pl.10)					○
82	ジョン・クック・ボーン(1814-1896)	J. ブリトン『ロンドン・アンド・バーミンガム鉄道スケッ	1839年刊、ロンドン	54.7	×37.3	リトグラフ、色刷り	―
82-1		入口の柱廊 ユーストン・グローヴ駅(pl.1)					●
82-2		ブリスワースの切通し(pl.20)					●
82-3		たて坑の作業、キルズビー・トンネル 1837年7月8日、巨大な換気坑(pl.27)					○
82-4		バーミンガム駅入口(pl.29)					○
83	ジョン・クック・ボーン	『グレイト・ウェスタン鉄道の歴史』	1846年刊、ロンドン	54.5	×39.5	リトグラフ、色刷り	―
83-1		扉図(pl.1)					●
83-2		メイドンヘッド橋(pl.6)					●
83-3		ボックス・トンネルの上からの眺望(pl.15)					○
83-4		ブリストル駅(pl.30)					○
84	J. E. ミレイ(1829-1896)、W. H. ハント(1827-1910)、D. G. ロセッティ他	A. テニソン『詩集』	1857年刊(初版)、ロンドン	21.6	×15	木口木版	本のみ
85	リチャード・ドイル(1824-1883)	『ブラウン、ジョーンズ、ロビンソン氏の外国旅行』	1854年刊(初版)、ロンドン	30.3	×25.6	木口木版	本のみ
86	リチャード・ドイル	W. アリンガム『妖精の国にて』	第2版1875年刊(初版 1870年刊)、ロンドン	38.6	×28.4	木口木版、多色刷	―
86-1		妖精の国の舞台稽古(pl.1)					●
86-2		エルフ王の示威行進(pl.4)					○
86-3		いじめっ子のエルフたち/蝶々とダンス/エルフ王の昼寝/勝ち抜き試合(pl.5)					●
86-4		三幕の寸劇(pl.8)					●
86-5		たそがれのドライヴ/セレナーデ/子どもたちの遊び(pl.11)					●
86-6		侵入者/飛び去る/ 木の精のたわむれ(pl.12)					●
86-7		妖精の女王の空のドライヴ(pl.13)					○
86-8		エルフたちの夜のダンス(pl.14)					○
86-9		フクシャの花で遊ぶ/小鳥いじめ/求愛妨害(pl.15)					○
86-10		月の下で眠る(pl.16)					○
87	エドワード・リア(1812-1888)	『ナンセンスの絵本』	年記なし(1878年頃刊)(初版1846年刊)、ロンドン、ニューヨーク	27.2	×23.2	木口木版、多色刷	本のみ
88	ケイト・グリーナウェイ(1846-1901)	『窓の下で』	1878年刊(初版)、ロンドン	24	×18.8	木口木版、多色刷	本のみ
89	ケイト・グリーナウェイ	マイルズ・B. フォスター作曲『子どもの一日』	1881年刊(初版)、ロンドン	25	×21	木口木版、多色刷	本のみ
90	ケイト・グリーナウェイ	R. ブラウニング『ハーメルンの笛吹き』	1888年刊(初版)、ロンドン	25.5	×22	木口木版、多色刷	本のみ
91	ウォルター・クレイン(1845-1915)	『小豚の絵本』 [ウォルター・クレインの絵本 第1巻] 「この小さい豚」「妖精の船」「ラッキー・ボーイ王」	1895年刊(1871年刊の3冊の合本) ロンドン、シカゴ	28	×23.5	木口木版、多色刷	本のみ

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm		材質、技法	展示
92	ウォルター・クレイン	『ハバードおばさんの絵本』［ウォルター・クレインの絵本 第2巻］「ハバードおばさん」、「3匹の熊」、「おかしなABC」	1897年刊(1873, 76, 74年刊の3冊の合本)ロンドン、ニューヨーク	28.2	×23.5	木口木版、多色刷	本のみ
93	ウォルター・クレイン	Th. マージャル『パン・パイプ』	1883年刊、ロンドン	22.5	×31	木口木版、多色刷	本のみ
94	ウォルター・クレイン	『フローラの饗宴』	1889年刊、ロンドン、パリ、メルボルン	25.4	×19	リトグラフ、多色刷	本のみ
95	ウォルター・クレイン	『クイーン・サマーあるいは百合と薔薇の騎馬試合』	1891年刊、ロンドン、パリ、メルボルン	28.6	×20.5	リトグラフ、多色刷	本
95-1		シルバー・アルムのラッパが響く(p.13)					●
95-2		薔薇の騎士、続いて百合の騎士があらわれる(pp.14-15)					●
95-3		チャンピオン同士が槍をふるってぶつかり合う(pp.16-17)					●
95-4		観客たちは声援を送り、再びラッパが鳴り響くも戦いはいまだ決しない(pp.18-19)					○
95-5		両陣営の戦いは続き、百合の雪日の炎は薔薇の真紅の洪水と交じり合うかのよう(pp.20-21)					○
95-6		花の戦いの勝負の行方は知れず、とうとう女王が立ち上がる(p.22)					○
96	ウィリアム・ニコルソン(1872-1949)	『アルファベット』	1897年刊(扉には1898年の年記)、ロンドン	31.6	×25.6	リトグラフ、多色刷	本のみ
97	ウィリアム・ニコルソン	W. E. ヘンリー『ロンドン・タイプス』	1898年刊、ロンドン、ニューヨーク	25.4	×22.9	板目木版、手彩色	本
97-1		御者(ナイツブリッジ・ロード)					●
97-2		近衛騎兵(ホースガーズ)					●
97-3		行商人(ケンジントン)					●
97-4		ロンドン塔の守衛					○
97-5		サンドイッチマン(トラファルガー広場)					○
97-6		呼び売り商人(ハマースミス)					●
97-7		貴婦人(ロットン・ロウ)					●
97-8		慈善学校の生徒(ニューゲート・ストリート)					●
97-9		警官(コンスティテューション・ヒル)					●
97-10		新聞売りの少年(シティ)					○
97-11		軍楽隊長(ウィンブルドン・コモン)					○
97-12		花売り娘(街角に)					○
97-13		女性バーテンダー(酒場に)					○
98	エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ(1833-1898)	『フラワー・ブック』	1882-1898年原画制作、1905年刊、ロンドン	φ16.8		リトグラフ、多色刷	ー
98-1		ヤコブの梯子 (pl.3)					●
98-2		神の花(pl.6)					●
98-3		黄金の杯(pl.7)					●
98-4		クサリヘビの舌(pl.8)					●
98-5		天国の梯子(pl.12)					●
98-6		もつれた愛 (pl.14)					●
98-7		魔法使いの樹(pl.15)					●
98-8		海の墓(pl.16)					●
98-9		金色のにわか雨 (pl.18)					○
98-10		燃えるヒース (pl.19)					○
98-11		朝の栄光(pl.21)					○
98-12		風と共に(pl.22)					○
98-13		最愛の者よ目覚めよ(pl.23)					○

No	画家名	題名	制作年、発行年、発行地	サイズcm	材質、技法	展示
98-14	エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ(1833-1898)	名誉の賞(pl.32)				○
98-15		白い庭 (pl.34)				○
98-16		牧場の甘き香(pl.35)				○
99	オーブリー・ビアズリー (1872-1898)	T. マロリー『アーサー王の死』2巻	1893-94 年刊、ロンドン	24.7 ×19.5	ラインブロック(扉図:フォトグラヴュール)	本のみ
100	エリック・ギル (1882-1940)	『雅歌』	1925年刊、ウォルサム・セント・ローレンス	26.2 ×19.7	木口木版	本のみ

*展示期間:●は前期(9月23日-10月28日)、○は後期(10月30日-12月2日)、無印は全期間展示。
ただし挿絵本は全期間の展示でも前後期で展示ページを変えた。
*所蔵者名の無いものは全て栃木県立美術館所蔵。XVは持宝院蔵(栃木県立美術館寄託)、no.74, no98は当館蔵。

◎印刷物・会場作成物

・図録 B5 172頁
内容:
謝辞
あいさつ
目次
ピクチャレスク風景からモダン都市パリの誕生まで(小勝禮子)
カタログ
Ⅰ都市のフランス France cat.nos. Ⅰ-Ⅷ,1-64
19 世紀フランスの風景画とサロン絵画(伊藤香織)
Ⅱ自然のイギリス Britain cat.nos.Ⅸ-XV,65-100
18、19 世紀のイギリス風景画(浅見千里)
作家解説
関連年表(山根佳奈[編])
参考文献抄(山根佳奈[編])Selected Bibliography
[Summary]
From the Picturesque to the Modern City of Paris:
18th and 19th Century French and British Art in the Collection of the Tochigi Prefectual Museum of fine Arts(Reiko Kokatsu)
19th Century French Landscape Painting and Salon Painting(Kaori Ito)
British Landscape of the 18th and 19th Century(Chisato Asami)
・ポスター B2
・チラシ A4
・ジュニアガイドA3、四つ折り
・会場パネル
挨拶パネル1枚
章パネル6枚
・会場配布用作品リスト

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]
・朝日新聞
9.26(夕刊)
「ターナー「風景ータンバリンを持つ女」 なぜおぼろげなのか」
＜水曜アート＞
10.3、10.10、10.17、10.24、10.31、11.7、11.14、11.28
「群馬県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス」＜Museum Guide＞
10.31「群馬県立館林美術館 都市のフランス・自然のイギリス」
＜ぐんまマリオン 沿線美術館情報＞
・朝日ぐんま
11.2 「展覧会をもっと楽しむ美術講座」
11.9 「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ー「時代の空気」生き生きと」＜美術探訪＞＊
・太田タイムス
9.8 「絵画で感じる 仏英の近代」
・上毛新聞
9.6、9.24
「館林美術館企画展示「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ー」関連ワークショップ＜ゆうまちゃんの掲示板＞
9.14 「木口木版で蔵書票作り 館林美術館が参加者募集」
9.23 「英仏の近代絵画340点 きょうから館林美術館」＊
9.23、11.17
「館林美術館企画展示「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ー」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
9.28 「館林美術館企画展示「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ー」および美術講座」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
10.2 「館林美術館企画展示「都市のフランス 自然のイギリス」作品解説会」
＜ゆうまちゃんの掲示板＞
10.2 「館林美術館 挿絵の世界、歌で再現 展示中の楽譜から6曲」
10.9 「館林美術館 木口木版で蔵書票作り「版画の宝石」挑戦」＊
10.11 「子どもギャラリートーク」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
10.12 「館林美術館企画展示「都市のフランス 自然のイギリス」美術講座」
＜ゆうまちゃんの掲示板＞
10.20 「英国の挿絵本テーマに講演」
11.2、11.16
「県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本世界」＜気になる情報ぱれっと＞
11.9 「パリの風俗生き生き ドーミエの風刺画など展示」＊
11.19「企画展「都市のフランス 自然のイギリス」来月2日まで館林美術館」
＜bunka＞
・上毛新聞シャトル(館林ニュース)
9.14、9.17、9.21、9.24、9.28、10.1、10.5、10.8、10.12、10.19、10.22、10.26、10.29、11.2、11.5、11.9、11.16、11.19、11.23、11.26、11.30
「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」
＜出かけてみませんか 情報BOX＞
9.22 「変革の時代映し出す 英・仏作家の絵画、版画 あすから館林美術館前後期で362点」＊
9.23、10.7、10.21、11.4、11.25
「県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜museum＞
10.3 「展覧会と音楽の融合 挿絵に描かれた6曲歌声とピアノで披露」
10.8 「分野ごとに研究者が講師 14日から3回 館林美術館で講座」
10.24「作家や美の考え方探る 館林美術館 展覧館楽しむ方法講演」＊
・上毛TAKATAI
10.5、10.19、11.2、11.16
「県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」＜ART＞
・下野新聞
9.20、9.27、10.4、10.11、10.18、10.25、11.1、11.8、11.15、11.22
「群馬県立館林美術館 都市のフランス自然のイギリス」＜遊もあプラザ展示館だより＞

・東京新聞

9.20、9.27、10.25

「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀の絵画と版画」＜ゆめぽっけ 美術・博物館ガイド＞

11.29「都市のフランス・自然のイギリス」＜ぐんまウィークリーガイド＞

・読売新聞

1.1 「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界（仮称）」

1.8 「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜発見感動 今年の主な事業＞

4.29 「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜2007年度 主な美連協主催展＞

9.14 「都市のフランス 自然のイギリス」

9.24 「18～19世紀の英仏絵画紹介 館林美術館で展示会」

9.24 「都市のフランス 自然のイギリス」＜いんふぉめーしょんパーク＞

10.2 「都市のフランス 自然のイギリス リチャード・ウィルソン「アクア・アチェトーサ」 美しい風景の中に憂い」（県立館林美術館学芸員 松下由里）＊

11 ［都市のフランス 自然のイギリス ジョン・コンスタブル「デダムの谷」 秩序ある構図 故郷への愛」（県立館林美術館学芸員 松下由里）＊

11.2 「都市のフランス 自然のイギリス ジョン・クック・ボーン「グレイト・ウェスタン鉄道の歴史」 鉄道開通の興奮と熱気」（県立館林美術館学芸員 松下由里）＊

10.9 「都市のフランス 自然のイギリス ラ・メザンジェール編『ボン・ジャンル』より 「アイスクリーム」これが19世紀パリの流行」（県立館林美術館学芸員 伊藤香織）＊

10.12 ［都市のフランス 自然のイギリス ギュスターヴ・ドレ「秋の精」秋告げる黄金の鐘」（県立館林美術館学芸員 伊藤香織）＊

10.30、11.6、11.13、11.20、11.27

「群馬県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス」（シティライフ）

・群馬よみうり あみーご

10.13「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ーの招待券」

・毎日新聞

10.3、10.10、10.24、11.7、11.21

「館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜見る 聴く 遊ぶ Gallery 見る 群馬のミュージアム＞

10.5 「都市のフランス 自然のイギリス～18・19世紀絵画と挿絵本の世界～」＜ふれあい催事記＞

・まいにち

11月号「群馬県立館林美術館（館林市）都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」

・両毛新聞

11.2 「都市の「仏」自然の「英」美術 群馬県立館林美術館」＜近県美術館、博物館だより＞＊

［定期刊行物］

・足利漫我人

9月号、10月号、11月号

「県立館林美術館情報 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜マガジン・ネットワーク＞

・家庭画報

12月号「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」＜美術の歓び ART＞

・ギャラリー

9、10、11月号

「都市のフランス 自然のイギリス」＜全国の展覧会スケジュール＞

・教育ぐんま

9月号「企画展示「都市のフランス自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」

・グラフぐんま

9月号「企画展示「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」」＜イベントガイド＞

10月号「都市とともに発展した美 県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜Gallery＞

・ぐんま広報

9月号「館林美術館企画展示 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界ー」

・ぐんま情報誌 からっ風

9・10、11・12月号

「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜ArtMuseum 2007 美術館情報＞

・芸術新潮

4、10月号

「群馬県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」＜invitation exhibition＞

・中央公論

12月号「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」

・博物館研究

Vol.42 No.9 、No.10、 No.11、No.12

「群馬県立館林美術館 都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」＜EVENT CALENDAR＞

・版画芸術

2007年秋号

「西洋の挿絵本への招待」（気谷誠）

・美術の窓

2、5、6、10、11、12月号

「都市のフランス 自然のイギリス」

・美連協ニュース

2月号「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界（仮）」＜私たちが担当します＞

8、11月号

「都市のフランス 自然のイギリス」＜加盟館展覧会案内＞、＜開催中の展覧会＞

2月号「都市のフランス 自然のイギリス」＜2007年度総会委員会報告詳報＞
・みーつけた
9月号「美術を通じて知る英・仏 群馬県立館林美術館」
・渡良瀬通信
10、11、12月号
「群馬県立館林美術館（館林市）都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」＜渡良瀬インフォメーション＞
・わくわくたてなん通信
9月号「群馬県立美術館 都市のフランス 自然のイギリス」＜チケットプレゼントコーナー＞＜近隣の美術館特集＞
・わたらせ倶楽部
2007年秋号
「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」
・ALETS
No.195「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界-」
＜art & cinema information＞
・BM美術の杜
Vol.14「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」
＜EXHIBITION PREVIEW＞
・Deli-J
11月号「「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」 群馬県立館林美術館」＜Event Guide いべんと伝言板＞
・TOWN わたらせ
10.27「館林美術館で企画展「都市のフランス 自然のイギリス-18・19世紀絵画と挿絵本の世界」を鑑賞し、田山花袋記念文学館を訪ねる」

◎放送
[テレビ]
・館林ケーブルテレビ
9.28-10.2 6:00～24:00、30分毎に放映（9:00-11:00、14:00-16:00を除く）
＜街スタ！TV＞
[ラジオ]
・エフエム群馬
9.29 10:45-49 ＜ぐんま情報トッピング＞
・エフエム太郎
9.25、10.2、10.30、11.1 8:20-25 ＜ぐんまいきいき情報＞

◎関連事業

・美術講座
展覧会をもっと楽しむ美術講座
9/30 「‘Everything tells a story.’―ヴィクトリア朝の物語る絵」
講師：高橋裕子（学習院大学教授）
10/14 「19 世紀 都市のフランス－版画・挿絵本を見る楽しみ」
講師：小勝禮子（栃木県立美術館特別研究員）
10/21 「イギリスの挿絵本―19 世紀を中心に」
講師：河村錠一郎（一橋大学名誉教授）
11/4 「フランス美術における自然表現―コローからモネまで」
講師：馬渕明子（日本女子大教授）
・ワークショップ
10/6-7「版画ワークショップ「木口木版でつくる蔵書票」」
講師：栗田政裕（木口木版画家）、長嶋一孝（木口木版画家）
対象：中学生～一般

展示室2－1

展示室2－2

展示室3

展示室４

C　特別展示記録

夢伝説　倉本麻弓とフジタマ

会期　　平成 19 年 12 月 15 日(土)～平成 20 年3月 30 日(日)
会場　　展示室 2、3
主催　　群馬県立館林美術館
観覧料　　一般　300(240)円　　大高生　150(120)円
　　(　)内は 20 名以上の団体割引料金

人間の不可思議な精神作用がもたらす夢や、人々の日常生活に根づく無意識を照らし出す二人の若手作家、倉本麻弓とフジタマを紹介した。

倉本麻弓(1976－　)は、実際に夢のなかで何度も訪れている「夢のまち」での様々な事件を、10 ㎝四方の小さな箱のなかに立体的に再現した作品を制作している。本展では、新作を含む「夢のまち」シリーズの箱作品に加え、夢のなかで出逢った重要なモチーフの立体作品、さらに倉本の作品をもとにした映像作品（制作:茂木薫ほか）により、展示スペース全体を彼女の夢のまちへと変貌させる展示となった。

フジタマ(1971－　)は、好奇心と観察眼のアンテナでキャッチした日常のすきまに入り込み、切り紙やオブジェのインスタレーション、映像などの手法を用いながら、無意識を引き出し、固定観念を覆す世界を展開している。本展では、自作の神棚をくぐり歩いた《くぐる人》(2003 年)、 国立民族学博物館の所蔵作品から生まれた《かぞくのゆめおうこく》(2005 年) の映像インスタレーションに加え、館林にて撮影された映像をもとにした新作を展示した。

夢や無意識を共通のテーマとする 2 人をカップリングした本展は、特異な表現方法をとるそれぞれの作品世界を伝えるため、カタログでもデザインを工夫し、右から倉本麻弓、左からフジタマの頁が始まり、さらに袋とじの頁を開けながら作品のコンセプトやデータが露わになる仕様を考案した。

ポスター

図録

倉本麻弓

No.	作者名	作品名			制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
1	倉本麻弓	No.1	山／山越え	No.1 On a Mountain: Climbed over a Mountain	1999	ミクストメディア	10.5 × 12.5 × 10.5
2		No.2	海／海中で呼吸	No.2 Sea: Breathed in the Sea	1999	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
3		No.3	草原／脱線事故	No.3 Plain: Derailment	1999	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
4		No.4	山／吊り橋を渡る	No.4 Mountain: Crossed a Suspension Bridge	1999	ミクストメディア	# × 12.5 × 10.5
5		No.5	海／メノウ発見	No.5 On a Coast: Found an Agate	1999	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
6		No.6	インゲン屋／店内を覗く	No.6 Bean Store: Looked Inside the Store	1999	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
7		No.7	ドーナツ屋／飲み物を探す	No.7 Donut Shop: Looked for Something to Drink	1999	ミクストメディア	5 × 10.5 × 12.5
8		No.8	スイカデパート1F／視察する	No.8 Watermelon Department 1F: Observed the Store	1999	ミクストメディア	7 × 10.5 × 12.5
9		No.9	スイカデパート2F／命を狙われる	No.9 Watermelon Department 2F: Life in Danger	1999	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
10		No.10	トンネル／雨やどり	No.10 Tunnel: Got in out of the Rain	1999	ミクストメディア	7 × 10.5 × 12.5
11		No.11	橋 ／海を眺める	No.11 Bridge: Gazed at the Ocean	1999	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
12		No.12	旅館／中を覗く	No.12 Inn: Looked Inside	1999	ミクストメディア	6 × 10.5 × 12.5
13		No.13	マーボー豆腐屋／食事する	No.13 Szechuan-Style Bean Curd Restaurant: Meal	1999	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
14		No.14	交差点／交通事故を見る	No.14 Intersection: Saw a Car Accident	1999	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
15		No.15	病院／サバミソの実験	No.15 A Hospital: An Experiment of *Saba-Miso*	1999	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
16		No.16	ういろう屋／食事する	No.16 *Uiro* Store: Meal	1999	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
17		No.17	バスの中／女に見られる	No.17 In the Bus: Stared at by a Woman	1999	ミクストメディア	7 × 12.5 × 10.5
18		No.18	横断歩道／渡れない	No.18 Pedestrian Crossing: Couldn't Cross	1999	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
19		No.19	坂道／案内される	No.19 Sloping Road: Received Directions	2000	ミクストメディア	8 × 12.5 × 10.5
20		No.20	道路／電車を見る	No.20 Road: Looked at Cars	2000	ミクストメディア	9 × 10.5 × 12.5
21		No.21	学校／歩道橋を渡る	No.21 In a School: Walked on a Pedestrian Bridge	2000	ミクストメディア	8 × 12.5 × 10.5
22		No.22	5階建てビル5F／版画の個展を開く	No.22 In a 5 Storied Building, on the 5th Floor: Held My Print Exhibition	2000	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
23		No.23	リサイクルショップ／やかんを売る	No.23 Recycling Shop: Sold a Kettle	2000	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
24		No.24	トイレ／長い和式便器を見る	No.24 In a Rest Room: Found a Long Japanese Style Toilet	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
25		No.25	トイレ／仕切りの無い洋式トイレに入る	No.25 In a Rest Room: Went into a Western Style Toilet without a Partition	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
26		No.26	海／自分に逢う	No.26 Ocean: Met Myself	2000	ミクストメディア	10 × 12.5 × 10.5
27		No.27	海中デパート／男に追われる	No.27 Undersea Department: Chased by a Man	2000	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
28		No.28	グラウンド／銃撃戦	No.28 Ground: Gunfight	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
29		No.29	道路／サイクリング	No.29 Road: Cycling	2000	ミクストメディア	7 × 10.5 × 12.5
30		No.30	道路／裸で歩く	No.30 Road: Walked Naked	2000	ミクストメディア	4 × 10.5 × 12.5
31		No.31	脱衣場／服を置く	No.31 Dressing Room: Put Clothes Down	2000	ミクストメディア	7 × 12.5 × 10.5
32		No.32	浴場／入浴	No.32 Bathhouse: Took a Bath	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
33		No.33	ビル街／逃げる	No.33 Building Street: Escaped	2000	ミクストメディア	9 × 12.5 × 10.5
34		No.34	小屋／クッキーゲーム	No.34 A Cabin: Cookie Game	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
35		No.35	道路／女が爆発	No.35 On a Street: A Woman Exploded	2000	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
36		No.36	護送バス／ナス畑をみる	No.36 Police Wagon: Saw an Eggplant Field	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
37		No.37	路地／アパート探し	No.37 Alley: Apartment Hunting	2000	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
38		No.38	アパート／男と会話	No.38 Apartment: Talked with a Man	2000	ミクストメディア	7 × 10.5 × 12.5
39		No.39	川／動物を見る	No.39 River: Saw Animals	2000	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
40		No.40	広場／女と会話	No.40 Public Square: Talked with a Woman	2000	ミクストメディア	5 × 10.5 × 12.5
41		No.41	階段教室／授業を受ける	No.41 In a Lecture Theater: Took a Class	2000	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
42		No.42	脱衣場／服を脱ぐ	No.42 Dressing Room: Took Off Cothes	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
43		No.43	浴場／シャワーを浴びる	No.43 Bathhouse: Took a Shower	2000	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
44		No.44	プール／泳げない	No.44. Pool: Couldn't Swim	2000	ミクストメディア	4 × 10.5 × 12.5
45		No.46	じゃり道／馬車で移動	No.46 Gravel Road: Traveled on a Wagon	2001	ミクストメディア	7 × 12.5 × 10.5
46		No.47	病院／煙の実験	No.47 Hospital: Smoke Experiment	2001	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
47		No.48	私の家／ワニ釣り	No.48 In My House: Fished Alligators	2001	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
48		No.49	私の家／探検	No.49 My House: Explored	2001	ミクストメディア	10 × 10.5 × 12.5
49		No.50	玄関前／おばあさんと会話	No.50 In Front of the Gate: Talked with an Elderly Woman	2001	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
50		No.51	私の家の前／家をもらう	No.51 The Front of My House: Got a House	2001	ミクストメディア	10 × 12.5 × 10.5

No.	作者名	作品名			制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
51	倉本麻弓	No.52	私の家／エレベーターにのる	No.52 My House: Rode on an Elvator	2001	ミクストメディア	7 × 12 × 10.5
52		No.53	金物屋／おじいさんと会話	No.53 Hardware Store: Talked with an Old Man	2001	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
53		No.54	グラウンド／戦う	No.54 Ground: Fought	2001	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
54		No.55	駅の地下街／ガラス屋に入る	No.55 In an Underground Shopping Center: Went in a Glassware Shop	2001	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
55		No.56	天空の狭い部屋／6人で会話	No.56 A Small Room in the Sky: Conversation among Six	2001	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
56		No.57	トイレ／汚れたトイレを見る	No.57 Toilet: Saw a Dirty Toilet	2001	ミクストメディア	8 × 12.5 × 10.5
57		No.58	まち全体／方向音痴ウイルス発生	No.58 In the Whole Town: An Outbreak of the No-Sense-of-Direction Virus	2001	ミクストメディア	9 × 12.5 × 10.5
58		No.59	電車内／毒ジュース事件	No.59 Train Interior: Poisoned Juice Incident	2001	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
59		No.60	駐車場／太陽爆発	No.60 Parking Lot: Explosion of the Sun	2001	ミクストメディア	8 × 12.5 × 10.5
60		No.61	会館内／自殺者発見	No.61 Inside a Public Building: Discovered the Body of a Suicide	2001	ミクストメディア	6 × 10.5 × 12.5
61		No.62	寝室／妊娠ブタに会う	No.62 Bedroom: Encountered a Pregnant Pig	2001	ミクストメディア	7 × 12.5 × 10.5
62		No.63	洋服店／中を覗く	No.63 Clothing Store: Peeped in	2001	ミクストメディア	6 × 12.5 × 10.5
63		No.64	シェルター／避難	No.64 Shelter: Went Inside	2001	ミクストメディア	5 × 10.5 × 12.5
64		No.65	家の前／塩袋を投げる	No.65 In Front of My House: Threw a Bag of Salt	2001	ミクストメディア	7 × 10.5 × 12.5
65		No.66	駅前／バスに乗る	No.66 In Front of a Train Station: Boarded a Bus	2001	ミクストメディア	9 × 10.5 × 12.5
66		No.67	畑／偽の草を植える	No.67 Field: Planted Fake Grass	2001	ミクストメディア	4 × 10.5 × 12.5
67		No.68	飛行場／飛行機に乗る	No.68 Airport: Boarded the Airplane	2001	ミクストメディア	5 × 10.5 × 12.5
68		No.69	豪華な部屋／象の話を聞く	No.69 In a Luxurious Room: Listened to an Elephant	2001	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
69		No.70	おじいさんの部屋／泥棒に入られる	No.70 An Elderly Man's Room: Robbed	2001	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
70		No.71	部屋／料理する	No.71 In a Room: Cooked	2001	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
71		No.72	浴場／体を洗う	No.72 Bathehouse: Washed My Body	2001	ミクストメディア	5 × 12.5 × 10.5
72		No.73	会館内／男のショー	No.73 Public Hall: Man's Performs Magic Show	2002	ミクストメディア	7 × 01.5 × 12.5
73		No.74	海／乱射事件	No.74 Sea: Mass Shooting Incident	2003	ミクストメディア	3 × 12.5 × 10.5
74		No.75	マンション／留守番	No.75 Condominium: Minding the Rooms while Others Are Out	2004	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
75		No.76	幼稚園／アルバイト	No.76 Kindergarten: Worked Part-Time	2004	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
76		No.77	トンネル／すべって移動	No.77 Tunnel: Slid Along Slippery Floor	2004	ミクストメディア	4 × 10.5 × 12.5
77		No.78	駅／すべって移動	No.78 Station: Continued Sliding Along Slippery Path	2004	ミクストメディア	4 × 21.5 × 10.5
78		No.79	脱衣場／服を脱ぐ	No.79 Dressing Room: Took Off Clothes	2004	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
79		No.80	風呂場／様子を見る	No.80 Bath Place: Looked Around	2004	ミクストメディア	4 × 12.5 × 10.5
80		No.81	校庭／飼育小屋のカラス女	No.81 Schoolyard: A Crow-Woman in Shed for Birds	2002	ミクストメディア	10.5 × 10.5 × 12.5
81		No.81	校庭／飼育小屋のカラス女	No.81 Schoolyard: A Crow-Woman in Shed for Birds	2003	ミクストメディア	20 × 40 × 20
82		No.81	校庭／薬をくれるカラス女	No.81 In a Schoolyard: A Crow-Woman Gave Me a Medicine	2002	ミクストメディア	26 × 26 × 26
83		No.81	校庭／ほおずりするカラス女	No.81 In a Schoolyard: A Crow-Woman Pressed Her Cheek	2002	ミクストメディア	14 × 31 × 21
84		No.81	校庭／ほおずりするカラス女	No.81 In a Schoolyard: A Crow-Woman Pressed Her Cheek	2002	ミクストメディア	35 × 200 × 50
85		No.81	校庭／空を飛ぶカラス女	No.81 In a Schoolyard: Flying Crow-Woman	2002	ミクストメディア	40 × 57 × 34
86		No.81	校庭／空を飛ぶカラス女	No.81 In a Schoolyard: Flying Crow-Woman	2007	ミクストメディア	20 × 10 × 15
87		No.95	部屋／虫の大量発生	No.95 Room: Huge Number of Insects	2004	ミクストメディア	9.5 × 10.5 × 12.5
88		No.102	アパート／下水管もれ	No.102 Apartment: Sewer Pipe Leaked	2007	ミクストメディア	10 × 15 × 15
89		No.107	川／流れ星にさわる	No.107 River: Touched Shooting Star	2007	ミクストメディア	7 × 10 × 5
90		No.120	海／空飛ぶ窓	No.120 Sea: Saw Window Flying Through the Sky	2002	ミクストメディア	10 × 9.5 × 19.5
91		No.128	坂道／泡ですべる	No.128 Sloping Road: Slipped on Bubbles	2007	ミクストメディア	10 × 5 × 27
92		No.139	洞窟／落ちる	No.139 Cave: Fell	2007	ミクストメディア	12 × 7 × 25
93		No.144	廊下／インスタントセット	No.144 Corridor: Saw Set for Instantly Restoring Volvox-like Creatures	2007	ミクストメディア	7 × 8 × 25
94		No.145	家の中／生霊と宴会	No.145 In a House: Banquet with Living Spirit	2007	ミクストメディア	5 × 8 × 8
95		No.146	洞窟の前／悲鳴を聞く	No.146 In Front of a Cave: Heard a Scream	2007	ミクストメディア	7 × 7 × 7

No.	作者名	作品名		制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行)cm
96	倉本麻弓	橋からの景色	Landscape from the Bridge	2001	ミクストメディア	9.5 × 30.5 × 36.5
97		夢日記	Diary of Dreams		ペン、鉛筆・紙	
98	茂木薫	№15	No.15	2006	映像	4 分
99	小野塚沙織	№24	No.24	2007	映像	1 分
100	小野塚沙織	№25	No.25	2007	映像	1 分
101	鈴木敏也	№41	No.41	2006	映像	3 分
102	茂木薫	№81　カラス女	No.81 A Crow-Woman	2007	映像	5 分
103	倉本麻弓	映像《No.81 カラス女》のための衣装	Costume for the video work: "No.81 A Crow-Woman"	2007	ミクストメディア	

＊作品番号82, 83：Gallery Jin 所蔵　他は全て作者蔵

フジタマ

No.	作者名	作品名		制作年	技法・材質
1	フジタマ	くばるひと	KUBARUHITO: Fuzitama distributes small gods to her friends	2003	ミクストメディア、映像（パフォーマンス）
2	フジタマ	かぞくのゆめおうこく	Kingdom of Family Dreams	2005	映像
3	フジタマ	たてばやしのゆめおうこく	Kingdom of Tatebayashi Dreams	2007	ミクストメディア、映像（パフォーマンス）

*国立民族学博物館所蔵資料

No.	フジタマ《かぞくのゆめおうこく》キャスト名	資料名	Title	使用地域	使用民族	材質	寸法（高さ×横幅×奥行）cm
4	吉井けいぞう	仮面	Mask	パプアニューギニア 東セピック州 アングリマン村		植物一般 ゴザ 竹・籐・葦 篦類 塗 粉状塗 全体	200×63×63
5	吉井正雄	仮面	Mask	パプアニューギニア セピック地方	ナンガサプ族	植物一般 ゴザ 竹・籐・葦 篦類 塗 粉状塗 全	137×65×60
6	吉井家 インテリア	凧	Kite	タイ		竹・籐・葦 紙 付属品	5.0×55.1×75.0
7	吉井家 インテリア	凧	Kite	タイ		竹・籐・葦 撚糸 紙 生樹脂・接着剤	1.5×42.7×51.3
8	吉井家 インテリア	凧絵	Kite Painting	京都府京都市		紙	45.0×33.0
9	子供部屋の訪問者（きんぴか仏像）	精霊像（37柱のナッ神）	Figure of Spirit (The 37 Primary	ミャンマー マンダレー管区 ニャンウー郡		木、金属箔	54×17×14.5
10	きしわだ夫妻 夫	仮面	Mask	インドネシア 東カリマンタン州クタイ県	クニャー族	鉄 木 樹皮 塗	36.8×52.3×32.4
11	きしわだ夫妻 妻	仮面	Mask	カメルーン ババンキ地方		鉄 木 粉状塗 付属品 墨書	21.1×26.0×50.9
12	長沼三兄弟	仮面（舌出し）	Mask (Protruding Tongue)	カナダ	イロクォイ族	鉄 銅 木 塗 毛皮 鞣皮 付属品	14.3×18.3×29.4
13	長沼三兄弟	仮面（収穫）	Mask (Harvest)	カナダ	イロクォイ族	鉄 銅 植物一般 木 塗 毛皮 鞣皮 付属品	13.6×31.7×36.0
14	長沼三兄弟	仮面（唇なし）	Mask (No Lips)	カナダ	イロクォイ族	鉄 銅 木 塗 毛皮 鞣皮 付属品	13.4×15.0×27.7
15	みなしご兄弟 マサ	彫像付椅子	Chair with Sculpture	パプアニューギニア セピック地方		鉄 粘土 植物一般 ゴザ 竹・籐・葦 木 樹皮 樹皮テープ 塗 粉状塗 羽・毛 骨・牙・歯 貝 生樹脂・接着剤 付属品 全体	248×70×67
16	みなしご兄弟 ヤス	神像付椅子	Chair with Image of Deity	パプアニューギニア 東セピック州 タンバ村	イアトムル族	粘土 植物一般 木 粉状塗 羽・毛 貝 象がん・螺鈿 全体	242×75×45
17	ひんここさん	ひんここ祭りの人形（禰宜殿：須佐ノ男命）	Puppet for the HINKOKO Matsuri(Priest Negi : Susa-no-O-no-Mikoto)	岐阜県美濃市大矢田		鉄 金網・針金 藁 竹・籐・葦 樹皮テープ 撚糸布 紙 張り子 人工樹脂	220×240×60
18	ひんここさん	ひんここ祭りの人形（農民）	Puppet for the HINKOKO Matsur(Farmer)	岐阜県美濃市大矢田		鉄 金網・針金 藁 竹・籐・葦 布 紙 張り子 不明	200×180×30
19	どくぞうさん	クロー・インディアンのマネキン	Mannequin of Crow Indian	アメリカ合衆国		木、紙、金属	180×50×30

◎印刷物・会場作成物

・カタログ

B5 版　25.7×18.2cm（袋とじ）　全 32 頁

内容:

謝辞

あいさつ

「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」（学芸員　松下和美）

作品図版、会場風景写真、テキスト

出品リスト

略歴

文献

英文要約

編集・発行:群馬県立館林美術館

翻訳:スタンリー・N・アンダソン

デザイン:大溝裕、大塚南海子（Glanz）

撮影:フジタマ、柳場大

制作:美術出版デザインセンター

・ポスター　B2

・ちらし　A4

・パネル

あいさつ（和文・英文）

・会場配布用リスト

◎主要関連記事（長文掲載は末尾に＊）

[新聞等]

・朝日新聞

1.16、2.6、2.20、3.12

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜群馬マリオン　沿線美術館情報＞

1.16（夕刊）

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ　夢や無意識を形にする」

＜美・博ピックアップ＞

1.16（夕刊）

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

12.26、1.9、1.16、1.23、1.30、2.20、2.27、3.5

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜Museum Guide＞

・朝日ぐんま

2.29　「夢伝説～倉本麻弓とフジタマ　ガチガチ頭をユルユルに」

＜美術探訪＞＊

・太田タイムス

12.15「若手作家のふしぎ展覧会　チケプレ」＜チケット　プレゼント＞

・岐阜新聞

1.19　「美術家・倉本麻弓さん　夢で見た場面、立体作品に」＊

・京都新聞

1.29　「美術家　倉本麻弓さん　夢で見た場面を立体作品に」＊

・下野新聞

12.13、12.20、12.27、1.10、1.17、1.24、1.31、2.7、2.14、2.21、2.28、3.6、3.13

「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜遊もあプラザ＞

12.22「現代美術の若手作家紹介　館林美術館で二人展」＊

・上毛新聞

12.14「倉本さんとフジタマさん　独自の 130 作品を紹介　あすから　館林美術館」＊

12.14、1.11、2.1、2.15、3.14

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜気になる情報ぱれっと＞

12.15、1.23、3.9

「館林美術館特別展示　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

12.23「県立館林美術館で「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜おたのしみ読者プレゼント＞

1.10　「子どもギャラリートーク」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

1.14　「県立館林美術館で二人展　倉本麻弓さん　夢の世界　立体で表現」＊

3.13　「倉本さん、フジタマさん作品への思い解説　館林美術館でショー」＊

・上毛シャトル（館林ニュース）

12.3、12.7、12.16、12.17、12.21、12.28、1.1、1.7、1.11、1.14、1.20、1.21、1.25、1.28、2.1、2.4、2.8、2.11、2.18、2.22、2.25、2.29、3.3、3.7、3.10、3.14、3.17、3.24、3.28

「夢伝説「倉本麻弓とフジタマ」＜出かけてみませんか　情報 BOX＞

12.16「現代アートに触れよう「夢伝説―倉本麻弓とフジタマー展」立体や映像作品 130 点」＊

12.23、1.13、2.3、2.17、3.2、3.16

「群馬県立館林美術館　夢伝説　倉本麻弓とフジタマ」＜museum＞

1.12　「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」　倉本麻弓の夢のまちーリアリティとファンタジー　現実の「生」支える迷宮」（学芸員　松下和美）＊

1.19　「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」　フジタマー固定観念への「つっこみ」　謎めいた作品と活動」（学芸員　松下和美）＊

2.16　「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」に関連して　～夢と無意識のイメージをのぞくためのブックガイド～　アーティストの夢とは？」（学芸員　松下和美）＊

3.15　「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」のアーティスト・トークが行われました　作家の言葉ストレートに」（学芸員　松下和美）＊

3.29　「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」閉幕間近です。 人間の根源部分に触れる」（学芸員　松下和美）＊

・新美術新聞

2.1　「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜美術館ギャラリーガイド＞

・千葉日報

12.12、1.16、2.13

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜関東美術案内＞

・東京新聞

12.13、12.20、1.17、2.7、2.28、

「群馬県立館林美術館　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜美術・博物館ガイド＞

1.24 「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜ぐんま ウィークリーガイド＞

・新潟日報

1.14 「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜隣県ねっと＞

・毎日新聞

1.16、2.13、2.27、3.12

「館林美術館(館林市) 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜見る 聴く 遊ぶ 群馬 GALLERY 見る 群馬のミュージアム＞

12.19、1.9、1.16、1.30

「夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」＜群馬のミュージアム＞

12.21 「館林市＝夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜ぐんまワイド／ふれあい催事記＞

・まいにち

12、2、3 月号

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜イベント・インフォメーション＞

・讀売新聞

12.18、12.25、1.8、1.15、1.22、1.29、2.5、2.12、3.4、3.11

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜シティライフ＞

1.18 「特別展「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」」＜えとせとら＞

・群馬よみうり あみーご

12.22「特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」群馬県立館林美術館」

＜amigo＞

・両毛新聞

12.6 「不可思議な「夢伝説」群馬県立館林美術館」＜手軽に行けるカルチャードライブ 近県美術館博物館＞＊

[定期刊行物]

・足利満我人

1、2、3 月号

「県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜マガジン・ネットワーク＞

・ギャラリー

12 月号「夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」＜Exhibition Spot 12 月の展覧会案内＞

12、1、2 月号

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜全国の展覧会スケジュール＞

・教育ぐんま

11 月号「特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」」

・グラフぐんま

1 月号「特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜イベントガイド＞

2 月号「県立館林美術館 企画展 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」

＜Gallery＞

・ぐんま広報

12 月 2 日号

「館林美術館特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」」＜催し＞

・ぐんま情報誌 からっ風

11・12、1・2、3・4 月号

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜Art Museum 2008 美術館情報＞

・芸術新潮

2、3 月号

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜invitation exhibition＞

・装苑

3 月号「「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」展」＜Art＞

・日経ウーマン

2 月号「夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」＜情報スクランブル＞

・博物館研究

Vol.42 No.12、Vol.43 No.1、2、3

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜EVENT CALENDAR＞

・美術手帖

12 月号「夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」＜ExhibitionPreview＞

・美術の窓

12、2 月号

「群馬県立館林 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜展覧会情報＞

・BM 美術の杜

WINTER Vol.15

「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」＜EXHIBITION PREVIEW＞

・美連協ニュース

11、2 月号

「夢伝説－倉本麻弓とフジタマ」＜加盟館展覧会案内＞

・渡良瀬通信

12、1、2、3 月号

「群馬県立館林美術館(館林市) 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」

＜渡良瀬インフォメーション＞

12 月号

「群馬県立館林美術館 夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―展 招待券」

＜PRESENT＞

・art__icle

Vol.06

「群馬県立館林美術館 特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」」

＜全国美術館めぐり⑦＞

「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―」＜Museum Gallery Concert Hall Guide＞

・Deli-J

2 月号「夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」＜EventGuide＞

・REINA

3 月号「ようこそ、不思議でかわゆいガールズワールドへ！夢伝説 倉本麻弓とフジタマ」

◎放送

[ラジオ]

・エフエム群馬

12.25　17:47-17:51　　＜ぐんま情報トッピング＞

3.7　10:45-10:49　　＜ぐんま情報トッピング＞

・エフエム太郎

12.18、2.29、3.7　8:20-8:25　＜ぐんまいきいき情報＞

・NHK エフエム

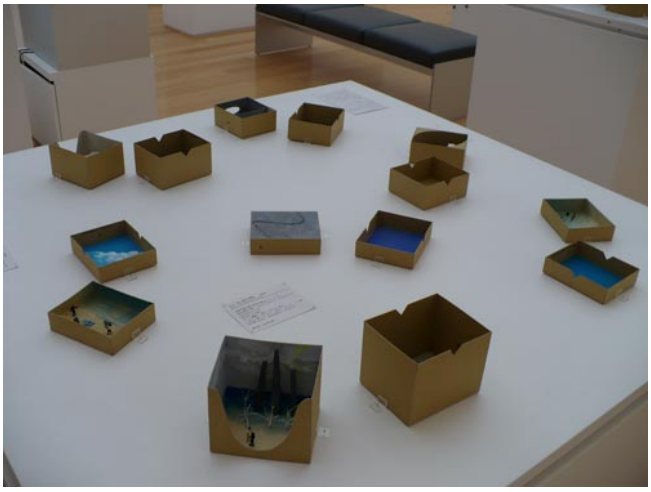
3.4　18:15～18:21　＜夕焼けほっと群馬＞

◎関連事業

・アーティスト・トーク

3.9　14:00～　倉本麻弓

　　15:00～　フジタマ



展示室2（倉本麻弓）

展示室2（フジタマ）

アーティスト・トーク（倉本麻弓）

アーティスト・トーク（フジタマ）

D　コレクション展示記録

第1期
展示室1
「近現代の彫刻Ⅰ」 4月 14 日(土)～6月 17 日(日)

第2期
展示室1
「近現代の彫刻Ⅱ」 6月 30 日(土)～9月9日(日)
展示室2
「自然と人のすがた－2005 年度以降の新収蔵作品を中心に－」 6月 30 日(土)～9月9日(日)

第3期
展示室1
「近現代の彫刻Ⅲ」 9月 23 日(日)～12 月2日(日)

第4期
展示室1
「近現代の彫刻Ⅳ」 12 月 15 日(土)～3月 30 日(日)
展示室2
コレクション展示－新収蔵作品を中心に－　12 月 15 日(土)～3月 30 日(日)

◎印刷物・会場作成物

「近現代の彫刻Ⅰ」
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻Ⅱ」
・会場配布用作品リスト
「自然と人のすがた−2005 年度以降の新収蔵作品を中心に−」
・会場配布用作品リスト
・解説パネル1枚
「近現代の彫刻Ⅲ」
・会場配布用作品リスト
「近現代の彫刻Ⅳ」
・会場配布用作品リスト
「コレクション展示−新収蔵作品を中心に−」
・会場配布用作品リスト
・解説パネル1枚

◎主要関連記事(長文記事は末尾に＊)

[新聞等]
・上毛新聞
7.20 「館林美術館テーマ展示「近現代の彫刻Ⅱ」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
9.26 「館林美術館テーマ展示「近現代の彫刻Ⅲ」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
12.26 「館林美術館コレクション展示」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
1.20 「館林美術館コレクション展示」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
3.5 「館林美術館「子どもギャラリートーク」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
3.12 「館林美術館コレクション展示」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
1.11、3.19 「館林美術館「サンデー・ギャラリートーク」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞

[定期刊行物]
・日経おとなの OFF
3 月号
「年収の 5%を上限にアートを楽しんで 投資目的の蒐集は危険です 清宮質文ひと筋 15 年、サラリーマンコレクター 新井昭彦氏(教員)」＊
・博物館研究
Vol.42 No.7
「テーマ展示「近現代の彫刻Ⅱ」他」＜EVENT CALENDAR＞
Vol.42 No.12
「コレクション展示」＜EVENT CALENDAR＞

◎放送

[ラジオ]

1/4 8:20−8:25 〈ぐんまいきいき情報〉

近現代の彫刻 Ⅰ
平成19年4月14日(土)～6月17日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
2	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
3	土谷　武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
4	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ	51.8 × 28.6 × 21.8	群馬県立館林美術館
5	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
6	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5 × 32.2 × 30.0	群馬県立館林美術館
7	チャーナ・オルロフ	魚/噴水	1929	ブロンズ	40.7 × 13.3 × 40.5	群馬県立館林美術館
8	フェルナン・レジェ	花々の中の鳥	1963	ブロンズ	43.0 × 35.0 × 5.0	群馬県立館林美術館
9	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908-32	銅	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
10	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンポン	パン	1923	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
14	マックス・エルンスト	外壁のマスク	1948	ブロンズ	23.8 × 36.8 × 19.2	群馬県立館林美術館
15	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
17	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
18	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
21	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻 II
平成19年6月30日(土)～9月9日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
2	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5 × 104.1 × 62.2	群馬県立館林美術館
3	土谷　武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
4	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7 × 40.7 × 40.7	群馬県立館林美術館
5	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
6	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
7	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
8	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
9	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
10	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	158.5	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	コゼット	1888	ブロンズ	41.0 × 18.0 × 13.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンポン	風見鶏	1908-32	銅板	47.0 × 54.4 × 6.0	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ポンポン	牝豚	1918-25	ブロンズ	11.0 × 20.0 × 5.5	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2 × 15.8 × 7.0	群馬県立館林美術館
17	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
18	フランソワ・ポンポン	バン	1923	ブロンズ	26.0 × 29.0 × 12.0	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
21	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
22	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
23	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館

自然と人のすがたー2005年度以降の新収蔵作品を中心にー
平成19年6月30日(土)～9月9日(日) 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	カール・ブロスフェルト	ヤグルマギクの花	1920年代(モダンプリント:2005年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
2	カール・ブロスフェルト	ヒエンソウー乾いた葉の一部	1920年代(モダンプリント:2003年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
3	カール・ブロスフェルト	オシダー渦巻状の若い複葉	1920年代(モダンプリント:2001年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
4	カール・ブロスフェルト	マメー若い羽状複葉	1920年代(モダンプリント:2000年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
5	カール・ブロスフェルト	分枝	1920年代(モダンプリント:2001年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
6	カール・ブロスフェルト	オオムギ	1920年代(モダンプリント:2003年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
7	カール・ブロスフェルト	ヒヨスの蕚	1920年代(モダンプリント:2001年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
8	カール・ブロスフェルト	コエルピニアの種子	1920年代(モダンプリント:2000年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
9	カール・ブロスフェルト	ニワトコ	1920年代(モダンプリント:2005年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
10	カール・ブロスフェルト	マツムシソウの種子	1920年代(モダンプリント:2000年)	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0×20.0	群馬県立館林美術館
11	ニルス＝ウド	水の家／トウヒの幹、白樺の枝、柳の小枝、芝の植栽 (8点組)	1982	ゼラチン・シルバー・プリント	125.0×132.0、125.0×140.0	群馬県立館林美術館
12	ニルス＝ウド	ナラの葉	1986	イルフォ・クローム	100.0×100.0	群馬県立館林美術館
13	鶴岡政男	雨の庭	1960年代	パステル・紙	36.0×25.0	群馬県立館林美術館
14	鶴岡政男	春の野	1976	油彩・カンヴァス	33.0×45.5	群馬県立館林美術館
15	森芳雄	母子像	1979	油彩・カンヴァス	130.0×97.5	群馬県立館林美術館
16	西村盛雄	甘露の雨　マナ10	2002	木	65.0×160.0×207.0	群馬県立館林美術館
17	西村盛雄	無題(4点組)	2004	蓮の葉、紙	185.0×185.0	群馬県立館林美術館
18	安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
19	安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
20	安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
21	安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
22	安田千絵	Untitled	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
23	安田千絵	Untitled	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
24	安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
25	安田千絵	Untitled	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
26	安田千絵	Untitled	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
27	安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
28	安田千絵	Untitled	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
29	安田千絵	Untitled	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
30	安田千絵	Untitld	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
31	安田千絵	Untitld	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
32	安田千絵	Untitld	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
33	安田千絵	Untitld	1998	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
34	安田千絵	Untitld	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
35	安田千絵	Untitld	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
36	安田千絵	Untitld	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
37	安田千絵	Untitld	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
38	安田千絵	Untitld	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
39	安田千絵	Untitld	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
40	安田千絵	Untitld	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館
41	安田千絵	Untitld	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	43.0×35.5	群馬県立館林美術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
42	松江泰治	YEMEN 1991 #15	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
43	松江泰治	CANARY 1993 #35	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
44	松江泰治	CHILE 1995 #62	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	44.8×55.8	群馬県立館林美術館
45	松江泰治	NEW ZEALAND 1996 #22	1996	ゼラチン・シルバー・プリント	44.9×55.7	群馬県立館林美術館
46	松江泰治	EGYPT 1997 #12	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
47	松江泰治	UTAH 1997 #46	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
48	松江泰治	MOROCCO 1997 #9	1997	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
49	松江泰治	KOREA 1999 #5	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.8×55.7	群馬県立館林美術館
50	松江泰治	TEXAS 1999 #61	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
51	松江泰治	ITALY 1999 #13	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
52	松江泰治	ALTIPLANO 2000 #19	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
53	松江泰治	ALTIPLANO 2000 #20	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
54	松江泰治	ARGENTINA 2000 #27	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
55	松江泰治	MONTANA 2000 #93	2000	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
56	松江泰治	BALKAN 2001 #21	2001	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
57	松江泰治	NEW BRUNSWICK 2002 #54	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.7	群馬県立館林美術館
58	松江泰治	PRINCE EDWARD ISLAND	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	44.7×55.8	群馬県立館林美術館
59	松江泰治	MISSOURI 2002 #63	2002	ゼラチン・シルバー・プリント	44.8×55.8	群馬県立館林美術館
60	金田実生	冬の呼吸	2004	水溶性クレヨン、鉛筆・紙	155.0×174.0	群馬県立館林美術館
61	金田実生	夜が少しづつ降りる	2005	油彩・紙	154.0×165.0	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻 III
平成19年9月23日(日)～12月2日(日) 展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)	所蔵
1	土谷　武	蝶 I	1993	軟鋼	147.0 × 130.0 × 160.0	群馬県立館林美術館
2	清水九兵衛	affinity B	1974	アルミニウム	27.0 × 120.0 × 110.0	群馬県立近代美術館
3	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ	61.0 × 48.0 × 39.0	群馬県立館林美術館
4	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0 × 122.0 × 112.0	群馬県立館林美術館
5	ヘンリー・ムーア	羊	1960	ブロンズ	19.8 × 24.0 × 11.3	群馬県立館林美術館
6	ヘンリー・ムーア	後ろ足で立つ馬	1972	ブロンズ	20.0 × 9.0 × 7.0	群馬県立館林美術館
7	ヘンリー・ムーア	立っている少女	1981	ブロンズ	23.7 × 5.9 × 7.6	群馬県立館林美術館
8	ヘンリー・ムーア	馬の頭部	1982	ブロンズ	13.6 × 12.0 × 6.5	群馬県立館林美術館
9	ヘンリー・ムーア	小さな人体	1983	ブロンズ	14.2 × 6.0 × 5.4	群馬県立館林美術館
10	バーバラ・ヘップワース	アポロン	1951頃	スチール・ロッド	158.5	群馬県立館林美術館
11	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6 × 23.0 × 6.0	群馬県立館林美術館
12	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8 × 23.4 × 10.7	群馬県立館林美術館
13	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0 × 8.7 × 9.5	群馬県立館林美術館
14	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
15	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	24.7 × 45.5 × 11.7	群馬県立館林美術館
16	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
17	ブルーノ・ロメダ	純粋な大円	2003	ブロンズ	188.0 × 191.2 × 20.0	群馬県立館林美術館
18	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人XI	1982	ブロンズ	166.2 × 57.8 × 28.0	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7 × 7.9 × 8.2	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6 × 47.2 × 13.4	群馬県立館林美術館
21	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5 × 20.8 × 8.0	群馬県立館林美術館
22	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0 × 81.0 × 14.0	群馬県立館林美術館
23	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4 × 38.0 × 26.6	群馬県立館林美術館

近現代の彫刻 Ⅳ
平成19年12月15日(土)～平成20年3月30日(日)　展示室1

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(高さ×幅×奥行cm)			所蔵
1	フランソワ・ポンポン	ラクダ	1906-30	ブロンズ	15.6	× 23.0	× 6.0	群馬県立館林美術館
2	フランソワ・ポンポン	ほろほろ鳥	1910-12	ブロンズ	19.8	× 23.4	× 10.7	群馬県立館林美術館
3	フランソワ・ポンポン	ヒグマ	1918-26	ブロンズ	9.2	× 15.8	× 7.0	群馬県立館林美術館
4	フランソワ・ポンポン	雉鳩	1919	ブロンズ	24.0	× 8.7	× 9.5	群馬県立館林美術館
5	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923	ブロンズ	17.7	× 7.9	× 8.2	群馬県立館林美術館
6	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	24.7	× 45.5	× 11.7	群馬県立館林美術館
7	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0	× 81.0	× 14.0	群馬県立館林美術館
8	チャーナ・オルロフ	鳥	1924	ブロンズ	100.5	× 32.2	× 30.0	群馬県立館林美術館
9	ジョアン・ミロ	鳥	1970	ブロンズ	60.7	× 40.7	× 40.7	群馬県立館林美術館
10	土谷　武	無題	1972	軟鋼	105.0	× 75.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
11	土谷　武	蝶Ⅰ	1993	軟鋼	147.0	× 130.0	× 160.0	群馬県立館林美術館
12	清水九兵衛	affinity B	1974	アルミニウム	27.0	× 120.0	× 110.0	群馬県立近代美術館
13	アーブラハム＝ダーフィット・クリスティアン	清らかな人XI	1982	ブロンズ	166.2	× 57.8	× 28.0	群馬県立館林美術館
14	イサム・ノグチ	リス	1984-88	ブロンズ	61.0	× 48.0	× 39.0	群馬県立館林美術館
15	バリー・フラナガン	仔象	1984	ブロンズ	174.5	× 104.1	× 62.2	群馬県立館林美術館
16	ジム・ダイン	キング・パロット	1995	ブロンズ	216.0	× 122.0	× 112.0	群馬県立館林美術館
17	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4	× 38.0	× 26.6	群馬県立館林美術館
18	フランソワ・ポンポン	フクロウ	1923頃	ブロンズ	17.7	× 7.9	× 8.2	群馬県立館林美術館
19	フランソワ・ポンポン	シロクマ	1923-33	大理石	23.6	× 47.2	× 13.4	群馬県立館林美術館
20	フランソワ・ポンポン	立って頭を下げているインドの牝鹿	1927-28	ブロンズ	12.5	× 20.8	× 8.0	群馬県立館林美術館
21	フランソワ・ポンポン	大黒豹	1930-31	ブロンズ	25.0	× 81.0	× 14.0	群馬県立館林美術館
22	フェルナンド・ボテロ	馬	1995	ブロンズ	50.4	× 38.0	× 26.6	群馬県立館林美術館

コレクション展示－新収蔵作品を中心に－
平成19年12月15日（土）－平成20年3月30日（日） 展示室2

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ×幅cm）	所蔵
1	小室翠雲	長興山荘図	1929	紙本墨画淡彩・軸	121.3 × 180.5	群馬県立館林美術館
2	小室翠雲	蒼松壽古図・梅花双喜図	1930	絹本彩色・二曲一双屏風	116.7 × 168.0	群馬県立館林美術館
3	礒部草丘	犬吠埼図	1933	絹本彩色・軸	80.0 × 50.4	群馬県立館林美術館
4	酒井三良	梨畑	1923	絹本彩色・軸	82.5 × 101.2	群馬県立館林美術館
5	小杉放菴（未醒）	秋果童子	1926	油彩・カンヴァス	71.4 × 51.5	群馬県立館林美術館
6	小絲源太郎	けしの花	1933	油彩・カンヴァス	114.4 × 77.2	群馬県立館林美術館
7	山口薫	森	1936	油彩・カンヴァス	72.7 × 60.6	群馬県立館林美術館
8	山口薫	水田を拓く	1956	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	群馬県立館林美術館
9	鶴岡政男	静かなる夜（山と月と湖）	1955	油彩・カンヴァス	53.0 × 65.2	群馬県立館林美術館
10	南城一夫	フルート奏者	1971	油彩・カンヴァス	23.5 × 32.5	群馬県立館林美術館寄託作品
11	日高理恵子	空との距離Ⅲ	2004	岩絵具・麻紙	200.0 × 200.0 150.0 × 150.0 170.0 × 170.0	
12	近藤正勝	Eerie tree by the lake	2006	油彩・カンヴァス	195.0 × 142.0	群馬県立館林美術館
13	伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0 × 123.0	群馬県立館林美術館寄託作品
14	伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162.0 × 123.0	群馬県立館林美術館寄託作品
15	伊庭靖子	Untitled	1998	油彩・カンヴァス	183.0 × 393.0	群馬県立館林美術館
16	伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180.0 × 180.0	群馬県立館林美術館寄託作品
17	伊庭靖子	Untitled	2003	油彩・カンヴァス	120.0 × 160.0	群馬県立館林美術館寄託作品
18	清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3 × 16.3	群馬県立館林美術館寄託作品
19	清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.2	群馬県立館林美術館寄託作品
20	清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1 × 21.3	群馬県立館林美術館寄託作品
21	清宮質文	蝶	1963-64	木版・紙	24.6 × 22.1	群馬県立館林美術館寄託作品
22	清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6 × 22.0	群馬県立館林美術館寄託作品
23	清宮質文	暗い夕日（『暗い夕日』1）	1972	木版・紙	21.0 × 19.2	群馬県立館林美術館寄託作品
24	清宮質文	冬（『暗い夕日』2）	1972	木版・紙	23.0 × 21.8	群馬県立館林美術館寄託作品
25	清宮質文	トンネルの出口（『暗い夕日』3）	1972	木版・紙	23.4 × 20.1	群馬県立館林美術館寄託作品
26	清宮質文	虜囚の窓（『暗い夕日』4）	1972	木版・紙	24.3 × 20.0	群馬県立館林美術館寄託作品
27	清宮質文	夕方の静物（『暗い夕日』5）	1972	木版・紙	23.0 × 21.9	群馬県立館林美術館寄託作品
28	清宮質文	窓のカンテラ（『暗い夕日』6）	1972	木版・紙	24.2 × 15.0	群馬県立館林美術館寄託作品
29	清宮質文	入日（『暗い夕日』7）	1972	木版・紙	16.2 × 25.8	群馬県立館林美術館寄託作品
30	清宮質文	町外れ（『暗い夕日』8）	1972	木版・紙	16.6 × 22.0	群馬県立館林美術館寄託作品
31	清宮質文	夕日の静物（『暗い夕日』9）	1972	木版・紙	13.7 × 22.2	群馬県立館林美術館寄託作品
32	清宮質文	瓶の中の魚（『暗い夕日』10）	1972	木版・紙	20.0 × 22.6	群馬県立館林美術館寄託作品
33	清宮質文	深夜の蝋燭	1974	木版・紙	18.0 × 15.2	群馬県立館林美術館寄託作品
34	清宮質文	星占い－去りゆく凶星－	1975	木版・紙	15.2 × 18.0	群馬県立館林美術館寄託作品
35	清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2 × 14.1	群馬県立館林美術館寄託作品
36	清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0 × 16.0	群馬県立館林美術館寄託作品
37	清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5 × 14.0	群馬県立館林美術館寄託作品
38	清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2 × 13.0	群馬県立館林美術館寄託作品
39	清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5 × 6.8	群馬県立館林美術館寄託作品
40	清宮質文	夕べの道	1983	水彩・紙	17.4 × 25.4	群馬県立館林美術館寄託作品
41	清宮質文	旧い暦	1983	モノタイプ・紙	18.5 × 14.1	群馬県立館林美術館寄託作品
42	清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2	群馬県立館林美術館寄託作品
43	清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.8	群馬県立館林美術館寄託作品
44	清宮質文	失題	1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2	群馬県立館林美術館寄託作品
45	清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8 × 16.0	群馬県立館林美術館寄託作品
46	清宮質文	なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.5 × 16.9	群馬県立館林美術館寄託作品
47	清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0	群馬県立館林美術館寄託作品
48	清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8 × 27.7	群馬県立館林美術館寄託作品
49	清宮質文	緑の太陽	1988	水彩・紙	16.8 × 29.2	群馬県立館林美術館寄託作品

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ×幅cm）	所蔵
50	J.J.グランヴィル	生きている花々	1847			群馬県立館林美術館
		1巻 扉絵		木口木版、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		1. ヤグルマソウとヒナゲシ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		2. ユリ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		3. パンジー		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		4. タバコ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		5. チューリップ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		6. バラ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		7. スイセン		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		8. スミレ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		9. スイレン		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		10. ゲッケイジュ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		11. ミルテ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		12. マーガレット		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		13. ツバキ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		14. ムギワラギク		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		15. スイカズラ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		16. オシロイバナ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		17. カーネーション		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		18. ドクニンジン		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		19. ヒマワリ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		20. ザクロの花		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		21. 亜麻		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		22. ノバラ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		23. ケシ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		24. アザミ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		25. オレンジの花		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		26. ナスタチウム		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		27. タチアオイ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		28. サクラソウとマツユキソウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		2巻 扉絵		木口木版、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		29. サボテン		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		30. スイートピー		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		31. ダリア		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		32. オジギソウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		33. モモ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		34. サンザシ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		35. ブドウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		36. ワスレナグサ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		37. ジャスミン		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		38. キンセンカとマツムシソウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		39. 花の人身売買		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		40. クワイ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		41. アジサイとヨウラクユリ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		42. クマツヅラ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		43. ニオイアラセイトウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		44. 紅茶とコーヒー		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		45. ライラック		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		46. チュベローズと黄水仙		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		47. 花たちの舞踏会		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		48. 花々の帰還		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		49. 誤りの花		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		50. 乾燥されたツルニチソウ		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		挿図1		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	
		挿図2		スチール・エングレーヴィング、手彩色・紙	25.8 × 18.0	

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ×幅cm）	所蔵
51	ジム・ダイン	フローラの神殿	1984			群馬県立館林美術館
		(扉絵)ナンシーの庭の細部		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		1. ストレリチア(ゴクラクチョウカ)		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		2. アイリス		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		3. チャイナ・リモドロン		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		4. チューリップ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		5. ウスイロシャクナゲ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		6. スノードロップ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		7. アツモリソウ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		8. ペルシア・シクラメン		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		9. カナダユリ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		10. イエロー・ピッチャー・プラント		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		11. スタペリア		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		12. オーリキュラ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		13. エジプト睡蓮		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		14. ハナガサシャクナゲ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		15. カーネーション		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		16. ドラゴン・アルム		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		17. アメリカン・カウスリップ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		18. 白ユリ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		19. キスゲ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		20. ヒヤシンス		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		21. バラ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		22. ウィングド・パッション・フラワー		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		23. ブルー・パッション・フラワー		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		24. クァドランギュラー・パッション・フラワー		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		25. ベニゴウカン		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		26. ゲットウ		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		27. エジプト・ハス		ドライポイント・紙	52.8 × 36.8	
		(別刷り)ナンシーの庭の細部		ドライポイント・紙	44.8 × 29.8	

E 観覧者一覧表

コレクション展示

	有料観覧者						無料観覧者						
	個人			団体			有料合計	小中生	学校団体	身体障害者等	その他	無料合計	観覧者合計
	一般	大高生	小計	一般	大高生	小計							
館林でみる群馬県立近代美術館名品展 4/1 1日	288	10	298	20	0	20	318	26	0	4	73	103	421
コレクション展示 計 1日	288	10	298	20	0	20	318	26	0	4	73	103	421

企画展示(特別展示を含む)

「生誕100年 鶴岡政男展－無頼の遊戯－」 4/14～6/17 57日	3,533	147	3,680	167	135	302	3,982	263	152	182	1,613	2,210	6,192
「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 I. 関東編－重要文化財がやってくる！日本で撮られた最初の写真－」 6/30～9/9 62日	4,420	299	4,719	124	22	146	4,865	1,190	85	155	1,643	3,073	7,938
「都市のフランス 自然のイギリス－18･19世紀絵画と挿絵本の世界－」 9/23～12/2 61日	3,862	238	4,100	177	72	249	4,349	298	339	181	4,513	5,331	9,680
夢伝説－倉本麻弓とフジタマー 12/15～3/30 85日	3,746	208	3,954	178	45	223	4,177	450	120	160	1,634	2,364	6,541
企画展示 計 265日	15,561	892	16,453	646	274	920	17,373	2,201	696	678	9,403	12,978	30,351
合計	15,849	902	16,751	666	274	940	17,691	2,227	696	682	9,476	13,081	30,772

平成19年度の総観覧者数は、30,772人である。

教育普及

A 講演会

開催日	名称 演題	講師	会場	参加者数
4.14	「生誕100年 鶴岡政男展」座談会 「父、鶴岡政男を語る」	よしだひろこ(作家長女、画家、心理療法士) 鶴岡美直子(作家次女、詩人、画家) 徳江庸行(当館学芸員)	講堂	95
4.29	「生誕100年 鶴岡政男展」記念講演会「鶴岡政男－生活と芸術」	針生一郎(美術評論家)	講堂	59
7.29	「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史I. 関東編」記念講演会①「幕末・明治写真史入門」	高橋則英(日本大学芸術学部教	講堂	24
8.19	「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編」記念講演会	三井圭司(東京都写真美術館専門調査員)	講堂	24

B 作品解説会・ギャラリートーク

1. 学芸員による作品解説会

開催日	展示の名称	解説者	会場	参加者数
4.22	生誕100年 鶴岡政男展	徳江庸行	展示室	14
5.16	生誕100年 鶴岡政男展	徳江庸行	展示室	10
5.31	生誕100年 鶴岡政男展	伊藤佳之	展示室	9
6.16	生誕100年 鶴岡政男展	徳江庸行	展示室	23
7.15	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編	中田宏明	展示室	7
7.24	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編★	中田宏明	展示室	3
8.15	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編	中田宏明	展示室	12
8.18	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編	中田宏明	展示室	10
8.21	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編★	中田宏明	展示室	1
8.30	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編	中田宏明	展示室	17
9.9	夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史Ⅰ. 関東編	三井圭司(東京都写真美術館専門調査員)	展示室	19
10.2	都市のフランス 自然のイギリス★	松下由里	展示室	1
10.10	都市のフランス 自然のイギリス	松下由里、伊藤香織	展示室	10
11.3	都市のフランス 自然のイギリス	松下由里	展示室	21
11.11	都市のフランス 自然のイギリス	伊藤香織	展示室	14
11.29	都市のフランス 自然のイギリス	松下由里、伊藤香織	展示室	15

★印は教職員のための作品解説会
※参加者のあった回のみ記した。

2. サンデー・ギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
12.23	松下和美	展示室	4
1.13	松下和美	展示室	12
1.27	松下和美	展示室	1
2.10	松下和美	展示室	16
2.24	松下和美	展示室	8
3.23	松下和美	展示室	16

3. 子どもギャラリートーク

開催日	解説者	会場	参加者数
4.21	中田宏明	展示室	1
5.5	松下由里	展示室	3
7.21	松下由里	展示室	7
8.11	伊藤香織	展示室	2
9.1	松下由里	展示室	1
9.8	中嶋幸子	展示室	2
10.13	松下由里	展示室	1
10.20	伊藤香織	展示室	7
12.1	松下由里	展示室	3
1.5	徳江庸行	展示室	1
1.19	伊藤佳之	展示室	1
2.2	松下和美	展示室	4
3.15	松下由里	展示室	2
3.22	松下和美	展示室	2

※参加者のあった回のみ記した。

「鶴岡政男展」記念講演会

「夜明けまえ」記念講演会

「都市のフランス　自然のイギリス」作品解説会

サンデー・ギャラリートーク

C ワークショップ

開催日	名称	講師	会場	参加者数
6.9･10	1.ツルオカさんの絵から音楽をつくろう	野村誠(音楽家)、鈴木潤(音楽家)、林加奈(音楽家)	ワークショップ室、展示室	17
8.4	2. 古典技法･鶏卵紙ワークショップ	三井圭司(東京都写真美術館専門調査員)	ワークショップ室、美術館周辺	12
8.5	3. 古典技法･鶏卵紙ワークショップ	三井圭司(東京都写真美術館専門調査員)	ワークショップ室、美術館周辺	6
10.6･7	4. 版画ワークショップ「木口木版でつくる蔵書票」	栗田政裕(版画家)、長嶋一孝(版画家)	ワークショップ室	17

1.ツルオカさんの絵から音楽をつくろう

音楽家の野村誠、鈴木潤、林加奈を招き、参加者とともに古今東西の様々な楽器や日用品を使って「鶴岡政男展」の絵を見ながら即興で曲を作り、展示室で演奏会を行った。

2、3. 古典技法･鶏卵紙ワークショップ

東京都写真美術館専門調査員の三井圭司氏を講師に招き、鶏卵紙(アルビューメン･プリント)の技法を、鶏卵紙制作、焼付、水洗･定着の3段階で体験し、作品の理解を深めた。

4. 版画ワークショップ　木口木版でつくる蔵書票

版画家の栗田政宏氏、長嶋一孝氏を講師に招き、「都市のフランス 自然のイギリス」展出品の挿絵本等で利用されている木口木版の技法で蔵書票の制作を行い、作品理解を深めた。

「ツルオカさんの絵から音楽をつくろう」

「鶏卵紙ワークショップ」

「木口木版でつくる蔵書票」

D 創作体験コーナー　みんなのアトリエ

展覧会「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史I. 関東編」の会期中、7月26日～8月23日の毎週木曜日の計5回、「世界がさかさま！のぞきピンホールをつくろう」と題して、ピンホールカメラの創作を体験する「創作体験コーナー　みんなのアトリエ」を開催したところ、合計139名が参加した。

E 美術講座

1.「都市のフランス　自然のイギリス」関連　「展覧会をもっと楽しむ美術講座」

開催日	名称	講師	会場	参加者数
9.3	‘Every picture tells a story.’－ヴィクトリア朝の物語る絵	高橋裕子（学習院大学教授）	講堂	39
10.14	19世紀 都市のフランス－版画・挿絵本を見る楽しみ	小勝禮子（栃木県立美術館特別研究員）	講堂	17
10.21	イギリスの挿絵本－19世紀を中心に	河村錠一郎（一橋大学名誉教授）	講堂	34
11.4	フランス美術における自然表現－コローからモネまで	馬渕明子（日本女子大学教授）	講堂	33

2.学芸員による美術講座

開催日	名称	講師	会場	参加者数
1.20	庭と印象派	伊藤香織	講堂	38
2.3	福沢一郎とゆくフランス中世美術の旅	伊藤佳之	講堂	12
2.17	工場と美術	中田宏明	講堂	13
3.2	描かれた群馬	徳江庸行	講堂	13

F ミュージアム・オリエンテーリング

「美術館のうらがわ探険」は、小学生から一般を対象に、クイズ形式のワークシートを使いながら美術館内を巡り、美術館と展示作品に親しんだ。
「建築ツアー」は、小学4年生から一般を対象に、模型、写真、資材サンプルなどを参照しながら、美術館建築の機能的側面に迫った。

開催日	名称	講師	会場	参加者数
8.12	美術館のうらがわ探検	松下由里	美術館	11
11.1	建築ツアー	松下由里	美術館	15

「都市のフランス　自然のイギリス」関連 「展覧会をもっと楽しむ美術講座」

「美術館のうらがわ探検」

G 子どもミュージアムスクール

昨年に引き続き、小学3年生から中学2年生までを対象に、美術鑑賞やワークショップなどの体験を月1回、年間を通して7回連続で行う「子どもミュージアム・スクール」を開催した。この事業は、多彩な美術の体験を継続的に行うことによって、美術館と美術作品に親しみ理解を深めることを目的としている。講師は、中島幸子ほか当館職員が担当した。

開催日	時間	名称　内容	参加者数
5.19	10:30-16:00	「生誕100年　鶴岡政男展」ギャラリートーク ワークショップ「わたしをえがく」	16
6.16	10:30-16:00	「生誕100年　鶴岡政男展」ギャラリートーク ワークショップ「ツルオカさんの絵と遊ぼう」	18
7.28	10:30-16:00	「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史I. 関東編」ギャラリートーク ワークショップ「わたしの大切なモノー宝箱をつくるー」	15
8.25	10:30-16:30	「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史I. 関東編」ギャラリートーク ワークショップ「古典技法・鶏卵紙」 講師：三井圭司（東京都写真美術館専門調査員）	13
9.29	10:30-16:00	「都市のフランス　自然のイギリス」ギャラリートーク ワークショップ「でこぼこ世界の不思議ー版画を楽しもう！ー」	14
10.27	10:30-16:30	「都市のフランス　自然のイギリス」ギャラリートーク こんにちは美術館「大川美術館をたずねる」	10
11.24	10:30-16:00	ワークショップ「ハクチョウ観察隊ーハクチョウの夢、私の夢ー」	15

「わたしの大切なモノー宝箱をつくるー」

「ハクチョウ観察隊ーハクチョウの夢、私の夢ー」

H アーティスト・トーク

特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」会期中に、出品作家による展示作品を前にしてのギャラリートークを行った。

開催日	アーティスト	参加者数
3.9	倉本麻弓、フジタマ	53

I 学校連携その他

当館では、学校との連携に力を入れた活動を目標としているため、学校からの要望に可能な限り応え、研究授業の受け入れや、学校の授業における連携などを行った。また、解説を希望する団体については、観覧前に概要説明を行った。

1. 学校との連携事業

開催日	名称	学校名、学年	講師	会場	参加者数
8.2	概要解説および作品鑑賞	足利市中教研美術部会	伊藤佳之	展示室、講堂	15
7.25、26、8.23	職場体験学習	邑楽町立邑楽中学校	伊藤佳之	展示室他	2
10.2	概要解説および質問受付	館林市立第八小学校5年	中島幸子	展示室他	13
10.3～10.5	職場体験学習	館林市立第二中学校2年	伊藤佳之	展示室他	1
10.19、10.25	学校での解説の後、来館し見学	県立あさひ養護学校	伊藤佳之、中島幸子	展示室、講堂	20
11.8	学校での授業「『展示に託されたメッセージ』－キュレーターから学ぶインスタレーション」	桐生市立菱中学校3年	松下和美	桐生市立菱中学校	30
11.20	概要解説および作品鑑賞	文星芸術大学芸術理論研究室	伊藤香織	展示室、講堂	20
3.12	概要解説および質問受付	館林市立第八小学校6年	伊藤佳之	展示室、講堂	100

2. 団体観覧者への解説

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	1	3	3	4	6	4	9	10	3	0	5	2	50
人数	30	111	115	141	193	73	397	393	59	0	135	158	1,775

学校連携（県立あさひ養護学校）

J 刊行物

（展覧会関連のものは、各展覧会の項に記載）

◎GMAT News（A4 判、4 頁、発行部数 8,000 部）

GMAT News は、企画展示やコレクション展示、講演、ワークショップ、ギャラリートークなどの館行事の紹介や、所蔵品の解説などによって内容を構成。館の事業の広報をはかるとともに、美術及び美術館に対する県民の理解を深めることを目的として、年4回発行した。24 号より、ページデザインを新しくし、字数を増やすとともに、作品保存環境についてのコラム（Conservation）、ミュージアム・ショップの商品紹介、美術館の建築的側面の紹介（GMAT のひみつ）、周囲の自然環境の紹介（コラム「Nature」）などを新たに加えて内容の多様化と充実化をはかった。

・GMAT News 23　2007 年 6 月 1 日発行

表紙　企画展示「夜明けまえ　知られざる日本写真史Ⅰ．関東編」出品作品のご紹介

1 エリファレット・ブラウン・Jr.《黒川嘉兵衛像》

2 エリファレット・ブラウン・Jr.《田中光儀像》

3 H.R マークス《（栄力丸船員いわぞう）》

企画展示のご案内 「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史 I.関東編―重要文化財がやってくる！ 日本で撮られた最初の写真―」

多々良沼ハクチョウ観察隊「ハクチョウノミズウミ」（2006 年 12 月 16 日、17 日）の報告

座談会「父、鶴岡政男を語る」（2007 年 4 月 14 日）の報告

次回企画展示のご案内 「都市のフランス、自然のイギリス―18・19 世紀絵画と挿絵本の世界」9 月 23 日（日）―12 月 2 日（日）

友の会だより　友の会総会のお知らせ、ミュージアムショップからのお知らせ

講演会、ワークショップ参加者募集のお知らせ 「夜明けまえ　知られざる日本写真史 I.関東編」記念講演会、ワークショップ「古典技法・鶏卵紙ワークショップ」、創作体験コーナーみんなのアトリエ

館林美術館からのお知らせ　メールマガジン始めました！館ニュースが新しくなります！

・GMAT News24　2007 年 9 月 1 日発行

EXHIBITION　都市のフランス 自然のイギリス―18・19 世紀絵画と挿絵本の世界―

Events　都市のフランス 自然のイギリス」展関連事業 「展覧会をもっと楽しむ美術講座」、学芸員による作品解説会、子どもギャラリートーク／版画ワークショップ「木口木版でつくる蔵書票」

Report　ワークショップ「ツルオカさんの絵から音楽をつくろう☆」

From the Collection　近藤正勝《Eerie tree by the lake》2006 年

Collection　美術館の展示照明(1)作品保護の視点から

Friends 友の会　オータムコンサートのお知らせ

From Museum shop『110 カメラ』

Next Exhibition　特別展示「夢伝説―倉本麻弓とフジタマ」、コレクション展示

GMAT のひみつ　当館の建築について

Nature　半円形の展示室 1 の前に広がる花壇をご存じですか？

Petits News

・GMAT News25　2007 年 12 月 1 日発行
EXHIBITION　夢伝説―倉本麻弓とフジタマ―
Exhibition　コレクション展示
Events　特別展示「夢伝説」・「コレクション展示」関連事業　アーティスト・トーク、学芸員による美術講座、サンデー・ギャラリートーク、子どもギャラリートーク
Report　古典技法・鶏卵紙プリントワークショップ、美術館のうらがわ探検
From the Collection　小絲源太郎《けしの花》1933(昭和 8)年
Conservation　美術館の展示照明 (2)照明の種類と展示効果
Friends 友の会　オータムコンサートのご報告、ニューイヤーコンサートのお知らせ
From the Museum Shop『ハート シェイプド ジャーナル』
GMAT のひみつ　当館のサインデザインについて
Nature　この鳥はハクセキレイといいます。
Petits News

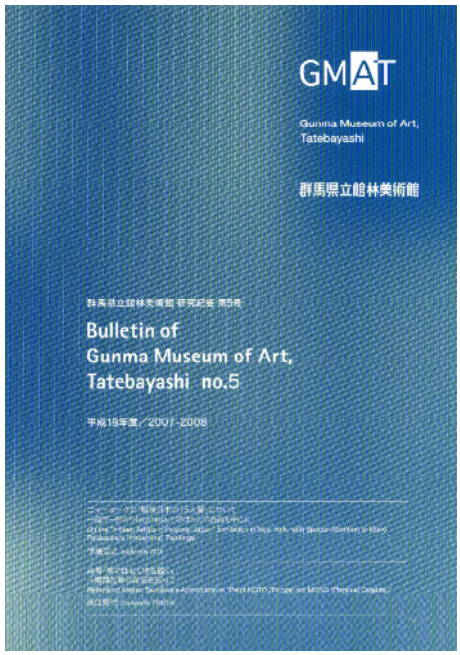
GMAT News 25
Gunma Museum of Art, Tatebayashi 群馬県立館林美術館
EXHIBITION
Exhibition
コレクション展示

・GMAT News26　2008 年 3 月 3 日発行
EXHIBITION　徳島県立近代美術館所蔵名品展　20 世紀の人間像
Events　「20 世紀の人間像」展関連事業　記念講演会、ワークショップ、学芸員による作品解説会、子どもギャラリートーク／平成 20 年度　子どもミュージアム・スクール参加者募集
Reports　平成 19 年度　子どもミュージアム・スクール、展覧会をもっと楽しむ美術講座
From the Collection　日高理恵子《空との距離Ⅲ》2004 年
Conservation　美術館の収蔵庫
Friends 友の会　ニューイヤー・コンサートのご報告、4 月会員を募集しています
From Museum Shop『物語の栞の物語』
Next Exhibition　素材との対話シリーズⅢ　土―大地のちから
GMAT のひみつ　当館のサイン・デザインを手がけた矢萩喜従郎氏(1952－)について
Nature　冬は富士山がよく見えます。
Petits News

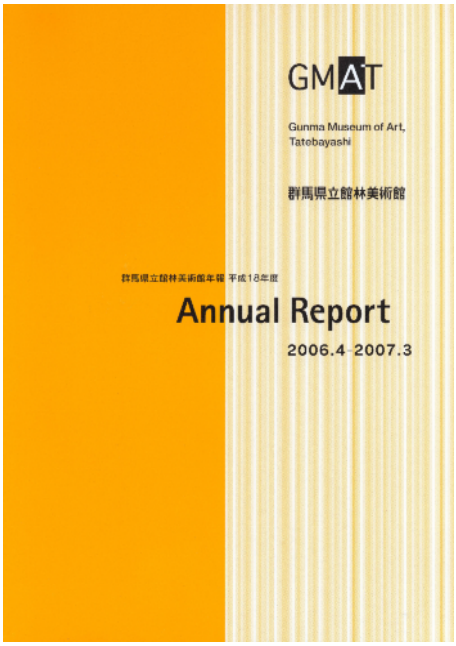
GMAT News 26
Gunma Museum of Art, Tatebayashi 群馬県立館林美術館
EXHIBITION

◎群馬県立館林美術館平成 20 年度事業案内
B4 判変形 4 つ折り
平成 20 年 3 月発行
発行部数　25,000 部

◎群馬県立館林美術館平成 19 年度研究紀要
A4 判　25 頁
平成 20 年 3 月発行
発行部数部 700 部
内容:
伊藤佳之「ニューヨークの「戦後日本の 15 人展」について－福沢一郎の「Hiroshima」と呼ばれた作品群を中心に」
徳江庸行「再考「事ではなく物を描く」－鶴岡政男の発言を巡って」



◎群馬県立館林美術館平成 18 年度年報
A4 判　67 頁
平成 20 年 3 月発行
発行部数 900 部



K ボランティア

企画展示「夜明けまえ　知られざる日本写真開拓史Ⅰ．関東編」開催時に、以下のとおりボランティアを募集した。

期日	名称	人数
7.26-8.23	創作体験コーナー「みんなのアトリエ」作業補助ボランティア	6

L 博物館実習

1．実習生　4名

日本大学	理工学部学芸員課程科目等履修生
群馬大学	教育学部美術専攻　4年生
群馬県立女子大学大学院	文学研究科芸術学専攻　1年生
高崎経済大学	地域政策学部地域づくり学科文化政策・社会学専攻　4年生

2．実施期間　平成19年8月14日～19日

3．実習内容

◎講義
- ・館長講話
- ・美術館の概要
- ・美術館の学芸業務
- ・美術館の教育普及活動
- ・美術館の施設管理・運営
- ・美術館の環境管理
- ・美術館の警備
- ・資料の保存と管理

◎実習作業
- ・企画展、関連事業の見学
- ・創作体験コーナー「みんなのアトリエ」補助
- ・美術品の取り扱い
- ・来館者インタヴュー
- ・広報物発送準備
- ・監視体験
- ・図書整理
- ・課題の作成、発表

①「自然と人間のかかわり」をテーマとしている館林美術館で開催したい展覧会
②「自然と人間のかかわり」をテーマとしている館林美術館で開催したい教育プログラム
③館林美術館をより魅力的な場にするための提案

M 友の会（群馬県立館林美術館友の会）

1．運営会議
(1) 総会（7月1日）
(2) 理事会(6月30日)
(3) 運営委員会(4回　5月25日、6月30日、9月29日、11月27日）
　事業の運営企画等具体事項の協議
2．美術館協力支援事業
(1) ミュージアム・ショップの運営(平成19年4月～平成20年3月)
　展覧会図録、ポストカード、美術関係書籍その他の展示販売をとおし、来館者へのサービスに努めた。
(2) 研究図書の提供
　美術館活動に必要な図書の提供を行った。
3．会員対象事業
(1) 美術館情報の提供
　6回。会員に対し、「GMAT News」、展覧会・美術館事業の広報資料を送付。
(2) ミュージアムツアーの開催(11月7日)
　美術の鑑賞と会員相互の親睦を深めた。参加者37名。訪問先:埼玉県立近代美術館、川越市立美術館、川越市立博物館
(3) オータムコンサート(9月29日)
　音楽の鑑賞(ピアノ演奏、ソプラノ・テノール)と会員相互の親睦を深めた。参加者167名。出演者:漆原恵美子、岡部彩、本田武久
(4) ニューイヤーコンサート(1月11日)
　音楽の鑑賞(ピアノ演奏、テノール)と会員相互の親睦を深めた。参加者145名。出演者:青島広志、小野勉

N　その他

1. 教育普及事業および当館関連記事

・太田タイムス
4.21 「子どもミュージアムS参加者募集」
・下野新聞
8.25「学芸員の仕事 体験 館林美術館 親子ら学ぶ」＊
・上毛新聞
4.7 「県立美術館、正田醤油本社屋－古さと新しさ融合 芝浦工大が新入生合宿 館林のまちづくり探る」
4.13 「館林美術館子どもミュージアム・スクール」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
5.22「展示室 裏から支える 県立館林美術館学芸員 伊藤香織さん」＜ぴーぷる＞＊
5.28 「"等身大"の自分表現 館林美術館 ワークショップに児童18人」＊
8.7 「館林美術館「美術館のうらがわ探検」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
8.19 「館林美術館 学芸員の仕事体験 親子11人、収蔵庫見学も」＊
10.2 「館林美術館 挿絵の世界、歌で再現」
10.9 「館林美術館ミュージアム・オリエンテーリング「建築ツアー」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
11.13「館林美術館 建築の工夫紹介 愛好家15人が見学」＊
12.1 展示に合った商品を 県立館林美術館教育普及員 最上雅世さん」＜ぴーぷる＞＊
12.24「学芸員4人を講師に美術講座 来月から館林美術館」＜ぶんか短信＞
1.13 「館林・ニューイヤーコンサート 美術館でオペラ名曲」＊
1.17 「館林美術館美術講座」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
2.13 「福沢魅了したフランス 館林美術館学芸員が解説」＊
2.23 「県立近代美術館前館長中山公男氏が死去 81歳」＊
3.1 「館林美術館美術講座「描かれた群馬」」＜ゆうまちゃんの掲示板＞
3.11 「徳江学芸員が群馬の作品語る」＊
・上毛新聞シャトル（館林ニュース）
4.13 「芸術 もっと身近に 子供向け教室 参加者を募集」
5.27 「転入者が施設見学 館林美術館や武鷹館・・・新しい古里に関心」
7.29 「地域への理解深めて 館林 施設見学会に親子34人」
9.21 「オータムコンサート2007 展覧会に合わせ漆原さんら3人」
10.3 「館林美術館 展覧会と音楽の融合」
12.16、12.28、1.1、1.7、1.11 「ニューイヤー・コンサート2008「あの青島広志が館林美術館にやってくる！」」＜出かけてみませんか 情報BOX＞
・上毛新聞シャトル（館林ニュース）＜GMAT だより 群馬県立館林美術館＞＊
（展覧関連連記事は、各展覧会にも収録）
1.5 「地域のみなさんへ 館長 木島俊介「人間と自然」テーマに」（館長 木島俊介）
1.12 「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」 倉本麻弓の夢のまち－リアリティとファンタジー 現実の「生」支える迷宮」（学芸員 松下和美）
1.19 「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」 フジタマー固定観念への「つっこみ」 謎めいた作品と活動」（学芸員 松下和美）
1.26 「学芸員による美術講座 報告「庭と印象派」－スイレンをキーワードにブルジョワ家族の空間」（学芸員 伊藤香織）
2.2 「4月19日から「20世紀の人間像－徳島県立近代美術館所蔵作品名品展」 ピカソから森村泰昌まで」（学芸員 中田宏明）
2.9 「講座「福沢一郎とゆくフランス中世美術の旅」報告 造形への視点を探る」（学芸員 伊藤佳之）
2.16 「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」に関連して ～夢と無意識のイメージをのぞくためのブックガイド～ アーティストの夢とは？」（学芸員 松下和美）
2.23 「美術講座「工場と美術」報告 造形的「美」に魅力」（学芸員 中田宏明）
3.1 「ミュージアムショップ、友の会について 鑑賞の感動 グッズで」（当館ミュージアムショップ担当 最上雅世）
3.8 「「第4回美術講座「描かれた群馬」の報告 郷土の姿に新たな発見」（学芸員 徳江康行）
3.15 「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」のアーティスト・トークが行われました 作家の言葉ストレートに」（学芸員 松下和美）
3.22 「群馬と映画 色調と内容が響き合う」（学芸員 中田宏明）
3.29 「特別展示「夢伝説－倉本麻弓とフジタマー」閉幕間近です。 人間の根源部分に触れる」（学芸員 松下和美）
・讀賣新聞
4.29 「美連協大賞新設 《自主展部門》優秀論文賞 伊藤佳之(群馬県立館林美術館)＝「夢のなかの自然―昭和初期のシュルレアルスムから現代の絵画へ―」
12.21「ニューイヤー・コンサート2008」＜Friday ぐんま＞
・群馬よみうり amigo
9.1 「アートを身近に感じよう 魅力満載 県立館林美術館へGO！」＜GUNMA COMPASS＞＊
9.15 「Autumn Concert 2007 県立館林美術館」
12.22「ニューイヤー・コンサート2008 県立館林美術館」
[定期刊行物]
・上州風
26号 「「館林美術館」を遊ぶ」（木島俊介）、「フランソワ・ポンポン《シロクマ》」（中田宏明）、「小杉放菴《秋果童子》」（中島幸子）、「バリー・フラナガン《鐘の上の野兎》」（伊藤香織）、「鶴岡政男《涙する人》」（徳江庸行）、「開館5年－人々の交流や憩いを実現する美術館に」（徳江庸行）、「小室翠雲《長興山荘図》」（中島幸子）、「金田実生《夜が少しづつ降りる》」（松下和美）、「脇田和《花苑》」（伊藤佳之）、「小林孝亘《Cloud》」（松下和美）＊
・博物館研究
Vol.43 No.1、Vol.43 No.2 「群馬県立館林美術館 学芸員による美術講座」＜EVENT CALENDAR＞
Vol.42 No.8、Vol.42 No.11 「ミュージアム・オリエンテーリング」＜EVENT CALENDAR＞
・美連協ニュース
5月号「 2006年美連協カタログ論文賞 自主展部門 優秀論文賞 夢のなかの自然―昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ―」＜JAAM NEWS＞
2月号「自主展部門の優秀論文賞は、群馬県立館林美術館の伊藤佳之さんの「夢のなかの自然―昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ―」＜JAAM NEWS＞
・渡良瀬通信
2008年1月号 「ニューイヤー・コンサート2008 群馬県立館林美術館」＜渡良瀬インフォメーション＞

A 美術作品

1. 作品収蔵状況　平成20年3月31日現在

作家区分	県内作家			国内作家			外国作家			総計
収蔵方法	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	
部門										
日本画	4	1	5	1	0	1	0	0	0	6
油彩その他	7	0	7	18	0	18	6	0	6	31
水彩・素描	10	6	16	3	0	3	8	0	8	27
版画	13	0	13	236	252	488	37	0	37	538
写真	0	0	0	60	7	67	12	0	12	79
彫刻	5	0	5	4	2	6	126	0	126	137
染織・工芸	5	2	7	3	0	3	4	0	4	14
計	44	9	53	325	261	586	193	0	193	832

2. 平成19年度　収蔵作品

平成19年度においては、日本画1点、油彩その他2点（購入2点）、水彩・素描5点（寄贈5点）、写真24点（購入18点、寄贈6点）、彫刻1点（購入1点）、染織・工芸2点（寄贈2点）の計36点を新たに収蔵した。以下、区分ごとに日本人作家、外国人作家の順番に分け、前者は50音順、後者はアルファベット順に配列している。

各作品データは、以下の順に記す（版画等は、共通するデータを最初に記す）。
・作者名（生没年）
・作品名
・制作年（日本人作家の場合は元号も付す）
・技法・材質（・形状）
・寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行き、単位はcm、版画作品は原則としてイメージサイズを示す）
・サイン、年記、その他の記載事項（版画作品の場合は原則として限定番号を記す）
・発表展覧会および受賞記録
・受入種別（寄贈の場合は寄贈者名を併記）
・受入番号

〈日本画〉

福田元子（1907～1945）
FUKUDA Motoko
夕映え
1943（昭和18）年
紙本彩色・額
170.0×106.0
画面右下に署名「元子」と落款
購入
797

〈油彩その他〉

香月泰男（1911～1974）
KAZUKI Yasuo
尾花
1954（昭和29）年
油彩・カンヴァス
72.8×50.0
作品裏面に署名「yasuo kazuki」及び年記「1954」
購入
798

宇佐美圭司（1940～）
USAMI Keiji
飛ぶ島 No.1 Flying Island (Laputa)
1985（昭和60）年
油彩・カンヴァス
218.2×291.0
作品裏面木枠に貼られた出品票に題名及び年記、サイズ：
[第2回アジア美術展1985出品票]
宇佐美圭司　飛ぶ島／Flying island (laputa) 1985　218.2×291 Oil on canvas
購入
799

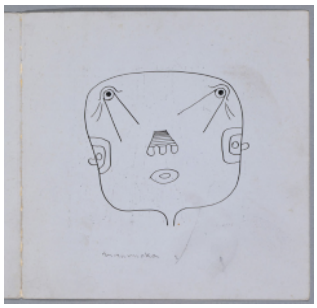
＜水彩・素描＞

鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
人
制作年不詳
墨・紙
5.0×5.0（イメージサイズ）
中下にモノグラム；MT
寄贈
821

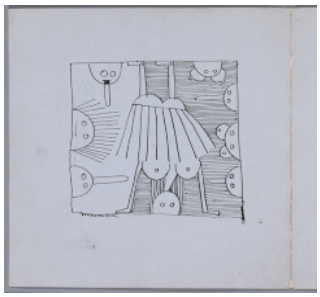
鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
題不明（人々I）
制作年不詳
墨・紙
7.1×30.3（イメージサイズ）
右下にサイン「政」
寄贈
822

鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
青いカーテン
制作年不詳
鉛筆、インク、パステル・紙
6.5×10.0（イメージサイズ）
左下にサイン「m.Turuoka」
寄贈
823

鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
題不明（顔）
制作年不詳
インク・紙
13.0×13.0（イメージサイズ）
左下にサイン「m.Turuoka」
寄贈
824

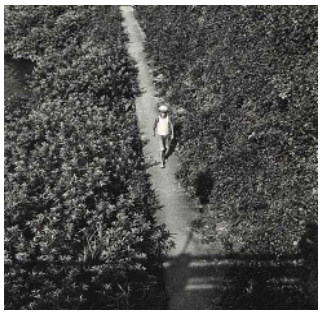


鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
題不明（人々II）
制作年不詳
インク・紙
12.0×13.0（イメージサイズ）
左下にサイン「m.Turuoka」
寄贈
825

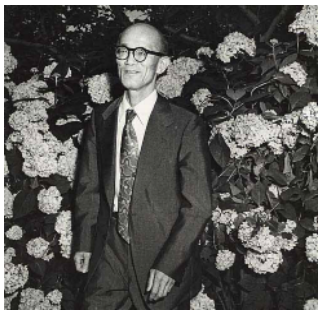


＜写真＞

須田一政（1940～）
SUDA Issei
岐阜郡上八幡・1975年「風姿花伝」より
1975（昭和50）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ：半切（14×17インチ）
作品裏面に作家による鉛筆の署名
購入
800



須田一政（1940～）
SUDA Issei
鎌倉明月院・1975年6月21日
「風姿花伝」より
1975（昭和50）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ：半切（14×17インチ）
購入
801



須田一政(1940～)
SUDA Issei
群馬太田・1975年6月8日「風姿花伝」より
1975(昭和50)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ 半切(14×17インチ)
購入
802

須田一政(1940～)
SUDA Issei
神奈川三浦三崎・1975年6月2日「風姿花伝」より
1975(昭和50)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ半切(14×17インチ)
購入
803

須田一政(1940～)
SUDA Issei
群馬安中・1976年「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ 半切(14×17インチ)
購入
804

須田一政(1940～)
SUDA Issei
群馬安中・1976年「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ 半切(14×17インチ)
購入
805

須田一政(1940～)
SUDA Issei
群馬太田・1975年「風姿花伝」より
1975(昭和50)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ 半切(14×17インチ)
購入
806

須田一政(1940～)
SUDA Issei
群馬館林・1976年6月6日「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ 半切(14×17インチ)
購入
807

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
横浜山下公園・港祭・1976年5月「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
808

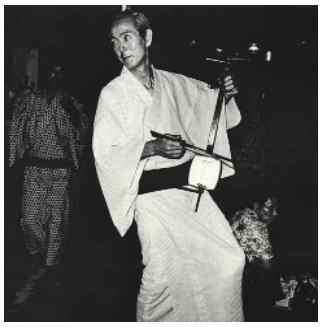
須田一政（1940～）
SUDA　Issei
群馬太田大光院新田呑龍、さつき祭・1976年6月6日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
809

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
秋田西馬音内、盆踊り・1976年8月18日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
810

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
山形銀山温泉・1976年8月28日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
811

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
富山砺波・1976年9月17日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
812

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
富山八尾・1976年9月1日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
813



須田一政（1940～）
SUDA　Issei
富山八尾・1976年9月3日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
814

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
茨城大洗・1977年7月24日「風姿花伝」より
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
815

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
茨城阿字ヶ浦・1977年8月7日
「風姿花伝」より
1977(昭和52）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
816

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
群馬館林・1976年
1976（昭和51）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
購入
817

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
岐阜郡上八幡・1975年8月11日
「風姿花伝」より
1975（昭和50）年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
寄贈
826

須田一政（1940～）
SUDA　Issei
浅草「風姿花伝」より
制作年不詳
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切（14×17インチ）
寄贈
827

須田一政(1940～)
SUDA　Issei
東京神田・1975年「風姿花伝」より
1975(昭和50)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切(14×17インチ)
寄贈
828

須田一政(1940～)
SUDA　Issei
山形尾花沢、花笠祭・1976年8月27日「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切(14×17インチ)
寄贈
829

須田一政(1940～)
SUDA　Issei
佐野 9月26日「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切(14×17インチ)
寄贈
830

須田一政(1940～)
SUDA　Issei
美濃白馬盆踊り 8月15日「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切(14×17インチ)
寄贈
831

須田一政(1940～)
SUDA　Issei
群馬館林・1976年「風姿花伝」より
1976(昭和51)年
写真・紙
ゼラチン・シルバー・プリント
印画紙サイズ　半切(14×17インチ)
寄贈
832

＜彫刻＞

トニー・クラッグ
CRAGG　Tony（1949～）
グリーン・リーフ
1981年
プラスチック
107.0×200.0
付属資料：作品配置図(ビニールシートにプラスチック片のパーツを記したもの)
個展（かんらん舎、1982年）
購入
818

＜染織・工芸＞

鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
湯呑み（4）
1951（昭和26）年頃
陶器
高さ5.8×径9.0
底部にモノグラム；MT
寄贈
819

鶴岡政男（1907～1979）
TSURUOKA Masao
湯呑み（5）1951（昭和26）年頃
陶器
高さ5.7××径8.0
底部にモノグラム；MT
寄贈
820

3. 平成19年度　寄託作品

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ × 幅 × 奥行きcm）
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162 × 123
伊庭靖子	Untitled	1995	油彩・カンヴァス	162 × 123
伊庭靖子	Untitled	2001	油彩・カンヴァス	180 × 180
伊庭靖子	Untitled	2003	油彩・カンヴァス	120 × 160
藤牧義夫　関連資料　全21点				
清宮質文	葦	1958	木版・紙	21.7 × 18.8
清宮質文	むかしのはなし	1958	木版・紙	8.3 × 16.3
清宮質文	古い日	1960	木版・紙	17.2 × 14.2
清宮質文	幼きもの	1963	木版・紙	24.1 × 21.3
清宮質文	九月の海辺	1970	木版・紙	13.3 × 23.3
清宮質文	北辺の小屋	1971	ガラス絵	16.6 × 22.0
清宮質文	暗い夕日（暗い夕日1）	1972	木版・紙	21.0 × 19.2
清宮質文	冬（暗い夕日2）	1972	木版・紙	23.0 × 21.8
清宮質文	トンネルの出口（暗い夕日3）	1972	木版・紙	23.4 × 20.1
清宮質文	虜囚の窓（暗い夕日4）	1972	木版・紙	24.3 × 20.0
清宮質文	夕方の静物（暗い夕日5）	1972	木版・紙	23.0 × 21.9
清宮質文	窓のカンテラ（暗い夕日6）	1972	木版・紙	24.2 × 15.0
清宮質文	入日（暗い夕日7）	1972	木版・紙	16.2 × 25.8
清宮質文	町外れ（暗い夕日8）	1972	木版・紙	16.6 × 22.0
清宮質文	夕日の静物（暗い夕日9）	1972	木版・紙	13.7 × 22.2
清宮質文	壜の中の魚（暗い夕日10）	1972	木版・紙	20.0 × 22.6
清宮質文	深夜の蝋燭	1974	木版・紙	18.0 × 15.2
清宮質文	星占い　～去りゆく凶星～	1975	木版・紙	15.2 × 18.0
清宮質文	秋の夕日	1976	木版・紙	16.2 × 14.1
清宮質文	作品	1981	水彩・紙	10.0 × 16.0
清宮質文	黒夜の鳥	1982	木版・紙	12.5 × 14.0
清宮質文	われむかしの日いにしえの年をおもえり	1982	木版・紙	15.2 × 13.0
清宮質文	夢の中へ	1983	木版・紙	15.5 × 6.8
清宮質文	夕べの道	1983	水彩・紙	17.4 × 25.4
清宮質文	旧い暦	1983	モノタイプ・紙	18.5 × 14.1
清宮質文	失題（モノタイプ）	1983	モノタイプ・紙	20.8 × 16.2
清宮質文	失題（モノタイプ）	1983	モノタイプ・紙	19.3 × 11.2
清宮質文	失題（モノタイプ）	1983	モノタイプ・紙	21.6 × 16.2
清宮質文	夕日のとり	1985	木版・紙	7.8 × 16.0
清宮質文	なんじの革嚢にわが涙を	1985	木版・紙	17.5 × 16.9
清宮質文	晩夏	1985	木版・紙	6.8 × 7.0
清宮質文	秋の午後	1985	木版・紙	16.8 × 27.2
清宮質文	緑の太陽	1988	水彩・紙	16.8 × 29.2
清宮質文	冬の夕（絶筆）	1991	ガラス絵	12.2 × 16.2
清宮質文	未完（絶筆）	1991	ガラス絵	13.0 × 16.6
浜田知明	初年兵哀歌　便所の伝説	1951	メゾチント	24.1 × 86.0
浜田知明	詩人	1963	エッチング・アクアチント	26.1 × 21.4
浜田知明	初年兵哀歌　風景	1952	エッチング・紙	15.4 × 20.7
駒井哲郎・小磯良平・清宮質文・浜田知明	駒井哲郎のオマージュ	1982	エッチング他	43.6 × 34.6
ヴィクトル・ヴァザルリ	オプティカルイリュージョン		リトグラフ	47.8 × 45.5
秀島由己男	霊歌Ⅰ	1989	メゾチント	29.2 × 16.5
秀島由己男	月夜	1981	メゾチント	15.8 × 8.4
南城一夫	うさぎ		デッサン	17.2 × 14.0
南城一夫	フルート奏者	1971	油彩・カンヴァス	23.5 × 32.5
西村盛夫	甘露の雨　マナ9	2002	木	37.0 × 220.0
勅使河原蒼風	わかれ	1963	鉄	120.0 × 33.0
勅使河原蒼風	群れ	1953	鉄	103.0 × 184.0
勅使河原蒼風	ビーナス	1957	木	68.0 × 65.0
勅使河原蒼風	クビ	1962	木	129.5 × 62.5
勅使河原蒼風	クサナギ	1967	銅	252.5 × 64.5
勅使河原蒼風	題不詳	不詳	銅	44.0 × 53.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法（高さ × 幅 × 奥行きcm）
勅使河原蒼風	ミコ	1967	銅	96.0 × 49.0
和南城孝志	Archetypus 円のイメージ	1981	大理石	12.0 × 35.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1983	ブロンズ	20.0 × 50.0
和南城孝志	Archetypus 空間への旅	1979	ブロンズ	10.0 × 30.0
山口啓介	花の心臓 / 蕊柱	2003	油彩・カンヴァス	270.0 × 181.0
清宮質文	蝶	1963	木版・紙	24.6 × 22.1

4. 館蔵作品貸出状況

4-1. 館蔵作品貸出状況

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会場・会期
ヘンリー・ムーア イサム・ノグチ リチャード・ロング	母と子 リス 二つのサハラ作品	富山県立近代美術館	アートの世界へようこそ －美術のおくりもの	富山県立近代美術館 6.23－8.26
山口啓介	花の心臓／被子植物の空気柱 花の心臓／蕊柱	国際交流基金 芸術交流部	消失点－日本の現代美術	ニューデリー国立近代美術館 10.12－11.11
小杉放菴	秋果童子	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	開館10周年記念II 名品撰 小杉放菴展	小杉放菴記念日光美術館 10.20－12.2
エドワード・バーン＝ジョーンズ 南桂子 鶴岡政男	『フラワー・ブック』より 9.黄金の門 10.ヴィーナスの鏡 20.ベツレヘムの星 舟と魚 羊飼いの少女 城と月 静かなる夜（山と月と湖）	滋賀県立近代美術館	天体と宇宙の美学	滋賀県立近代美術館 10.6-11.18
清宮質文	葦* 九月の海辺 冬の夕（絶筆）* 未完（絶筆）*	横須賀美術館	清宮質文展	横須賀美術館 11.23-12.16
カール・ブロスフェルト	ヤグルマギクの花 ヒエンソウ－乾いた茎の一部 オシダ－渦巻状の若い複葉 マメ－若い羽状複葉 分枝 オオムギ ヒヨスの蕚 ニワトコ マツムシソウの種子	東京都写真美術館	シュルレアリスムと写真	東京都写真美術館 3.15-5.6

*印は寄託作品

5. 保存・修復

作者名	作品名	技法・材質	種別	処置内容
バリー・フラナガン	鐘の上の野兎	ブロンズ	彫刻	ブロンズ表面コーティング

B 図書資料その他

平成19年度 収蔵図書

種類区分	一般図書	定期刊行物	カタログ	年報目録	研究報告	その他	計
購入	148	101	33	0	1	2	285
寄贈	93	83	343	99	153	2	773
計	241	184	376	99	154	4	1,058

関係者および職員名簿
（平成 19 年 9 月 1 日現在）

群馬県立館林美術館作品収集委員

氏名	職名
雪山行二	横浜美術館館長
水沢勉	神奈川県立近代美術館企画課長
横山勝彦	練馬区立美術館副館長
古田亮	東京藝術大学大学美術館准教授

職員名簿

（平成 19 年 4 月 1 日～20 年 3 月 31 日）

館長	木島俊介
副館長	稲垣泰男
次長	寺島淳（総務普及グループリーダー）

〈総務普及グループ〉

係長	田部井靖
専門員（学芸員）	中島幸子
主任	古屋達夫
主任学芸員	伊藤佳之
主事	堀口英子
教育普及員	最上雅世
	福田香織
	紅屋浩子
	齋藤久美子
	森紗耶佳

〈学芸グループ〉

学芸グループリーダー	
	徳江庸行
専門員（学芸員）	松下由里
主任学芸員	松下和美
主任学芸員	伊藤香織
学芸員	中田宏明
資料整理員	伊羅子典代